セットアップ編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

C8800dn

◯このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
◯本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル(本書)をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。

⚠警告

	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。

⚠警告

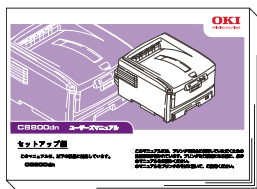
	こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。 こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。 床などにこぼれてしまったトナーは、ぬれた布などでふき取ってください。
	UPS（無停電電源）を使用した場合の動作は保証していません。無停電電源は使用しないでください。 火災のおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。

マニュアルの構成

本製品には、次の説明書と CD-ROM マニュアルが付属しています。

ユーザーズマニュアル（セットアップ編）…本書

必ずお読みください。
プリンタの設置からプリンタドライバのインストールまでの手順、操作パネルの表示、基本的な印刷、消耗品の交換などが記載されています。

ユーザーズマニュアル CD-ROM

カラー調整などの各種ユーティリティ、拡大印刷や製本印刷などさまざまな機能の使い方を説明しています。ユーザーズマニュアル CD-ROM の内容（180 ページ）をご覧ください。

クイックガイド

用紙の設定、操作パネルのメッセージ、紙づまりの対処方法が記載されています。専用袋に入れ、プリンタに貼り付けてご使用ください。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- C8800dn → C8800
- Microsoft® Windows Vista® 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Vista(64bit版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003(x64版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → Windows XP(x64版) ※
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → Windows XP ※
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows 2000
- Windows Vista、Windows Server 2003、Windows XP、Windows 2000 の総称 → Windows
- PostScript3 エミュレーション→ PSE、POSTSCRIPT3 エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION

※特に記載がない場合は、Windows Vista、Windows Server 2003 と Windows XP には 64bit 版も含みます。

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　　刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
　　　　　　通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条　等

電波障害防止について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI - B

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

プリンタに搭載のソフトウェアについて

C8800dn は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE ™ソフトウェアを搭載しています。

C8800dn は、IPv6 Ready Logo Phase 1 テストに合格しています。

商標について

OKI は沖電気工業株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNT および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
ProtecPaper、Val-Code、ProtectPrint、ProtecCheck は、沖電気工業株式会社の商標または登録商標です。
RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac OS、AppleTalk、EtherTalk、LaserWriter、Bonjour および TrueType は、米国 Apple Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Adobe、PostScript および Reader は、米国及びその他の国々で登録された Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。
Scalable Font は Agfa Monotype Corporation からライセンスされています。
CG Omega は Agfa Monotype Corporation の製品です。
CG Times は The Monotype Corporation のライセンスをうけた Times New Roman を基にした Agfa Monotype Corporation の製品です。
Taffy は Adobe Tekton Regular に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。
Candid は Adobe Carta に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。
CG、Candid、Taffy は Agfa Monotype Corporation の各国での登録商標または商標です。
Univers、Helvetica、Palatino、Times は Linotype-Hell AG あるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf Dingbats は International Typeface Corporation の各国での登録商標または商標です。
Arial、Times New Roman、Albertus、Gill Sans は The Monotype Corporation plc. の各国での登録商標または商標です。
Wingdings は Microsoft Corporation の各国での登録商標または商標です。
Agfa からライセンスされた Marigold は Arthur Baker の各国での登録商標または商標です。
平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様がプリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読み下さい。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ(以下「沖データ」といいます)は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア(ただし、Adobe Reader は除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。)を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1. 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを 1 部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2) 第 1 条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
(5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為 (過失を含むがこれに限定されない) に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法
   本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7. 契約の有効性
   本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず､他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
   本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
   お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10. Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザへの注意）
   All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
   本条項中で使用される "Software" とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

*****

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※ Adobe Reader の使用について
Adobe Reader は沖データがアドビシステムズ社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Adobe Reader に含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステムズ社から Adobe Reader の使用を許諾されることになります。

目　次

5 ネットワーク接続で Macintosh にセットアップします......81

6 USB 接続で Macintosh にセットアップします......89

7 ネットワーク接続で Mac OS X にセットアップします......97

8 USB 接続で Mac OS X にセットアップします......107

9 印刷します......115

10 プリンタの設定項目について......131

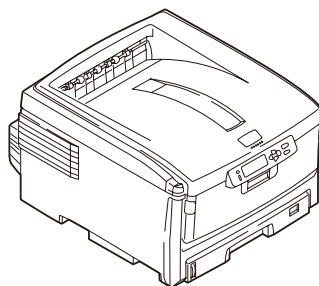
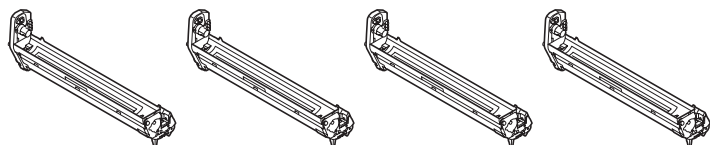
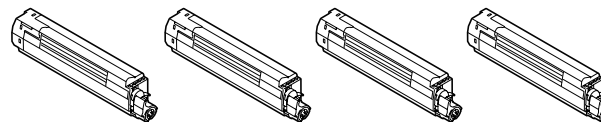
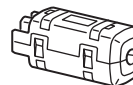
1 プリンタを設置します

製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

ケガをするおそれがあります。

このプリンタは重量が約40Kgありますので、2人以上で持ち上げてください。

□ プリンタ（本体）

□ イメージドラムカートリッジ
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各1個ずつ）

□ トナーカートリッジ
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各1個ずつ）

□ コア（PictBridgeケーブル用）

□ プリンタソフトウェア CD-ROM

□ 電源コード

□ 保証書・ご愛用者登録カード

□ ユーザーズマニュアル（セットアップ編）（本書）

□ ユーザーズマニュアル CD-ROM

□ クイックガイド

□ クイックガイド専用袋

- プリンタケーブルは添付されていません。お使いのコンピュータに合わせて別途用意してください。
- 梱包箱、緩衝材はプリンタを輸送するときに使います。捨てずに保管してください。

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  周囲温度　：　10 ～ 32℃
  周囲湿度　：　20 ～ 80%RH（相対湿度）
  最大湿球温度　：　25℃
- 結露しないように注意してください。
- 周囲湿度が 30% 以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

設置に関する注意

⚠警告

- 高温になる場所や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。
- プリンタの通気口をふさぐような場所には設置しないでください。

⚠注意

- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- プリンタを移動するときは、プリンタの両側を持ってください。
- このプリンタは重量が約 40kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。

設置スペース

- プリンタの足が乗る大きさの平らな机の上に置いてください。
- プリンタの周りに十分なスペースを取ってください。

平面図

側面図

プリンタ各部の名前

トップカバー
操作パネル
手差しガイド
マルチパーパストレイ
（MPトレイ手差し）
用紙サポータ
通気口
OPENボタン
フロントカバー
用紙カセット（トレイ1）

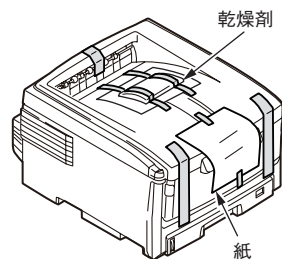
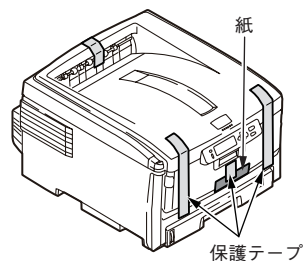
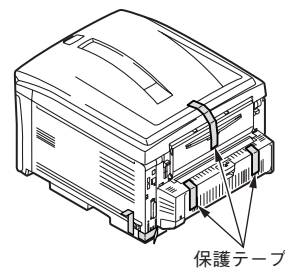
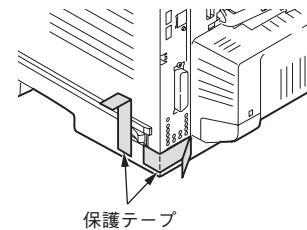
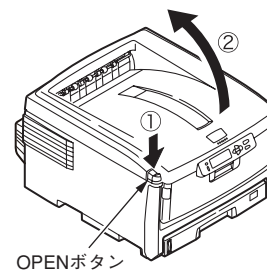
LEDヘッド（4ヶ所）
排出ローラ
定着器ユニット
トナーカートリッジ
(C シアン(青色))
トナーカートリッジ
(M マゼンタ(赤色))
トナーカートリッジ
(Y イエロー(黄色))
トナーカートリッジ
(K ブラック(黒色))
イメージドラムカートリッジ
(C シアン(青色))
イメージドラムカートリッジ
(M マゼンタ(赤色))
イメージドラムカートリッジ
(Y イエロー(黄色))
イメージドラムカートリッジ
(K ブラック(黒色))
用紙サイズダイヤル
用紙残量表示

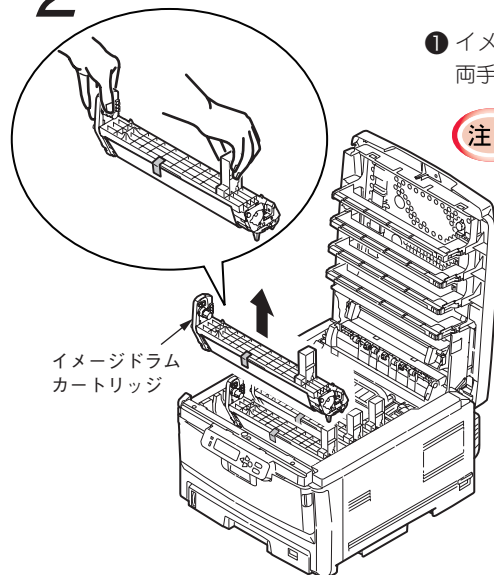
フェイスアップ
スタッカ
両面印刷ユニット
通気口
インタフェース部
電源スイッチ
電源コネクタ

〈インタフェース部〉

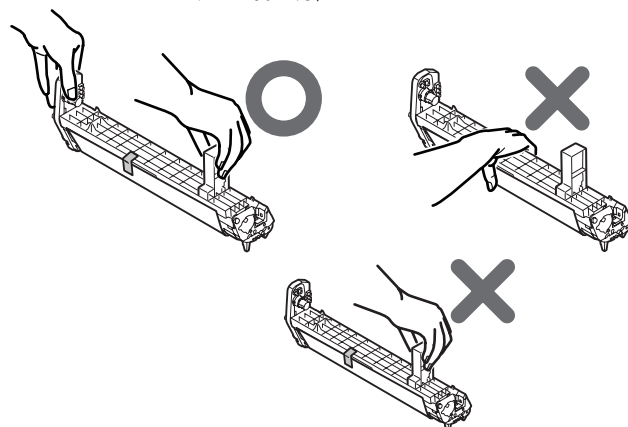
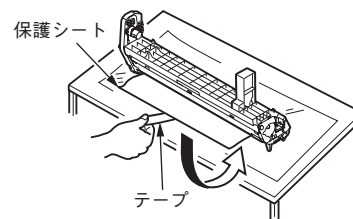
USBインタフェースコネクタ
PictBridge用インタフェースコネクタ
ACC
ネットワークインタフェースコネクタ
(100/10BASE)
パラレルインタフェースコネクタ

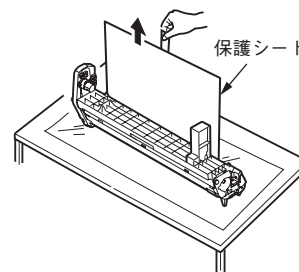
付属品を取り付けます

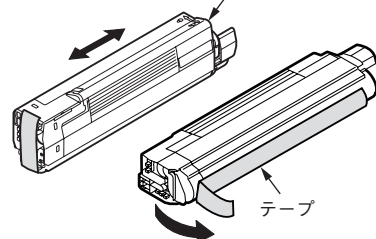
1 保護具を取り外します。

❶ プリンタ上面の乾燥剤と紙をはがします。

❷ プリンタ前面の保護テープ（3ヶ所）と紙をはがします。

❸ プリンタ後面の保護テープ（3ヶ所）をはがします。

❹ 電源部の保護テープをはがします。

❺ OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

2 イメージドラムカートリッジを取り出します。

❶ イメージドラムカートリッジ(4 個)を両手で静かに取り出します。

注
- イメージドラム（緑の筒の部分)は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

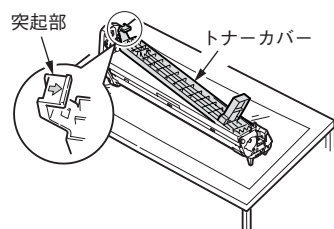
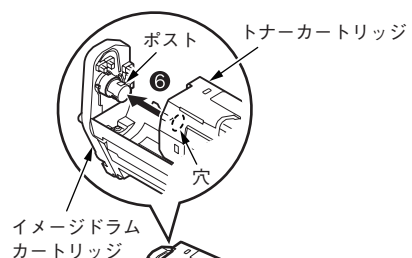
〈イメージドラムカートリッジの持ち方〉

片手で持たないでください。

❷ イメージドラムカートリッジを新聞紙等の上に置きます。

❸ 保護シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

3 トナーカートリッジをイメージドラムカートリッジにセットします。

- 必ず製品購入時にプリンタに添付されているイメージドラムとトナーカートリッジをセットしてください。交換用、もしくは他のプリンタで使用していたものを使用すると、プリンタに添付されているイメージドラムとトナーカートリッジは使用できなくなります。
- 製品購入時に添付されているトナーカートリッジは、A4, 5% の印刷密度の場合、約 2000 枚印刷可能です。

❶ トナーカートリッジを包装袋から取り出します。

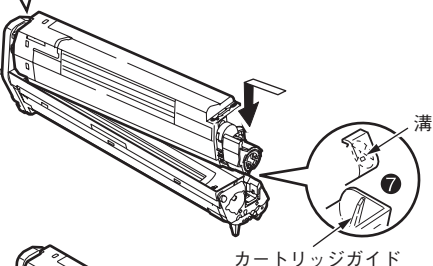
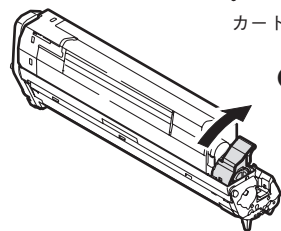
❷ 縦と横に数回振ります。

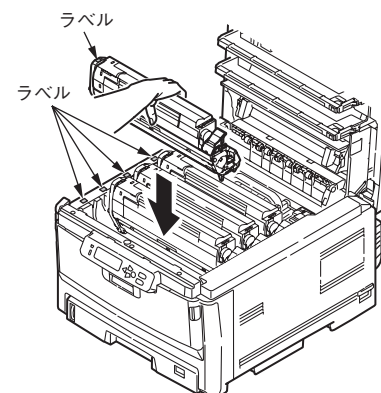
❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

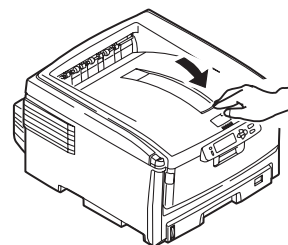
❹ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

❺ イメージドラムカートリッジからトナーカバーを取り外します。

ポスト
トナーカートリッジ
穴
イメージドラム
カートリッジ

❻ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❼ トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

溝
カートリッジガイド

❽ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジのレバーとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

4 イメージドラムカートリッジにプリンタにセットします。

❶ イメージドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色を合わせます。

❷ イメージドラムカートリッジ(4 個)を静かに戻します。

❸ トップカバーを閉じます。

操作パネルの［トナーヲ　コウカンシテクダサイ］の表示がいつまでも消えないときは、トナーカートリッジのレバーが矢印の方向にいっぱいまで動かされているか確認してください。

5 用紙カセットに用紙をセットします。

❶ 用紙カセットを引き出します。

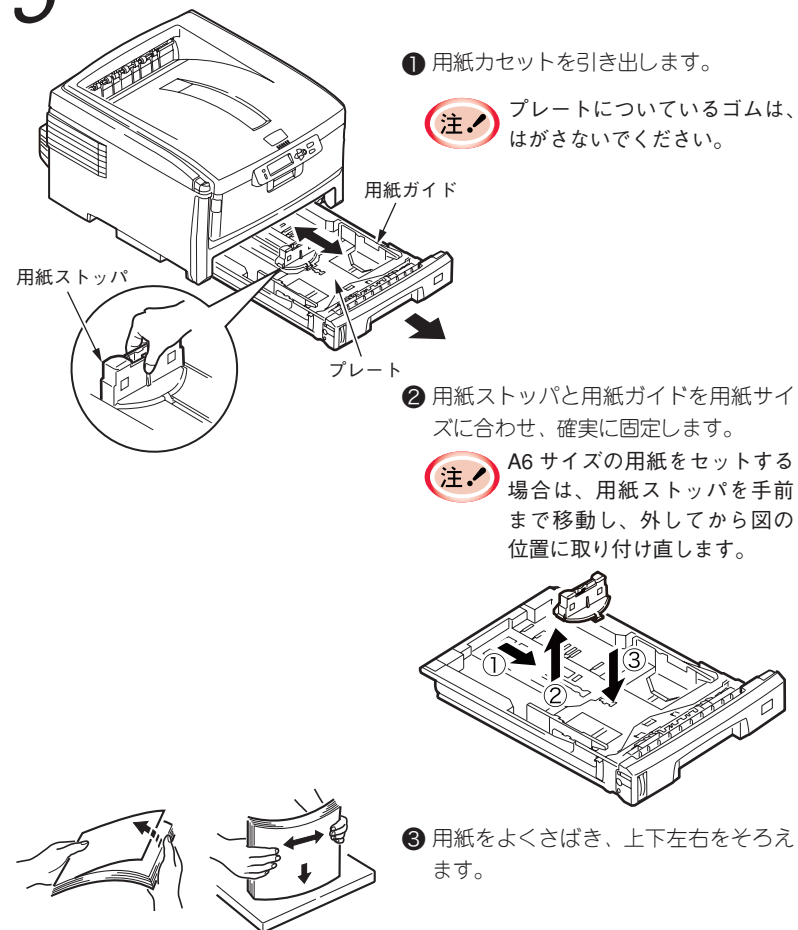
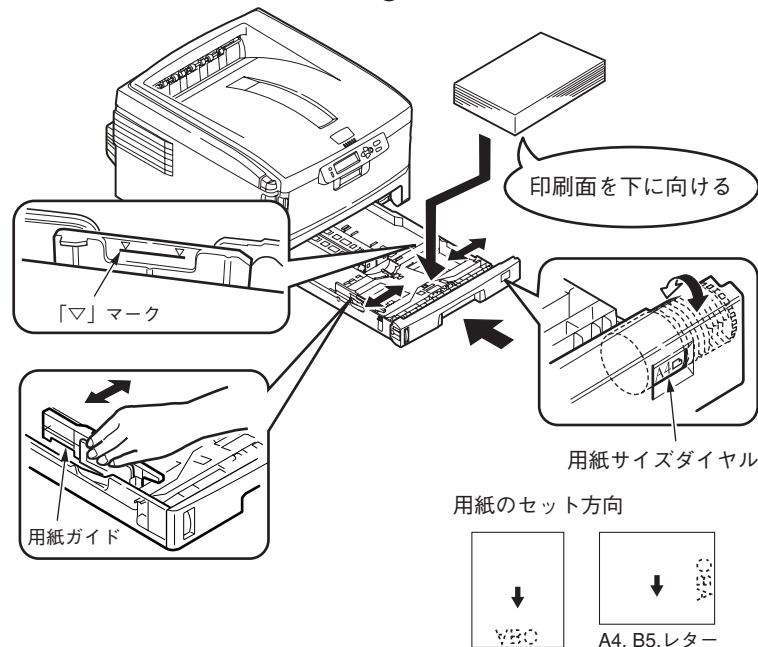
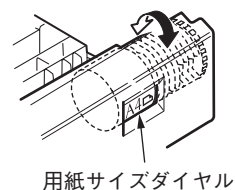
注 プレートについているゴムは、はがさないでください。

❷ 用紙ストッパと用紙ガイドを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

注 A6 サイズの用紙をセットする場合は、用紙ストッパを手前まで移動し、外してから図の位置に取り付け直します。

❸ 用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

メモ 用紙については、9 章の「使用できる用紙」（116 ページ）を参考にしてください。

注 プリンタに適していない用紙を使用すると、プリンタが故障するおそれがあります。

❹ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

注
- 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。（連量 70kg 紙で 300 枚）

❺ 用紙ガイドで用紙を固定します。

❻ 用紙サイズダイヤルを、セットした用紙のサイズに合わせます。

❼ 用紙カセットをプリンタに戻します。

電源を入れます

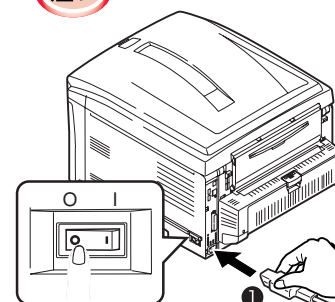
電源の条件

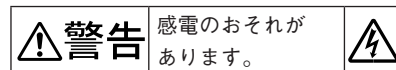
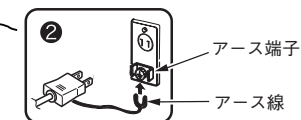
- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）　：　100V ± 10%
  電源周波数　：　50Hz または 60Hz ± 2Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンタの最大消費電力は 1300W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- UPS（無停電電源）を使用した場合の動作は保証していません。無停電電源は使用しないでください。

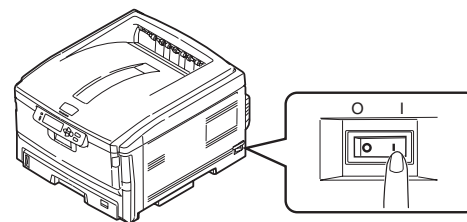
火災や感電のおそれがあります。

- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチを OFF にしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンタと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 添付の電源コードを使用し、直接コンセントに差し込んでください。他の製品用の電源コードを本プリンタに使用しないでください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格 15A 以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC 電圧降下により、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。
- 添付の電源コードを他の製品に使用しないでください。

1 電源コードを接続します。

注 電源スイッチが OFF（○）になっていることを確認してください。

❶ 電源コードをプリンタに差し込みます。

❷ アース線をコンセントのアース端子に接続します。

必ずアース線を接続してください。

❸ 電源プラグをコンセントに差し込みます。

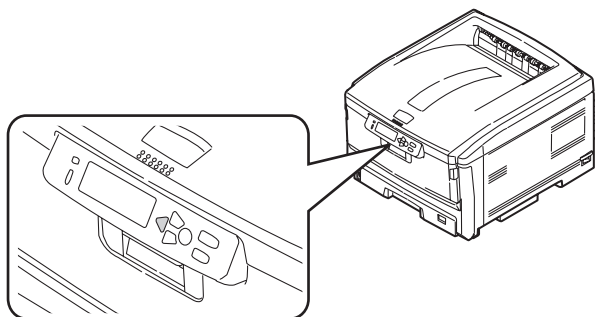
2 電源スイッチの ON（｜）を押します。

完全に起動すると［オンライン］表示になります。

プリンタが冷えているときに電源を入れると、エラーになることがあります。（エラー番号 168, 169, 171, 175, 177, 320）このような場合は、電源を切り、しばらくの間待ってから、もう一度電源を入れてください。

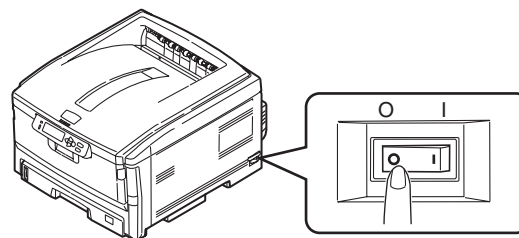
電源を切ります

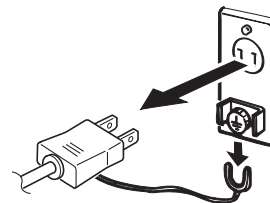
いきなり電源を切らずに下記の手順で電源を切ります。

いきなり電源を切ると、プリンタに損傷を与え、使用不能になることがあります。

❶ 「戻る」スイッチを4秒以上押し、[シャットダウン　スタート]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

[シャットダウンチュウ]と表示され、シャットダウン処理が開始されます。

❸ [PLEASE POW OFF ／ SHUTDOWN COMP] が表示されたら、電源スイッチの OFF(O)を押します。

長期間使用しないとき

連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。

本プリンタは長期間（4週間以上）電源プラグを抜いておいても、機能障害を生じません。

メニューマップ印刷をします

プリンタが正常に動作することを確認します。

プリンタオプション品の取り付け状況や、プリンタのメニュー設定内容、消耗品の使用状況などを、確認することができます。

❶ トレイに A4 用紙をセットします。

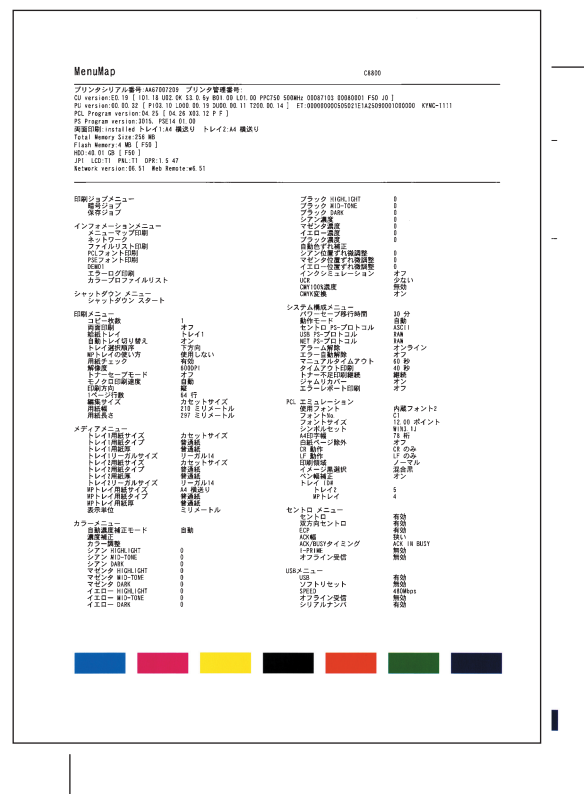
❷ [+]「メニュー+」スイッチを数回押し、[インフォメーション　メニュー]を表示します。

❸ ◯「設定」スイッチを押し、[メニューマップ　インサツ／ジッコウ]を表示します。

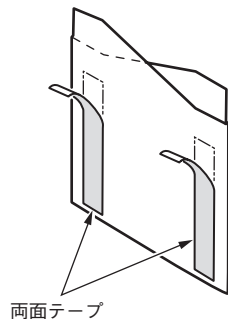
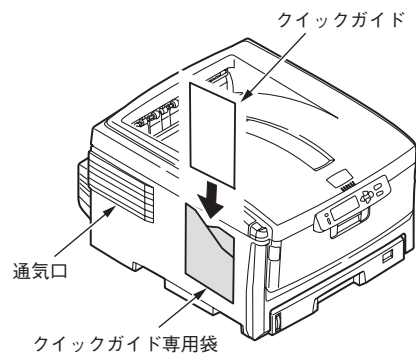
❹ ◯「設定」スイッチを押します。

メニューマップ印刷が開始されます。

メモ ネットワークの設定情報（Network Information 2 枚）を印刷するには、❸の後に [+]「メニュー+」スイッチを押し、[ネットワーク]を表示させてから、◯「設定」スイッチを押します。

（サンプル）

クイックガイドの収納

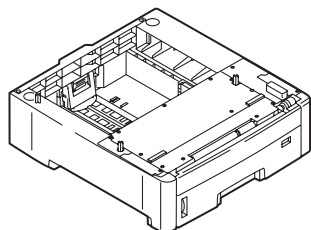
クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付け、クイックガイドをしまいます。

1 クイックガイド専用袋裏側の、両面テープ(2ヶ所)をはがします。

2 クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付けます。

注 プリンタの通気口を塞がないように貼り付けてください。

オプション品について

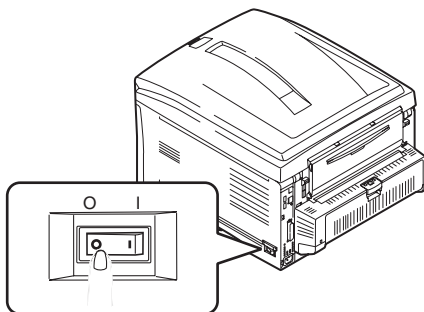
セカンドトレイユニット

プリンタにセットできる用紙量を増やすトレイです。トレイ2と呼ぶことがあります。連量70kg紙の場合530枚セットでき、標準の用紙カセット、マルチパーパストレイと合わせて930枚を連続して印刷できるようになります。

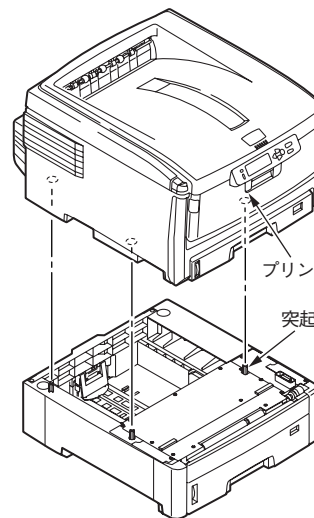
・ A6用紙は使用できません。

型名：TRY-C3C1

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

電源をONのまま取り付けると､プリンタが故障するおそれがあります。

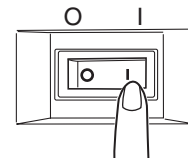
電源の切り方は「電源を切ります」（22ページ）をご覧ください。

2 プリンタをセカンドトレイユニットに載せます。

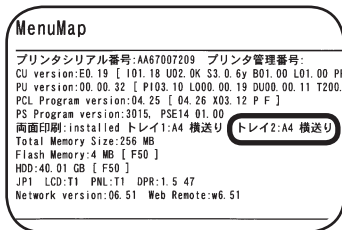
⚠注意	ケガをするおそれがあります。	

このプリンタは約40kgあります。2人以上で持ち上げてください。

❶ プリンタ底面の穴とセカンドトレイユニットの突起を合わせます。

❷ プリンタをセカンドトレイユニットの上に静かに載せます。

取り外しは取り付けの逆の手順で行います。

3 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

［SERVICE CALL182：FATAL ERROR］が表示された場合は、セカンドトレイユニットを取り付け直してください。

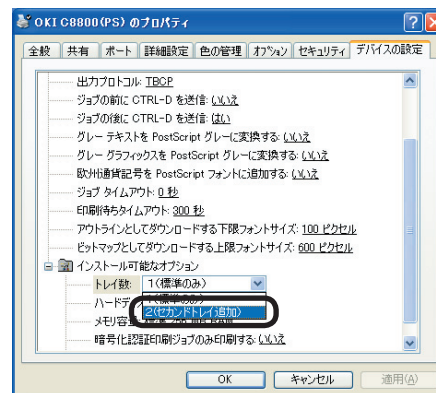
4 メニューマップ印刷を行い、セカンドトレイユニットが正しく取り付けられていることを確認します。

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」(23 ページ)をご覧ください。

❷ ヘッダ部分に「トレイ 2」が表示されていることを確認します。

トレイ 2 が表示されない場合は、セカンドトレイユニットを取り付け直してください。

5 プリンタドライバでトレイの数を設定します。

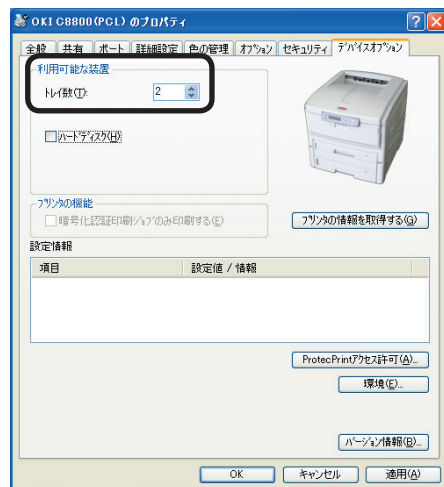
プリンタドライバでセカンドトレイユニットを認識させるための設定が必要です。
プリンタドライバをセットアップしていない場合は、3 章～ 8 章を参照し、プリンタドライバをセットアップしてから以下の設定を行ってください。

コンピュータの管理者の権限が必要です。

Windows PSプリンタドライバの場合

(Windows XPの画面)

❶ Windows Vista では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。
Windows XP では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [C8800(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスの設定]タブの [インストール可能なオプション]で[プリンタの情報を取得する]を選択し、[セットアップ]または[プリンタの情報を取得する]をクリックします。USB 接続の場合は手動で [トレイ数]を [2(セカンドトレイ追加)]に選択します。

❹ [OK]をクリックします。

Windows PCLプリンタドライバの場合

（Windows XPの画面）

❶ Windows Vista では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。
Windows XP では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。
Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタとFAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [C8800(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスオプション]タブで[プリンタの情報を取得する]を選択します。USB 接続の場合は手動で［利用可能な装置］に現在のトレイ総数を入力します。

❹ [OK]をクリックします。

Macintoshの場合

Macintosh ではプリンタドライバをインストールする前にオプションが追加されている場合には自動的にデバイス情報が取得されます。プリンタドライバをインストールした後にオプションを追加した場合は、以下手順でオプションを設定してください。

ネットワーク接続の場合

❶ [セレクタ]でプリンタを選択し、[再設定]をクリックします。

❷ [構成]をクリックします。

❸ [トレイ数]で[2(セカンドトレイ追加)]を選択し、[OK]をクリックします。

❹ [セレクタ］を閉じます。

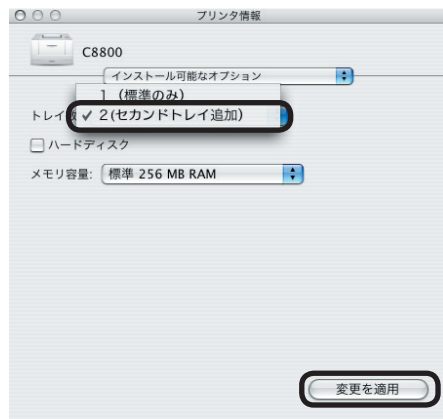
USB接続の場合

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB 接続で Macintosh にセットアップします」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（93 ページ）をご覧ください。

Mac OS Xの場合

Mac OS X ではプリンタドライバをインストールする前にオプションが追加されている場合には自動的にデバイス情報が取得されますが、「IP プリント」や「Bonjour(Rendezvous)」で接続した場合は自動的にデバイス情報が取得されません。「AppleTalk」で接続した場合にもプリンタドライバのインストール後にオプションを追加した場合には自動的にデバイス情報が取得されません。
これらの場合、以下手順にてオプションを設定してください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］-［プリンタ設定ユーティリティ］(Mac OS X 10.2 では［アプリケーション］-［ユーティリティ］-［プリントセンター］)をダブルクリックします。

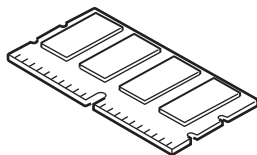
❷ ［C8800］を選択し、［情報を見る］をクリックし［プリンタ情報］を開きます。

❸ ［インストール可能なオプション］を選択します。

❹ ［トレイ数］で［2(セカンドトレイ追加)］を選択し、［変更を適用］をクリックします。

❺ ［プリンタ情報］を閉じます。

増設メモリ

プリンタのメモリ容量を増やすボードです。複雑なデータでメモリ不足のエラー［メモリーヲ　ツイカシテクダサイ］が発生するときや、部単位印刷で［チョウアイエラー］が表示されるときなどに追加します。

増設メモリ

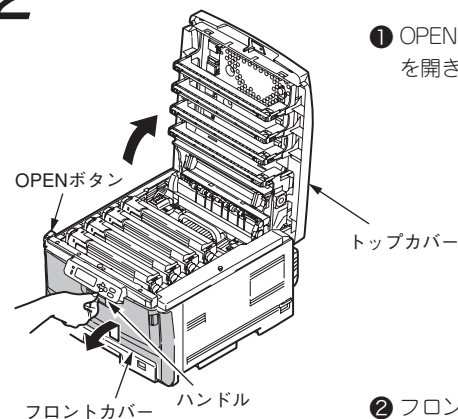
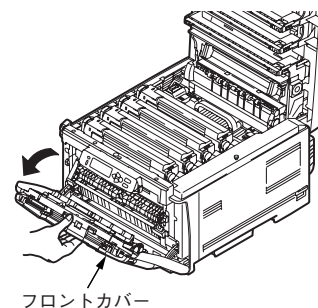
型名	メモリ量 (総メモリ量)
なし（標準）	256MB（256MB）
MEM256E	+256MB（512MB）
MEM512C	+512MB（768MB）

- 必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。
- 長尺印刷を行う場合は、256MB の増設メモリの追加を推奨します。
- メモリ用スロットは 1 スロットです。

1 プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注 電源を ON のまま取り付けると、プリンタまたは増設メモリが故障するおそれがあります。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(22 ページ) をご覧ください。

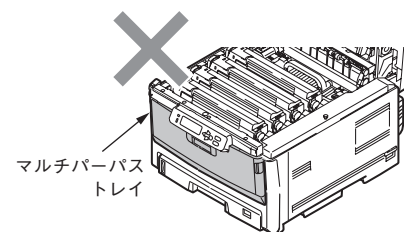
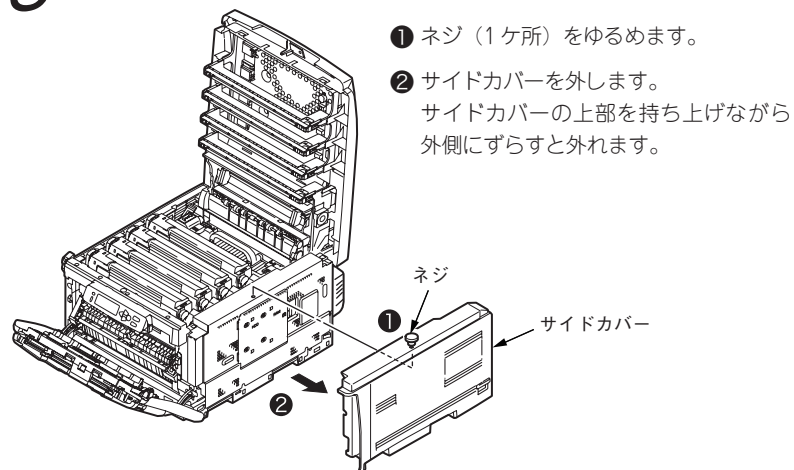
2 トップカバーとフロントカバーを開けます。

❶ OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

❷ フロントカバー中央のハンドルを押し上げ、フロントカバーを手前に開きます。

注 マルチパーパストレイとは開け方が異なります。（下図を参照）

3 サイドカバーを外します。

❶ ネジ（1ケ所）をゆるめます。

❷ サイドカバーを外します。
サイドカバーの上部を持ち上げながら外側にずらすと外れます。

メモ　サイドカバーが外れない場合は、フロントカバーが開いているか確認してください。

【フロントカバーが開いた状態】

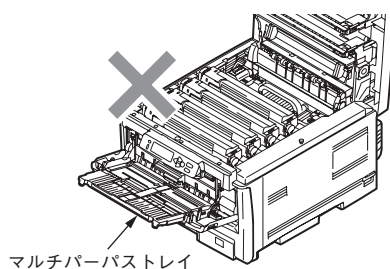
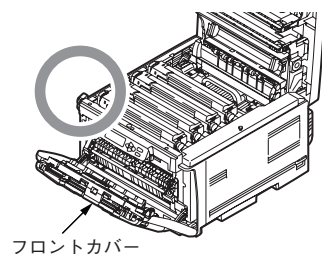
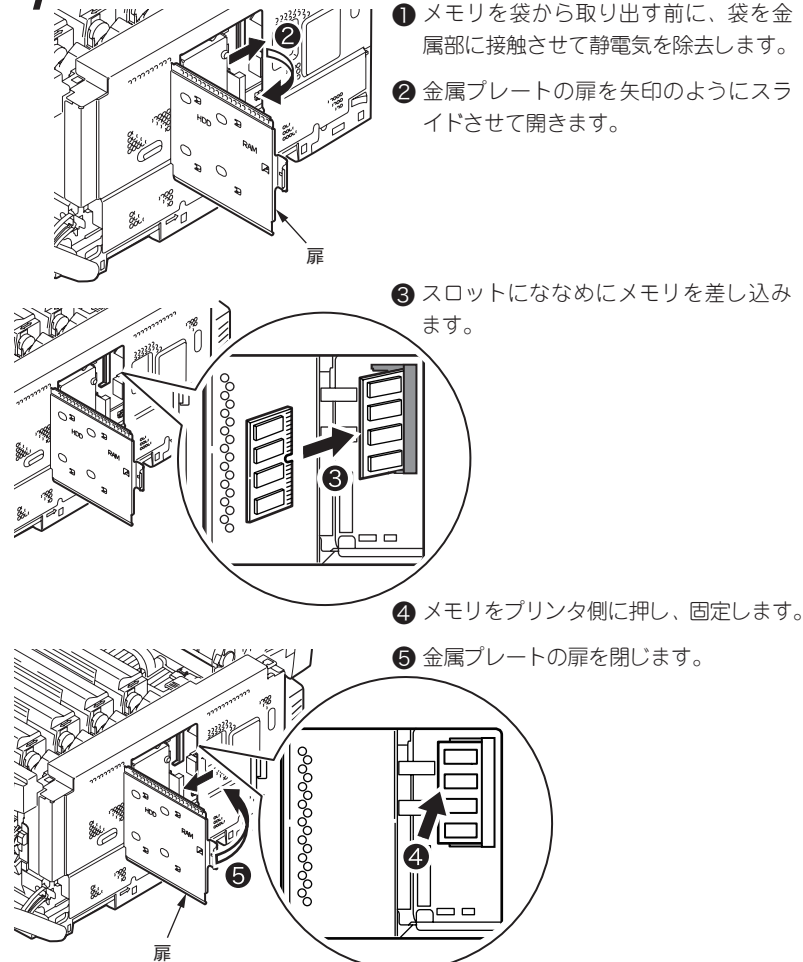
【マルチパーパストレイが開いた状態】

4 メモリを取り付けます。

❶ メモリを袋から取り出す前に、袋を金属部に接触させて静電気を除去します。

❷ 金属プレートの扉を矢印のようにスライドさせて開きます。

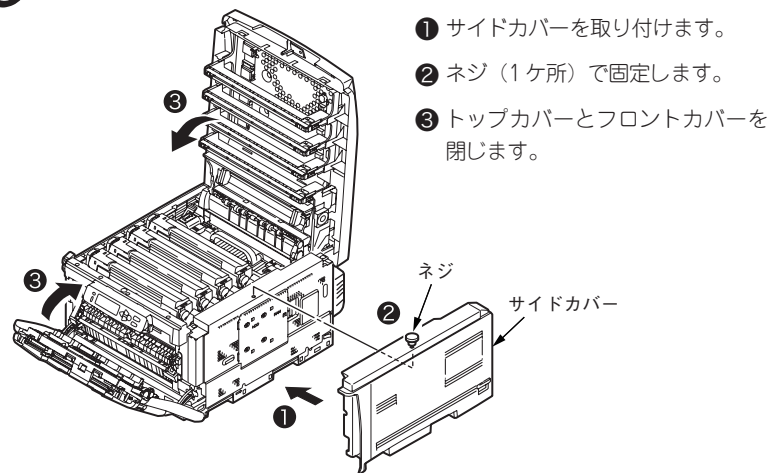
❸ スロットにななめにメモリを差し込みます。

❹ メモリをプリンタ側に押し、固定します。

❺ 金属プレートの扉を閉じます。

- 電子部品やコネクタ端子には触らないでください。
- メモリの向きにご注意ください。メモリの端子部には切り欠き部分があり、スロットのコネクタと勘合するようになっています。

5 サイドカバーを取り付けます。

❶ サイドカバーを取り付けます。

❷ ネジ（1 ケ所）で固定します。

❸ トップカバーとフロントカバーを閉じます。

6 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源を ON にします。

［SERVICE CALL031:FATAL ERROR］が表示された場合は、メモリを取り付け直してください。

7 メニューマップ印刷を行い、増設メモリが正しく取り付けられていることを確認します。

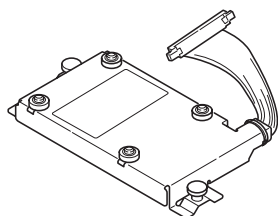
```
MenuMap
プリンタシリアル番号:AA67007209　プリ
CU version:E0. 19 [ I01. 18 U02. OK S3. 0
PU version:00. 00. 32 [ P103. 10 L000. 00
PCL Program version:04. 25 [ 04. 26 X03
PS Program version:3015, PSE14 01. 00
両面印刷:installed トレイ1:A4 横送り
Total Memory Size:256 MB
Flash Memory:4 MB [ F50 ]
HDD:40. 01 GB [ F50 ]
JP1　LCD:T1　PNL:T1　DPR:1. 5 47
```

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（23 ページ）をご覧ください。

❷ ヘッダ部分の「Total Memory Size」に表示される総メモリ量を確認します。

Total Memory Size の容量が正しく表示されない場合は、メモリを取り付け直してください。

内蔵ハードディスク

フォントをダウンロードすることはできません。

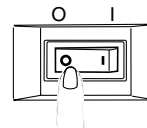
C8800dn にはオプションとして､4 種類の内蔵ハードディスクが用意されています。

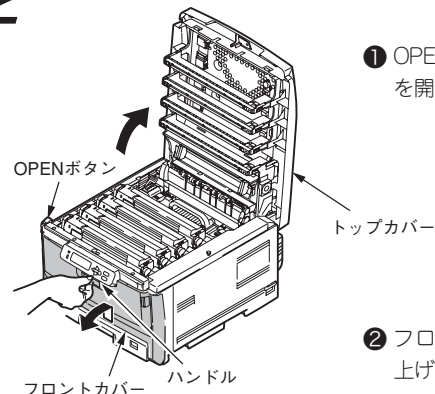
- 標準内蔵ハードディスク（型名：HDD-C3C）
  プリンタに追加する内蔵ハードディスクです。認証印刷､印刷ジョブの保存、バッファ印刷を行う場合や、部単位印刷で［チョウアイ　エラー］が表示されるときに使用します。
- セキュリティキットタイプ A1（型名：SKT-A1）
  IT セキュリティ認証（ISO/IEC15408 準拠）の評価保証レベル（EAL)3 を取得、国際基準準拠の認証を受けた高度で信頼性の高いデータ保護を実現します。詳しくは、セキュリティキットタイプ A 1 に付属の説明書をご覧ください。
- IC カード認証用内蔵ハードディスク（カード認証キット F1 に付属）
  プリンタに接続した IC カード読み取り機に IC カードをかざすことで、自分のジョブを印刷します。詳しくは、カード認証キット F1 に付属の説明書をご覧ください。
- グループ印刷機能対応 IC カード認証用内蔵ハードディスク（カード認証キット F2 に付属）
  カード認証キット F1 の機能に加えて、グループ化された複数のプリンタの中の任意のプリンタに取り付けられた IC カード読み取り機に IC カードをかざすことで、そのプリンタから印刷できます。詳しくは、カード認証キット F2 に付属の説明書をご覧ください。

このうちのいずれか 1 つを取り付けることができます。

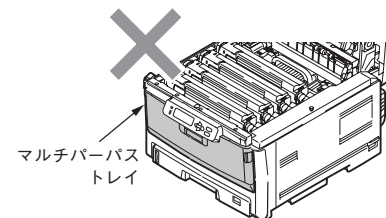
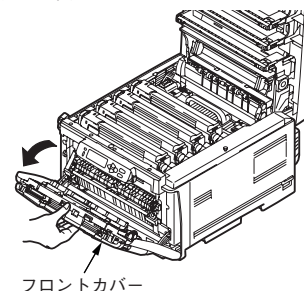
内蔵ハードディスクの取り付け

取り付け方法は、4 種類とも共通です。

1 プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

電源を ON のまま取り付けると､プリンタが故障するおそれがあります。

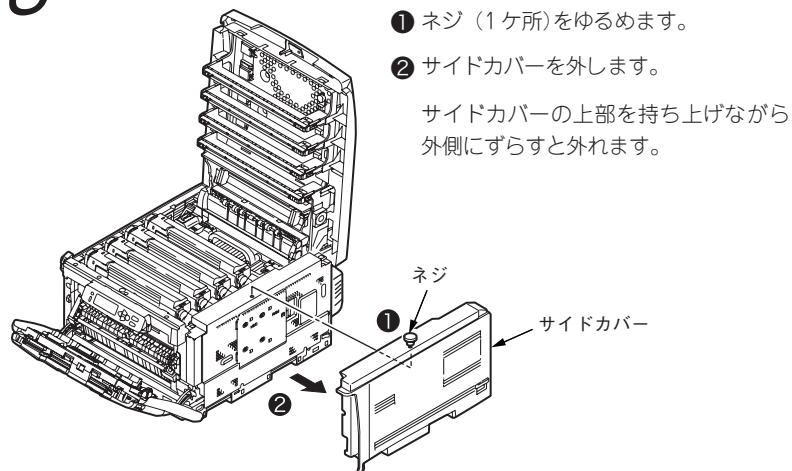
2 トップカバーとフロントカバーを開けます。

❶ OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

❷ フロントカバー中央のハンドルを押し上げ、フロントカバーを手前に開きます。

マルチパーパストレイとは開け方が異なります。（下図を参照）

3 サイドカバーを外します。

❶ ネジ（1ケ所）をゆるめます。

❷ サイドカバーを外します。

サイドカバーの上部を持ち上げながら外側にずらすと外れます。

メモ サイドカバーが外れない場合は、フロントカバーが開いているか確認してください。

【フロントカバーが開いた状態】 【マルチパーパストレイが開いた状態】

4 内蔵ハードディスクを取り付けます。

❶ 金属プレートの扉を開けます。

❷ 内蔵ハードディスクの突起部をプリンタ側の孔に差し込みます。

❸ ねじ（2本）で止めます。

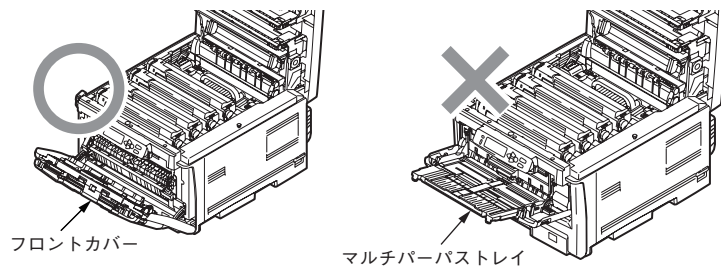
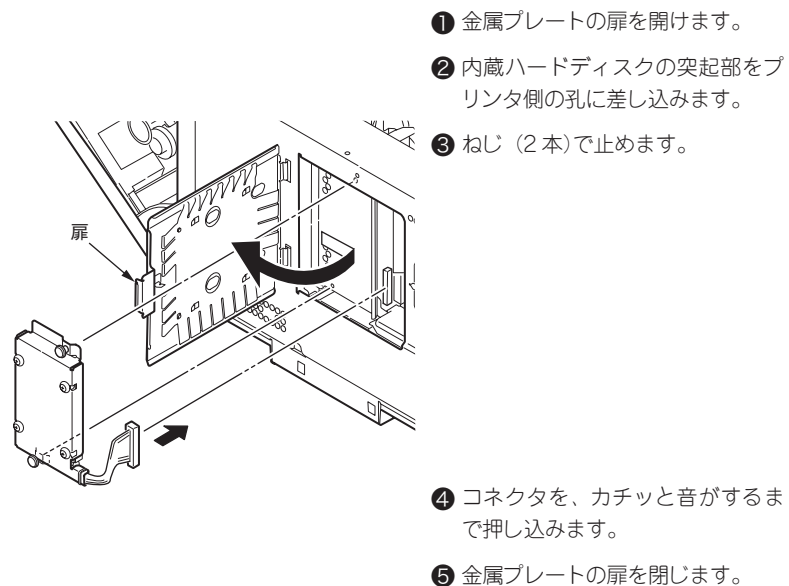
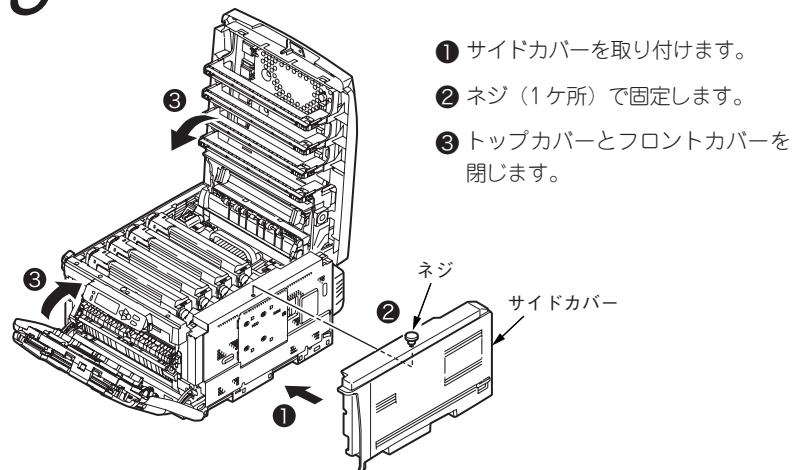
❹ コネクタを、カチッと音がするまで押し込みます。

❺ 金属プレートの扉を閉じます。

5 サイドカバーを取り付けます。

❶ サイドカバーを取り付けます。

❷ ネジ（1 ケ所）で固定します。

❸ トップカバーとフロントカバーを閉じます。

6 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源を ON にします。

7 メニューマップ印刷を行い、内蔵ハードディスクが正しく取り付けられていることを確認します。

```
MenuMap
プリンタシリアル番号:AA67007209　プリ
CU version:E0.19 [ I01.18 U02.0K S3.0
PU version:00.00.32 [ P103.10 L000.00
PCL Program version:04.25 [ 04.26 X03
PS Program version:3015, PSE14 01.00
両面印刷:installed トレイ1:A4 横送り
Total Memory Size:256 MB
Flash Memory:4 MB [ F50 ]
HDD:40.01 GB [ F50 ]
JPT  LCD:T1  PNL:T1  DPR:1.5 47
```

❶ メニューマップ印刷をします。
詳しくは「メニューマップ印刷をします」（23 ページ）をご覧ください。

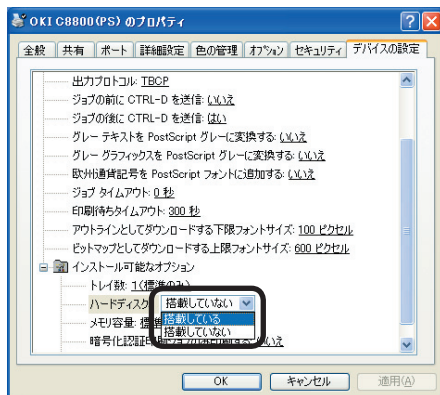
❷「HDD」に内蔵ハードディスクの容量が表示されていることを確認します。

ハードディスクの容量は、左図の例とは異なる場合があります。

HDD の容量が表示されない場合は、内蔵ハードディスクを取り付け直してください。

IC カード認証用内蔵ハードディスクを取り付けた場合は、ハードディスク添付のマニュアルを必ずお読みください。

続けて、プリンタドライバで内蔵ハードディスクを認識させるための設定が必要です。プリンタドライバをセットアップしていない場合は、3 章〜 8 章を参照して、プリンタドライバをセットアップした後、次ページ以降の手順で設定してください。

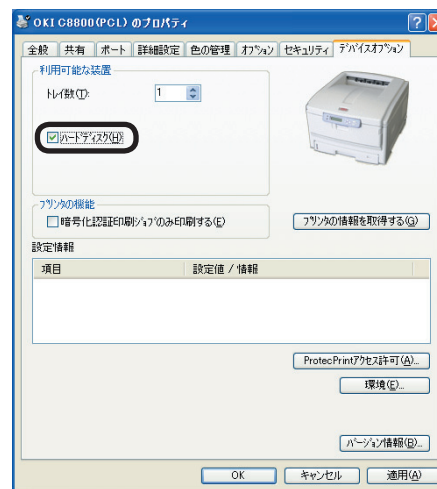
8 プリンタドライバで［ハードディスク］を設定します。

 コンピュータの管理者の権限が必要です。

Windows PSプリンタドライバの場合

（Windows XPの画面）

❶ Windows Vista では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。
Windows XP では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [C8800(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスの設定]タブの[インストール可能なオプション]で[プリンタの情報を取得する]をクリックし［セットアップ］または[プリンタの情報を取得する]をクリックします。USB 接続の場合は手動で［ハードディスク]を[搭載している]に設定します。

❹ [OK］をクリックします。

Windows PCLプリンタドライバの場合

（Windows XPの画面）

❶ Windows Vista では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。
Windows XP では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

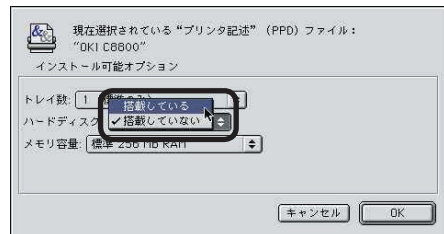
❷ [C8800(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスオプション]タブで[プリンタ情報を取得する]を選択します。USB 接続の場合は手動で［ハードディスク]にチェックをつけます。

❹ [OK]をクリックします。

Macintoshの場合

Macintosh ではプリンタドライバをインストールする前にオプションが追加されている場合には、自動的にオプションの情報が取得されます。
プリンタドライバをインストールした後にオプションを追加した場合は、以下の手順でオプションを設定してください。

ネットワーク接続の場合

❶ [セレクタ]でプリンタを選択し、[再設定]をクリックします。

❷ [構成]をクリックします。

❸ [ハードディスク]で[搭載している]を選択し、[OK]をクリックします。

❹ [セレクタ]を閉じます。

USB接続の場合

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB 接続で Macintosh にセットアップします」の「デスクトップ・プリンタを作成します」(93 ページ)をご覧ください。

Mac OS Xの場合

Mac OS X ではプリンタドライバをインストールする前にオプションが追加されている場合には自動的にデバイス情報が取得されますが、「IP プリント」や「Bonjour(Rendezvous)」で接続した場合は自動的にデバイス情報が取得されません。「AppleTalk」で接続した場合にもプリンタドライバの追加後にオプションを追加した場合には自動的にデバイス情報が取得されません。
これらの場合、以下手順にてオプションを設定してください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション]-[ユーティリティ]-[プリンタ設定ユーティリティ]（Mac OS X 10.2 では[アプリケーション]-[ユーティリティ]-[プリントセンター]）をダブルクリックします。

❷ [C8800]を選択し、[情報を見る]をクリックし[プリンタ情報]を開きます。

❸ [インストール可能なオプション]を選択します。

❹ [ハードディスク]にチェックを付け、[変更を適用]をクリックします。

❺ [プリンタ情報］を閉じます。

❻ [プリンタリスト]に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、[プリントセンター]を閉じます。
（Mac OS X 10.2 の場合、追加したプリンタ名を選択し、[プリンタ]-[情報を見る]メニューの[インストール可能なオプション]パネルの[ハードディスク]にチェックを付け、[変更を適用]をクリックします。）

2 操作パネルとメニューについて

操作パネル

番号	名　称	説　明	番号	名　称	説　明
❶	表示部	プリンタの状態や、障害が発生したときの内容を表示します。	❺	「メニュー＋」スイッチ 「メニュー－」スイッチ	メニューモードに入ります。 メニューモード中は、メニューの表示内容を先に進めたり戻したりします。2 秒以上押すと早送りまたは早戻しします。
❷	「オンライン」ランプ（緑）	点灯：データを受信できる状態です。（オンライン） 点滅：受信したデータを処理しています。 消灯：データを受信できない状態です。（オフライン）	❻	「設定」スイッチ	オンライン中またはオフライン中はメニューモードに入ります。 メニューモード中は、選択した値を確定します。
❸	「点検」ランプ（赤）	点灯：ワーニングが発生していますが、印刷は可能です。 点滅：エラーが発生したので印刷ができません。 消灯：通常状態です。	❼	「戻る」スイッチ	メニューモードのカテゴリ表示中に押すとオンラインになります。メニューモード中は前の表示に戻ります。 4 秒以上押すと、システムシャットダウン確認メニューが表示されます。
❹	「オンライン」スイッチ	オンラインとオフラインを切り替えます。メニューモード中に押すと、メニューを抜けてオンラインになります。 「ヨウシガ　チガイマス」、「サイズガ　チガイマス」を表示中に押すと、現在セットされている用紙で強制的に印刷を実行します。	❽	「キャンセル」スイッチ	2 秒以上押すと、印刷または受信中のデータを削除します。「サイズガ　チガイマス」、「ヨウシガ　アリマセン」、「トレイ 1 ガ　アイテイマス」、「トレイ 1 ガ　アリマセン」を表示中に 2 秒以上押すとデータを削除します。

プリンタのユーザメニュー一覧

ユーザメニューの各カテゴリを設定できます。
一覧で◎と表示される設定値は、プリンタドライバの設定が優先され、プリンタのユーザメニューで設定された値は無効になります。
ユーザーメニューは Web 上からも設定することができます。詳しくは「Web ブラウザ」（応用編）をご覧ください。

変更方法

❶ ［＋］「メニュー＋」スイッチを数回押し、設定する「カテゴリ」を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ［＋］「メニュー＋」スイッチまたは［－］「メニュー－」スイッチを押し、設定する「項目」を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ ［＋］「メニュー＋」スイッチまたは［－］「メニュー－」スイッチを押し、「設定値」を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、値の右側に［✱］を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

注 「USB メニュー」と「セントロメニュー」カテゴリの設定値を変更したときは、電源を OFF/ON してください。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(22 ページ) をご覧ください。

「設定値」の網かけは初期の値です。
◎：プリンタドライバの設定が優先
○：プリンタで設定が必要またはプリンタの設定が優先
ー：プリンタドライバ使用時は無効

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目 (上段)	設定値 (下段)				
ｲﾝｻﾂ ｼﾞｮﾌﾞ ﾒﾆｭｰ ＊	ｱﾝｺﾞｳｼﾞｮﾌﾞ	ｼﾞｮﾌﾞｶﾞｱﾘﾏｾﾝ ｲﾝｻﾂ ｼﾞｯｺｳ ｻｸｼﾞｮ	暗号化認証印刷を行う時に選択します。暗号化認証印刷するデータが無い時は、「ｼﾞｮﾌﾞｶﾞｱﾘﾏｾﾝ」と表示します。	ー	ー	ー
	ﾎｿﾞﾝｼﾞｮﾌﾞ	ｼﾞｮﾌﾞｶﾞｱﾘﾏｾﾝ ｲﾝｻﾂ ｼﾞｯｺｳ ｻｸｼﾞｮ	ハードディスクに保存されたデータを印刷する時に選択します。 印刷するデータが無い時は、「ｼﾞｮﾌﾞｶﾞｱﾘﾏｾﾝ」と表示します。	ー	ー	ー
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ ﾒﾆｭｰ　注）	ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ ｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	メニューマップを印刷します。	ー	ー	ー
	ﾈｯﾄﾜｰｸ	ｼﾞｯｺｳ	ネットワーク設定情報を印刷します。	ー	ー	ー
	ﾌｧｲﾙﾘｽﾄ ｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	ファイルリストを印刷します。	ー	ー	ー
	PCL ﾌｫﾝﾄ ｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	PCL のフォントリストを印刷します。	ー	ー	ー
	PSE ﾌｫﾝﾄ ｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	PS のフォントリストを印刷します。	ー	ー	ー
	DEMO1	ｼﾞｯｺｳ	デモ印刷をします。	ー	ー	ー
	ｴﾗｰﾛｸﾞ ｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	エラーログを印刷します。	ー	ー	ー
	ｼﾞｮﾌﾞﾛｸﾞ ｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	印刷履歴を印刷します。	ー	ー	ー
	ｼｭｳｹｲｹｯｶ　ｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	集計結果を印刷します。	ー	ー	ー
	ｶﾗｰ ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ ﾘｽﾄ	ｼﾞｯｺｳ	カラープロファイルリストを印刷します。	ー	ー	ー
ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ ﾒﾆｭｰ	ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ ｽﾀｰﾄ	ｼﾞｯｺｳ	ファイルシステム保護のために電源オフシーケンスを行います。	○	○	○

＊ オプションのハードディスク装着時に表示

注）プリントジョブアカウンティング（オプション）で［ローカルプリント］が［印刷不可］に設定されている場合は印刷できません。また、ローカルプリントが［カラー印刷不可］に設定されている場合には、「メニューマップ　インサツ」および「DEMO1」は印刷できません。

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目 (上段)	設定値 (下段)				
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ	1 〜 999	コピー枚数を設定します。	◎	◎	◎
	ﾘｮｳﾒﾝ ｲﾝｻﾂ	ｵﾝ ｵﾌ	両面印刷を指定します。	◎	◎	◎
	ﾄｼﾞｶﾀ *	ﾖｺﾄｼﾞ ﾀﾃﾄｼﾞ	両面印刷の綴じ方を指定します。 *：［リョウメン　インサツ］が［オン］のときに表示。	◎	◎	◎
	ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	ﾄﾚｲ 1 ﾄﾚｲ 2　* MP ﾄﾚｲ	給紙トレイを選択します。 *：トレイ２は、オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示。	◎	◎	◎
	ｼﾞﾄﾞｳ ﾄﾚｲ ｷﾘｶｴ	ｵﾝ ｵﾌ	自動トレイ切替をするかどうか設定します。	◎	◎	◎
	ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸｼﾞｭﾝｼﾞｮ	ｼﾀ ﾎｳｺｳ ｳｴ ﾎｳｺｳ ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	自動トレイ選択／自動トレイ切り換え時の、選択順序の優先順位を指定します。	○	○	○
	MP ﾄﾚｲ ﾉ ﾂｶｲｶﾀ	ﾖｳｼｶﾞｲ ﾉ ﾄｷ ｼﾖｳｼﾅｲ	マルチパーパストレイの使い方を設定します。	○	○	○
	ﾖｳｼﾁｪｯｸ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	用紙サイズのチェックをするかどうか設定します。	◎	◎	◎
	ｶｲｿﾞｳﾄﾞ	600DPI 600 X 1200DPI 600DPI M-LEVEL	解像度を選択します。	◎	◎	◎
	ﾄﾅｰｾｰﾌﾞﾓｰﾄﾞ	ｵﾝ ｵﾌ	トナーセーブモードの有効／無効を切り替えます。	◎	◎	◎
	ﾓﾉｸﾛ ｲﾝｻﾂ ｿｸﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ 32PPM 26PPM 30PPM	モノクロ印刷速度を設定します。 詳しくは、「モノクロ（白黒）の印刷速度を変更したい」（応用編）をご覧ください。	○	○	○
	ｲﾝｻﾂ ﾎｳｺｳ	ﾀﾃ ﾖｺ	印刷方向を設定します。	◎	◎	◎
	1 ﾍﾟｰｼﾞ ｷﾞｮｳｽｳ	5 ｷﾞｮｳ 〜 64 ｷﾞｮｳ 〜 128 ｷﾞｮｳ	1 ページに印刷できる行数を設定します。	—	—	—

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目 (上段)	設定値 (下段)				
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	ﾍﾝｼｭｳ ｻｲｽﾞ	ｶｾｯﾄ ｻｲｽﾞ A3 A4 ﾀﾃｵｸﾘ A4 ﾖｺｵｸﾘ A5 ﾀﾃｵｸﾘ A6 B4 B5 ﾀﾃｵｸﾘ B5 ﾖｺｵｸﾘ ﾘｰｶﾞﾙ 14 ﾘｰｶﾞﾙ 13.5 ﾘｰｶﾞﾙ 13 ﾚﾀｰ ﾀﾃｵｸﾘ ﾚﾀｰ ﾖｺｵｸﾘ ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ ｶｽﾀﾑ COM-10 ENVELOPE DL ENVELOPE C5 ENVELOPE C4 ENVELOPE ﾊｶﾞｷ ｵｳﾌｸﾊｶﾞｷ ﾁｮｳｹｲ 3 ﾌｳﾄｳ ﾖｳｹｲ 0 ﾌｳﾄｳ ﾖｳｹｲ 4 ﾌｳﾄｳ ｶｸｶﾞﾀ 2 ﾌｳﾄｳ ｶｸｶﾞﾀ 3 ﾌｳﾄｳ	コンピュータから用紙サイズを指定しなかった場合の用紙の編集サイズを設定します。［カセット　サイズ］を選択すると、現在選択されているトレイの用紙サイズを編集サイズとします。	—	—	—
	ﾖｳｼﾊﾊﾞ （ﾐﾘﾒｰﾄﾙ）	64 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 210 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	デフォルトのカスタム用紙の用紙幅を設定します。	—	—	—
	ﾖｳｼﾅｶﾞｻ （ﾐﾘﾒｰﾄﾙ）	105 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 1200 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	デフォルトのカスタム用紙の用紙長を設定します。	—	—	—
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼｻｲｽﾞ	ｶｾｯﾄｻｲｽﾞ ｶｽﾀﾑ	トレイ 1 の用紙サイズを設定します。	○	○	○
	ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼﾊﾊﾞ	100 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 210 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	トレイ 1 のカスタム用紙の用紙幅を設定します。用紙走行方向と垂直方向の幅です。	○	○	○
	ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼﾅｶﾞｻ	148 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 420 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	トレイ 1 のカスタム用紙の用紙長を設定します。用紙走行方向の長さです。	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目 (上段)	設定値 (下段)				
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	ﾄﾚｲ 1 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾗｲｶﾐ ﾄｸｼｭﾖｳｼ USERTYPE 1 USERTYPE 2 USERTYPE 3 USERTYPE 4 USERTYPE 5	トレイ1の用紙種別を設定します。 ユーザタイプ 1 ～ 5 は、コンピュータより登録された時のみ表示します。 コンピュータから文字列が設定されている場合は、該当文字列が表示されます。	◎	◎	◎
	ﾄﾚｲ 1 ﾒﾃﾞｨｱｳｴｲﾄ	ﾌﾂｳｼ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ	トレイ 1 の用紙厚を設定します。	◎	◎	◎
	ﾄﾚｲ 1 ﾘｰｶﾞﾙ ｻｲｽﾞ	ﾘｰｶﾞﾙ 14 ﾘｰｶﾞﾙ 13.5 ﾘｰｶﾞﾙ 13	トレイ 1 のリーガル用紙サイズを指定します。	○	○	○
	ﾄﾚｲ 2 ﾖｳｼｻｲｽﾞ ＊	ｶｾｯﾄｻｲｽﾞ ｶｽﾀﾑ	トレイ 2 の用紙サイズを設定します。 ＊：オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示します。	○	○	○
	ﾄﾚｲ 2 ﾖｳｼﾊﾊﾞ ＊	148 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 210 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	トレイ 2 のカスタム用紙の用紙幅を設定します。用紙走行方向と垂直方向の幅です。 ＊：オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示します。	○	○	○
	ﾄﾚｲ 2 ﾖｳｼﾅｶﾞｻ ＊	182 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 420 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	トレイ 2 のカスタム用紙の用紙長を設定します。用紙走行方向の長さです。 ＊：オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示します。	○	○	○
	ﾄﾚｲ 2 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ ＊	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾂｶﾞﾐ ｱﾗｲｶﾐ ﾄｸｼｭﾖｳｼ USERTYPE 1 USERTYPE 2 USERTYPE 3 USERTYPE 4 USERTYPE 5	トレイ 2 の用紙種別を設定します。 ユーザタイプ 1 ～ 5 は、コンピュータより登録された時のみ表示します。 コンピュータから文字列が設定されている場合は、該当文字列が表示されます。 ＊：オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示します。	◎	◎	◎
	ﾄﾚｲ 2 ﾒﾃﾞｨｱｳｴｲﾄ ＊	ﾌﾂｳｼ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ	トレイ 2 の用紙厚を設定します。 ＊：オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示します。	◎	◎	◎
	ﾄﾚｲ 2 ﾘｰｶﾞﾙ ｻｲｽﾞ ＊	ﾘｰｶﾞﾙ 14 ﾘｰｶﾞﾙ 13.5 ﾘｰｶﾞﾙ 13	トレイ 2 のリーガル用紙サイズを指定します。 ＊：オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示します。	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目 (上段)	設定値 (下段)				
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A3 A4 ﾀﾃｵｸﾘ A4 ﾖｺｵｸﾘ A5 ﾀﾃｵｸﾘ A6 B4 B5 ﾀﾃｵｸﾘ B5 ﾖｺｵｸﾘ ﾘｰｶﾞﾙ 14 ﾘｰｶﾞﾙ 13.5 ﾘｰｶﾞﾙ 13 ﾚﾀｰ ﾀﾃｵｸﾘ ﾚﾀｰ ﾖｺｵｸﾘ ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ ｶｽﾀﾑ COM-10 ENVELOPE DL ENVELOPE C5 ENVELOPE C4 ENVELOPE ﾊｶﾞｷ ｵｳﾌｸﾊｶﾞｷ ﾁｮｳｹｲ 3 ﾌｳﾄｳ ﾖｳｹｲ 0 ﾌｳﾄｳ ﾖｳｹｲ 4 ﾌｳﾄｳ ｶｸｶﾞﾀ 2 ﾌｳﾄｳ ｶｸｶﾞﾀ 3 ﾌｳﾄｳ	MP トレイの用紙サイズを設定します。	○	○	○
	MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼﾊﾊﾞ	64 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 210 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	MPT のカスタム用紙の用紙幅を設定します。用紙走行方向と垂直方向の幅です。	○	○	○
	MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼﾅｶﾞｻ	105 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 1200 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	MPT のカスタム用紙の用紙長を設定します。用紙走行方向の長さです。	○	○	○
	MP ﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ ﾗﾍﾞﾙｼ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾂｶﾞﾐ ｱﾗｲｶﾐ ﾄｸｼｭﾖｳｼ OHP USERTYPE 1 USERTYPE 2 USERTYPE 3 USERTYPE 4 USERTYPE 5	MP トレイの用紙種別を設定します。 ユーザタイプ 1 ～ 5 は、コンピュータより登録された時のみ表示します。 コンピュータから文字列が設定されている場合は、該当文字列が表示されます。	◎	◎	◎

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目 (上段)	設定値 (下段)				
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	MP ﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱｳｴｲﾄ	ﾌﾂｳ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ	MP トレイの用紙厚を設定します。	◎	◎	◎
	ﾋｮｳｼﾞﾀﾝｲ	ｲﾝﾁ ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	カスタム用紙サイズの単位を指定します。	◎	◎	◎
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ ﾓｰﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ ｼｭﾄﾞｳ	濃度補正と階調補正を自動で行うか設定します。	○	○	○
	ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ	ｼﾞｯｺｳ	実行を選択すると、プリンタは直ちに濃度補正を行います。アイドル状態で実行してください。	○	○	○
	ｶﾗｰ ﾁｮｳｾｲ	ﾊﾟﾀｰﾝ ｲﾝｻﾂ	カラー調整パターンを印刷します。 注 : プリントジョブアカウンティング (オプション) で [ローカルプリント] が [印刷不可] または [カラー印刷不可] に設定されている場合には印刷できません。	○	○	○
	C HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの淡い部分 (Highlight) の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○	○	○
	C MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの中間部 (Mid-tone) の色の調子を調整します。	○	○	○
	C DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの濃い部分 (Dark) の色の調子を調整します。	○	○	○
	M HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの淡い部分 (Highlight) の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目 (上段)	設定値 (下段)				
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	M MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの中間部 (Mid-tone) の色の調子を調整します。	○	○	○
	M DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの濃い部分 (Dark) の色の調子を調整します。	○	○	○
	Y HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの淡い部分 (Highlight) の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○	○	○
	Y MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの中間部 (Mid-tone) の色の調子を調整します。	○	○	○
	Y DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの濃い部分 (Dark) の色の調子を調整します。	○	○	○
	K HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの淡い部分 (Highlight) の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○	○	○
	K MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの中間部 (Mid-tone) の色の調子を調整します。	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目（上段）	設定値（下段）				
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	K DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの濃い部分（Dark）の色の調子を調整します。	○	○	○
	C ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。 4 色分設定後、「カラーメニュー」の「ノウド　ホセイ」を実行してください。	○	○	○
	M ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。 4 色分設定後、「カラーメニュー」の「ノウド　ホセイ」を実行してください。	○	○	○
	Y ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。 4 色分設定後、「カラーメニュー」の「ノウド　ホセイ」を実行してください。	○	○	○
	K ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。 4色分設定後、「カラーメニュー」の「ノウド　ホセイ」を実行してください。	○	○	○
	ｼﾞﾄﾞｳ ｲﾛｽﾞﾚ ﾎｾｲ	ｼﾞｯｺｳ	このメニューを実行すると、プリンタは自動色ずれ補正動作を実行します。アイドル状態で実行してください。	○	○	○
	C ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの画像位置ズレを微調整します。	○	○	○
	M ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの画像位置ズレを微調整します。	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目（上段）	設定値（下段）				
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	Y ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの画像位置ズレを微調整します。	○	○	○
	ｲﾝｸｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ｵﾌ SWOP EUROSCALE JAPAN	インクシミュレーションを設定します。この設定は PS 言語ジョブに対してのみ有効です。	◎	−	◎
	UCR	ｽｸﾅｲ ﾌﾂｳ ｵｵｲ	カラー印刷するときの墨版（黒）の量を選択できます。墨版の量を多くすると他の 3 色のトナー量の節約になります。	○	○	○
	CMY100% ﾉｳﾄﾞ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	CMY100% 階調値に対する 100% 出力を有効とするかどうかを選択します。	○	○	○
	CMYK ﾍﾝｶﾝ	ｵﾝ ｵﾌ	［オフ］にすると、ポストスクリプト印刷データの中で CMYK データを多用される場合に印字時間を短縮するのに有効です。ただし、印刷結果の色合いが変わります。また、インクシミュレーション機能を利用する場合にはこのメニュー設定は無効になります。	○	−	○
ｼｽﾃﾑ ｺｳｾｲ ﾒﾆｭｰ	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｲｺｳｼﾞｶﾝ	1 ﾌﾝ 3 ﾌﾝ 5 ﾌﾝ 15 ﾌﾝ 30 ﾌﾝ 60 ﾌﾝ 240 ﾌﾝ	省電力モードに入るまでの時間を設定します。	○	○	○
	ﾄﾞｳｻﾓｰﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ PCL PS3 ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	プリント言語を選択します。［ジドウ］にするとプリント言語を自動切替えします。	○	○	○
	ｾﾝﾄﾛ PS-ﾌﾟﾛﾄｺﾙ	ASCII RAW	セントロからのデータの PS 通信プロトコルのモードを指定します。	○	−	○
	USB PS-ﾌﾟﾛﾄｺﾙ	ASCII RAW	USB からのデータの PS 通信プロトコルのモードを指定します。	○	−	○
	NET PS-ﾌﾟﾛﾄｺﾙ	ASCII RAW	ネットワークカードからのデータの PS 通信プロトコルのモードを指定します。	○	−	○
	ｱﾗｰﾑ ｶｲｼﾞｮ	ｵﾝﾗｲﾝ ｼﾞｮﾌﾞ	PS:この設定によらずジョブ中のみエラーを表示します。 PCL：復旧可能エラー表示の解除タイミングを設定します。 ［オンライン］は「オンライン」スイッチを押すまでエラーを表示します。 ［ジョブ］は次のジョブを受信するまでエラーを表示します。	−	○	−
	ｴﾗｰ ｼﾞﾄﾞｳ ｶｲｼﾞｮ	ｵﾝ ｵﾌ	メモリオーバフロー発生時、自動的にプリンタを復旧させるかを設定します。	−	○	−

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目（上段）	設定値（下段）				
ｼｽﾃﾑ ｺｳｾｲ ﾒﾆｭｰ	ﾏﾆｭｱﾙ ﾀｲﾑｱｳﾄ	ｵﾌ 30 ﾋﾞｮｳ 60 ﾋﾞｮｳ	手差し印刷時の用紙がセットされるのを待つ時間を設定します。	○	○	○
	ﾀｲﾑｱｳﾄ ｲﾝｻﾂ	ｵﾌ 5 ﾋﾞｮｳ ～ 40 ﾋﾞｮｳ ～ 300 ﾋﾞｮｳ	データを受信しなくなってから強制印刷するまでの時間を設定します。 PS はジョブをキャンセルします。	◎	○	◎
	ﾄﾅｰﾌｿｸ ｲﾝｻﾂｹｲｿﾞｸ	ｹｲｿﾞｸ ﾁｭｳｼ	［トナー　フソク］が表示されたときに印刷を継続させるかどうか設定します。チュウシの場合は［***　トナーフソク］（*** はトナー色）が表示されるとオフライン状態になります。	○	○	○
	ｼﾞｬﾑ ﾘｶﾊﾞｰ	ｵﾝ ｵﾌ	紙づまりの後、つまったページから印刷するかどうか設定します。	○	○	○
	ｴﾗｰ ﾚﾎﾟｰﾄ	ｵﾝ ｵﾌ	ポストスクリプトエラーが発生したとき、エラーレポートを印刷するかどうか設定します。	◎	―	◎
PCL ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ｼﾖｳ ﾌｫﾝﾄ	ﾅｲｿﾞｳ ﾌｫﾝﾄ ﾅｲｿﾞｳ ﾌｫﾝﾄ 2 ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ﾌｫﾝﾄ	使用するフォントの場所を指定します。［ダウンロードフォント］は RAM にフォントがダウンロードされている場合に表示されます。	―	―	―
	ﾌｫﾝﾄ No.	I0 C0 S0	使用するフォントの番号を選択します。	―	―	―
	ﾌｫﾝﾄ ﾋﾟｯﾁ	0.44 CPI ～ 10.00 CPI ～ 99.99 CPI	フォントの幅を設定します。 （単位：character/inch） ［フォント No.］で選択されたフォントが固定スペーシングのアウトラインフォントの場合に表示されます。	―	―	―
	ﾌｫﾝﾄ ｻｲｽﾞ	4.00 ﾎﾟｲﾝﾄ ～ 12.00 ﾎﾟｲﾝﾄ ～ 999.75 ﾎﾟｲﾝﾄ	フォントの高さを設定します。 （単位：ポイント） ［フォント No.］で選択されたフォントが比例スペーシングのアウトラインフォントの場合に表示されます。	―	―	―
	ｼﾝﾎﾞﾙｾｯﾄ	WIN3.1J* ～	シンボルセットを選択します。	―	―	―
	A4 ｲﾝｼﾞ ﾊﾊﾞ	78 ｹﾀ 80 ｹﾀ	A4 用紙の自動改行する桁数を設定します。	―	―	―
	ﾊｸｼ ﾍﾟｰｼﾞ ｼﾞｮｶﾞｲ	ｵﾝ ｵﾌ	空白ページを印刷しないようにするか設定します。	―	―	―
	CR ﾄﾞｳｻ	CR ﾉﾐ CR+LF	CR コード受信時の動作を設定します。	―	―	―

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目（上段）	設定値（下段）				
PCL ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	LF ﾄﾞｳｻ	LF ﾉﾐ LF+CR	LF コード受信時の動作を設定します。	―	―	―
	ｲﾝｻﾂ ﾘｮｳｲｷ	ﾉｰﾏﾙ 1/5 ｲﾝﾁ 1/6 ｲﾝﾁ	用紙の印刷不可能領域を設定します。 細い線を見えるように補正します。	―	―	―
	ｲﾒｰｼﾞ ｸﾛ ｾﾝﾀｸ	ﾀﾝｼｮｸ ｸﾛ ｺﾝｺﾞｳ ｸﾛ	イメージデータの黒を CMYK 混色で印刷するか、ブラックトナーのみで印刷するか設定します。	―	◎	―
	ﾍﾟﾝﾊﾊﾞ ﾎｾｲ	ｵﾝ ｵﾌ	細い線を見えるように補正します。PS には無効です。	―	◎	―
	トレイ　ID#	トレイ 2 1 ～ 5 ～ 59	PCL コマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ 2 指定の＃を指定します。 *：オプションのセカンドトレイユニット	―	○	―
		MP トレイ 1 ～ 4 ～ 59	PCL コマンドでの給紙先指定コマンドで、マルチパーパストレイ指定の＃を指定します。	○	○	―
ｾﾝﾄﾛ ﾒﾆｭｰ	ｾﾝﾄﾛ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	セントロ I/F の有効／無効を設定します。	○	○	―
	ｿｳﾎｳｺｳ ｾﾝﾄﾛ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	双方向セントロの有効／無効を設定します。	○	○	―
	ECP	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	ECP モードの有効／無効を設定します。	○	○	―
	ACK ﾊﾊﾞ	ｾﾏｲ ﾌﾂｳ ﾋﾛｲ	コンパチ受信時の ACK 幅を設定します。 NARROW = 0.5 μｓ MEDIUM = 1.0 μｓ WIDE = 3.0 μｓ	○	○	―
	ACK/BUSY ﾀｲﾐﾝｸﾞ	ACK IN BUSY ACK WHILE BUSY	コンパチ受信時の BUSY 信号と ACK 信号の出力順序を設定します。	○	○	―
	I-PRIME	3 ﾏｲｸﾛﾋﾞｮｳ 50 ﾏｲｸﾛﾋﾞｮｳ ﾑｺｳ	I-PRIME 信号の有効時間／無効を設定します。	○	○	―
	ｵﾌﾗｲﾝ ｼﾞｭｼﾝ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	オフライン状態や復旧可能なエラーが発生しているときでも、データ受信を行うかどうか設定します。	○	○	―

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目 (上段)	設定値 (下段)				
USB ﾒﾆｭｰ	USB	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	USB インタフェースの有効／無効を選択します。	○	○	○
	ｿﾌﾄ ﾘｾｯﾄ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	ソフトリセットコマンドの有効／無効を設定します。	○	○	○
	SPEED	480Mbps 12Mbps	USB インタフェースの最大転送速度を設定します。	○	○	○
	ｵﾌﾗｲﾝ ｼﾞｭｼﾝ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	オフライン状態や復旧可能なエラーが発生しているときでも、データ受信を行うかどうか設定します。	○	○	○
	ｼﾘｱﾙﾅﾝﾊﾞ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	USB シリアルナンバーの有効／無効を指定します。 USB シリアルナンバーは、PC が接続されている USB デバイスを識別するために使用されます。	○	○	○
ﾈｯﾄﾜｰｸ ﾒﾆｭｰ	TCP/IP	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	TCP/IP プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	IP ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	IPv4 IPv4+v6 IPv6	使用する IP のバージョンを設定します。ただし、パネルから IP 6 に設定することはできません。 TCP/IP がﾑｺｳの場合は表示されません。	○	○	○
	NETBEUI	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	NetBEUI プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	NETWARE	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	NetWare プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	ETHERTALK	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	EtherTalk プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ	ｼﾞﾄﾞｳ 802.2 802.3 ETHERNETII SNAP	フレームタイプを設定します。 * NETWARE がﾑｺｳの場合は表示されません。	○	○	○
	IP ｱﾄﾞﾚｽｾｯﾃｲ	ｼﾞﾄﾞｳ ｼｭﾄﾞｳ	IP アドレスの設定方法を設定します。 TCP/IP がﾑｺｳの場合は表示されません。	○	○	○
	IP ｱﾄﾞﾚｽ	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。 TCP/IP がﾑｺｳの場合は表示されません。 初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○	○	○
	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。 TCP/IP がﾑｺｳの場合は表示されません。 初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○	○	○
	ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ	0 .0 .0 .0	ゲートウェイアドレスを設定します。 TCP/IP がﾑｺｳの場合は表示されません。 初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○	○	○
ﾈｯﾄﾜｰｸ ﾒﾆｭｰ	ｺｳｼﾞｮｳｼｭｯｶｼﾞ ｾｯﾃｲ	ｼﾞｯｺｳ	ネットワークメニューの初期化を行うかを指定します。	○	○	○
	WEB	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	WEB の有効 / 無効を設定します。 * TCP/IP がﾑｺｳの場合は表示されません。	○	○	○
	TELNET	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	TELNET の有効 / 無効を設定します。 * TCP/IP がﾑｺｳの場合は表示されません。	○	○	○
	FTP	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	FTP の有効 / 無効を設定します。 * TCP/IP がﾑｺｳの場合は表示されません。	○	○	○
	SNMP	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	SNMP の有効 / 無効を設定します。 * TCP/IP と NETWARE の両方がﾑｺｳの場合は表示されません。	○	○	○
	ﾈｯﾄﾜｰｸﾉｷﾎﾞ	ﾌﾂｳ ｼｮｳｷﾎﾞ	ﾌﾂｳ：一般的にはこの設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが 2,3 台の小さな LAN に接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 ｼｮｳｷﾎﾞ：コンピュータが 2,3 台の小さな LAN から大型の LAN まで対応しますが、スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。	○	○	○
	ﾊﾌﾞﾄﾉｾﾂｿﾞｸ	ｼﾞﾄﾞｳ 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	HUB LINK SETTING を設定します。	○	○	○
ﾒﾓﾘ ﾒﾆｭｰ（注）	ｼﾞｭｼﾝ ﾊﾞｯﾌｧ ｻｲｽﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ 0.5MB 1MB 2MB 4MB 8MB 16MB 32MB	受信バッファサイズを設定します。 装着しているメモリ容量により、設定値が異なります。	○	○	○
	ﾘｿｰｽｾｰﾌﾞｴﾘｱ	ｼﾞﾄﾞｳ ｵﾌ 0.5MB 1MB 2MB 4MB 8MB 16MB 32MB	フォントキャッシュエリアのサイズを設定します。 装着しているメモリ容量により設定値が異なります。	○	○	○

メモリメニューは工場出荷時の設定ではユーザメニューに表示されません。アドミニストレータメニューで「MEMORY MENU」、「SYS ADJUST MENU」の設定を「ENABLE」に変更するとユーザメニューに表示されます。詳しくは 48 ページをご覧ください。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目 (上段)	設定値 (下段)				
ｼｽﾃﾑ ﾎｾｲ ﾒﾆｭｰ (注)	X ﾎｾｲ	0.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 +2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 -0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	全体の印刷位置を 0.25mm 単位で横方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○	○	○
	Y ﾎｾｲ	0.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 +2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 -0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	全体の印刷位置を 0.25mm 単位で縦方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。 PS ではマイナス方向の補正は無効です。	○	○	○
	ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ X ﾎｾｲ	0.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 +2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 -0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	両面印刷の裏面全体の印刷位置を 0.25mm 単位で横方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○	○	○
	ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ Y ﾎｾｲ	0.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 +2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 -0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	両面印刷の裏面全体の印刷位置を 0.25mm 単位で縦方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。 PS ではマイナス方向の補正は無効です。	○	○	○
	ﾄﾞﾗﾑｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	ｵﾝ ｵﾌ	印刷前にイメージドラムのクリーニング動作を行います。画質改善の効果がある場合があります。	◎	◎	◎
	ﾍｷｻ ﾀﾞﾝﾌﾟ	ｼﾞｯｺｳ	16 進ダンプで印刷します。16 進ダンプの印刷を終了するには、電源を OFF にします。	○	○	○

注 システムホセイメニューは工場出荷時の設定ではユーザメニューに表示されません。アドミニストレータメニューで「SYS ADJUST MENU」の設定を「ENABLE」に変更するとユーザメニューに表示されます。詳しくは 48 ページをご覧ください。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目 (上段)	設定値 (下段)				
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ ﾒﾆｭｰ	ﾒﾆｭｰ ﾘｾｯﾄ	ｼﾞｯｺｳ	CU の EEPROM をリセットします。ユーザメニュー設定を工場出荷時状態に戻します。 本メニューの実行を選択すると、メニューを抜けます。	○	○	○
	ﾒﾆｭｰ ｾｯﾃｲｦ ﾎｿﾞﾝ	ｼﾞｯｺｳ	現在のメニュー設定を保存します。 最後に実行した時のメニューが保存され、その時に前に保存したものは上書きされ消去されます。 設定スイッチを押すと下記の確認メッセージを表示します。 ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ？ ﾊｲ／ｲｲｴ イイエが選択された場合は、元のメニュー表示に戻ります。ハイが選択された場合は現在のメニュー設定を保存し、メニューを抜けます。	○	○	○
	ﾎｿﾞﾝﾒﾆｭｰ ﾆ ﾓﾄﾞｽ	ｼﾞｯｺｳ	保存しているメニュー設定に変更します。 設定スイッチを押すと下記の確認メッセージを表示します。 ｼﾞｯｺｳｼﾏｽｶ？ ﾊｲ／ｲｲｴ イイエが選択された場合は、元のメニュー表示に戻ります。ハイが選択された場合は保存しているメニュー設定に変更し、メニューを抜けます。 ※印刷データがある状態で実行した場合は　実行されません。	○	○	○
	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｷﾉｳ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	パワーセーブモードの有効 / 無効を設定します。※ 有効時のパワーセーブ移行時間は［システムコウセイメニュー］の［パワーセーブイコウジカン］で設定します。	○	○	○
	ﾌﾂｳｼ ｸﾛ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	湿度差による印字のばらつきを補正します。かすれる場合に値を変更します。	○	○	○
	ﾌﾂｳｼ ｶﾗｰ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	湿度差による印字のばらつきを補正します。かすれる場合に値を変更します。	○	○	○
	OHP ｸﾛ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	湿度差による印字のばらつきを補正します。OHP シートに印刷してかすれる場合に値を変更します。	○	○	○

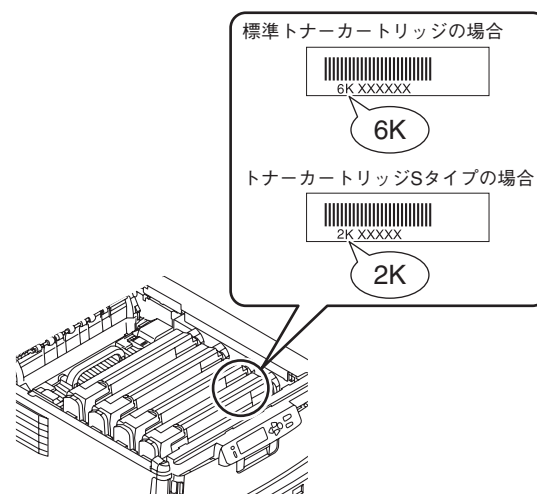
※「ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ　ｷﾉｳ」を「ﾑｺｳ」に設定した状態で長期間ご使用になると、電子部品（ファンなど）の寿命に影響を与える可能性があります。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目（上段）	設定値（下段）				
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ ﾒﾆｭｰ	OHP ｶﾗｰ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。OHP シートに印刷してかすれる場合に値を変更します。	○	○	○
	SMR ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	温湿度環境および印刷濃度 / 印刷頻度の差による印字のばらつきを補正します。画質にむらがある場合に値を変更します。	−	−	−
	BG ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	温湿度環境および印刷濃度 / 印刷頻度の差による印字のばらつきを補正します。下地が濃い場合に値を変更します。	−	−	−
ｼﾞｭﾐｮｳ ﾒﾆｭｰ	ﾄﾚｲ 1 ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	トレイ 1 の総印刷枚数を表示します。	−	−	−
	ﾄﾚｲ 2 ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ *	nnnnnn	トレイ 2 の総印刷枚数を表示します。 *：オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示。	−	−	−
	MP ﾄﾚｲ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	マルチパーパストレイの総印刷枚数を表示します。	−	−	−
	ｶﾗｰ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	カラーページ印刷を行ったページ数を表示します。	−	−	−
	ﾓﾉｸﾛ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	モノクロページ印刷を行ったページ数を表示します。	−	−	−
	K ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	黒のドラムの残り寿命を表示します。	−	−	−
	C ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	シアンのドラムの残り寿命を表示します。	−	−	−
	M ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	マゼンタのドラムの残り寿命を表示します。	−	−	−
	Y ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	イエローのドラムの残り寿命を表示します。	−	−	−
	ﾍﾞﾙﾄ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	ベルトユニットの残り寿命を表示します。	−	−	−
	ﾃｲﾁｬｸｷ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	定着器ユニットの残り寿命を表示します。	−	−	−
	K ﾄﾅｰ（n.nK）	ﾉｺﾘ xxx %	黒トナーの残量を表示します。 6.0K: 標準トナーカートリッジ使用の場合 2.0K: トナーカートリッジ S タイプ使用の場合	−	−	−
	C ﾄﾅｰ（n.nK）	ﾉｺﾘ xxx %	シアントナーの残量を表示します。 6.0K: 標準トナーカートリッジ使用の場合 2.0K: トナーカートリッジ S タイプ使用の場合	−	−	−

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目（上段）	設定値（下段）				
ｼﾞｭﾐｮｳ ﾒﾆｭｰ	M ﾄﾅｰ　（n.nK）	ﾉｺﾘ xxx %	マゼンタトナーの残量を表示します。 6.0K: 標準トナーカートリッジ使用の場合 2.0K: トナーカートリッジ S タイプ使用の場合	−	−	−
	Y ﾄﾅｰ　（n.nK）	ﾉｺﾘ xxx %	イエロートナーの残量を表示します。 6.0K: 標準トナーカートリッジ使用の場合 2.0K: トナーカートリッジ S タイプ使用の場合	−	−	−
ｼﾞｮﾌﾞﾛｸﾞﾒﾆｭｰ	ｼﾞｮﾌﾞﾛｸﾞ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	通常はﾑｺｳのまま変更しないでください。	−	−	−

トナー残量は目安です。以下の場合には正しい残量は表示されません。

- イメージドラム交換時に使用途中のトナーカートリッジを付けた場合

トナーカートリッジの見分け方

プリンタのアドミニストレータメニュー一覧

ユーザメニューの各カテゴリの有効 / 無効などを設定できます。無効のカテゴリはユーザメニューに表示されません。
システム管理者の方のみ使用してください。

変更方法

❶ プリンタの電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(22 ページ) をご覧ください。

❷ 「設定」スイッチを押しながらプリンタの電源を ON にします。
[ADMIN MENU] が表示されたら指を離します。

❸ 「設定」スイッチを押します。

❹ [ENTER PASSWORD]と表示されるので、「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押してパスワードの 1 行目を表示し、「設定」スイッチを押します。
同様の手順で、6 〜 12 桁のパスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は、「aaaaaa」です。

❺ 「メニュー+」スイッチを数回押し、設定する「カテゴリ」を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押します。

❼ 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、設定する「項目」を表示します。

❽ 「設定」スイッチを押します。

フラッシュメモリ、内蔵ハードディスク（オプション）の初期化や、内蔵ハードディスクのパーティションのサイズ変更、特定パーティションの初期化では、「ARE YOU SURE? 」と表示されます。実行してもよいかもう一度ご確認ください。
実行する場合は「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを押して「YES」を表示させて「設定」スイッチを押します。プリンタは自動的にリブートします。各変更が行われます。

❾ 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、「設定値」を表示します。

❿ 「設定」スイッチを押し、値の右側に [＊] を付けます。

⓫ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン] にします。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容
	設定項目 (上段)	設定値 (下段)	
OP MENU	ALL CATEGORY	ENABLE DISABLE	ユーザメニューのすべてのカテゴリの有効 / 無効を設定します。
	PRINT JOBS MENU	ENABLE DISABLE	インサツジョブメニューの有効 / 無効を設定します。
	INFORMATION MENU	ENABLE DISABLE	インフォメーションメニューの有効 / 無効を設定します。
	SHUTDOWN MENU	ENABLE DISABLE	シャットダウンメニューの有効 / 無効を設定します。
	PRINT MENU	ENABLE DISABLE	インサツメニューの有効 / 無効を設定します。
	MEDIA MENU	ENABLE DISABLE	メディアメニューの有効 / 無効を設定します。
	COLOR MENU	ENABLE DISABLE	カラーメニューの有効 / 無効を設定します。
	SYS CONFIG MENU	ENABLE DISABLE	システムコウセイメニューの有効 / 無効を設定します。
	PCL EMULATION	ENABLE DISABLE	PCL エミュレーションメニューの有効 / 無効を設定します。
	PARALLEL MENU	ENABLE DISABLE	パラレルメニューの有効 / 無効を設定します。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容
	設定項目(上段)	設定値(下段)	
OP MENU	USB MENU	ENABLE DISABLE	USB メニューの有効 / 無効を設定します。
	NETWORK MENU	ENABLE DISABLE	NETWORK メニューの有効 / 無効を設定します。
	MEMORY MENU	ENABLE DISABLE	メモリメニューの有効 / 無効を設定します。
	SYS ADJUST MENU	ENABLE DISABLE	システムホセイメニューの有効 / 無効を設定します。
	MAINTENANCE MENU	ENABLE DISABLE	メンテナンスメニューの有効 / 無効を設定します。
	USAGE MENU	ENABLE DISABLE	ジュミョウメニューの有効 / 無効を設定します。
	JOB LOG MENU	ENABLE DISABLE	JOB LOG メニューの有効 / 無効を設定します。
CONFIG MENU	NEARLIFE LED	ENABLE DISABLE	トナー残量が少なくなった場合や、ドラム、定着器、ベルトの寿命が近づいた場合に、点検ランプを点灯させるかを設定します。 ワーニングのメッセージは表示されます。
	PEAK POW CONTROL	ENABLE DISABLE	低ピーク電力制御をする / しないを設定します。
SECURITY MENU	JOB LIMITATION (オプションのハードディスク装着時に表示)	OFF ENCRYPTED JOB	ジョブ制限モードにする / しないを設定します。 [ENCRYPTED JOB] を選択すると、暗号化認証印刷のジョブのみ印刷します。
FILE SYS MAINTE1	HDD INTIALIZE	EXECUTE	ハードディスクのパーテーション分割を行い、各パーテーションをフォーマットします。
	PARTITION SIZE	EXECUTE	パーテーションサイズの変更を行います。
	PCL/ COMMON/PSE	nnn%/mmm%/ lll%	変更後のパーティションサイズを割合で指定します。
	HDD FORMATTING	PCL COMMON PSE	指定パーティションのフォーマットを行います。
	FLASH INITIALIZE	EXECUTE	フラッシュメモリを初期化します。
FILE SYS MAINTE2	CHK FILE SYS	EXECUTE	ファイルシステムを修復します。
	CHK ALL SECTORS	EXECUTE	内蔵ハードディスクのセクタを修復します。
	HDD	ENABLE DISABLE	内蔵ハードディスクの有効 / 無効を設定します。
	HDD ERASE	EXECUTE	内蔵ハードディスクのデータを消去します。
	INITIAL LOCK	YES NO	内蔵ハードディスク、フラッシュメモリメモリの初期化を行わない / 行うを設定します。
LANGUAGE MENU	LANG INITIALIZE	EXECUTE	言語ファイルの書替えに失敗して、プリンタが正常に立ち上がらない時などに実行します。その後、再度言語ファイルの書替えを行ってください。本機能を実行すると操作パネルの表示部が英語表記になってしまいますので、通常は使用しないでください。
PS MENU	L1 TRAY	TYPE1 TYPE2	TYPE1 設定時はレベル 1 オペレータのトレイ選択番号を 1 から有効とし、TYPE2 設定時は 0 から有効とします。
SIDM MENU	SIDM MANUAL ID#	0 ～ 2 ～ 9	MANUAL-1 ID No. FX/PPR エミュレーションでの CSF コントロールコマンド (ESC EM Pn) において MANUAL 指定の Pn を設定します。
	SIDM MANUAL2 ID#	0 ～ 3 ～ 9	MANUAL-2 ID No. FX/PPR エミュレーションでの CSF コントロールコマンド (ESC EM Pn) において MANUAL 指定の Pn を設定します。
	SIDM MP TRAY ID#	0 ～ 4 ～ 9	MP Tray ID No. FX/PPR エミュレーションでの CSF コントロールコマンド (ESC EM Pn) において TRAY0 (MP Tray) 指定の Pn を設定します。
	SIDM TRAY1 ID#	0 1 ～ 9	Tray 1 ID No. FX/PPR エミュレーションでの CSF コントロールコマンド (ESC EM Pn) において TRAY1 指定の Pn を設定します。
	SIDM TRAY2 ID# (実装時のみ表示)	0 ～ 2 ～ 5 ～ 9	Tray 2 ID No. FX/PPR エミュレーションでの CSF コントロールコマンド (ESC EM Pn) において TRAY2 指定の Pn を設定します。
CHANGE_ PASSWORD	NEW PASSWORD	**・・・* (12 ヶ)	管理者用メニューに入るための新しいパスワードを設定します。6 ～ 12 桁の数字または小文字のアルファベットで設定します。
	VERIFY PASSWORD	**・・・* (12 ヶ)	確認のため、NEW PASSWORD で設定したパスワードをもう一度入力します。

- FILE SYS MAINTE1 は、工場出荷時の設定ではアドミニストレータメニューには表示されません。アドミニストレータメニューで「FILE SYS MAINTE2」、「INITIAL LOCK」の設定を「NO」に変更すると表示されます。
- ジョブ制限モードが有効な場合、Windows XP(x64)/Server 2003(x64), MacOS9/OSX から印刷できません。また、ユーティリティによっては一部の機能が使用できなくなります。

3 ネットワーク接続で Windows にセットアップします

動作環境

- Windows Vista/Vista(x64 版)
  Windows Vista 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- Windows Server 2003/2003 (x64版)
  Windows Server 2003 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

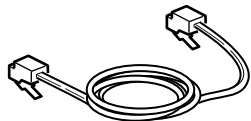
- Windows XP/XP (x64版)
  Windows XP 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- Windows 2000
  Windows 2000 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

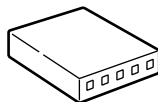
- 日本語以外の OS には対応していません。
- MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。
- Windows3.1/NT3.51/NT4.0/Me/98/95 では動作しません。
- プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

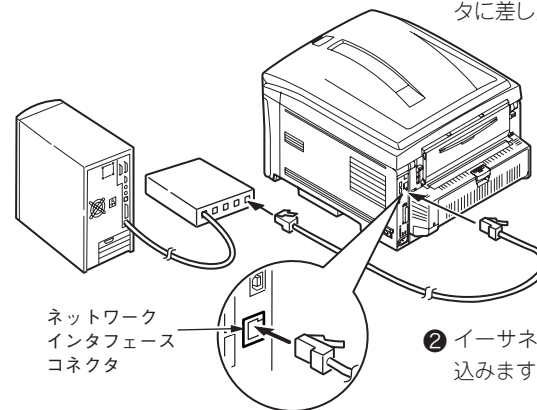
プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉

〈ハブ〉

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

メモ プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」（22 ページ）をご覧ください。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

ネットワーク
インタフェース
コネクタ

❷ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

セットアップします

セットアップの流れ

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

Windows に IP アドレス等を設定します。

プリンタに IP アドレス等を設定します。

プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」からプリンタドライバ、Standard TCP/IP Port をインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

C8800dn には、PS プリンタドライバ、PCL プリンタドライバの 2 種類があります。PostScript に対応しているアプリケーションを使用する場合は、PS プリンタドライバを使います。

セットアップします

ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。ネットワーク上に DHCP サーバ、もしくは BOOTP サーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。

また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有の IP アドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。

現在のプリンタに設定されている IP アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報（Network Information）については、1 章 「メニューマップ印刷をします」（23 ページ）をご覧ください。

- IP アドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりインターネットに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、インターネット接続しているプロバイダに、プリンタに設定できる IP アドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバ（DHCP など）は、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、インターネット接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップには管理者の権限が必要です。

メモ

- プリンタはネットワーク Plug&Play に対応しています。接続しているコンピュータがすべて WindowsVista/XP/2000/Server2003 の場合や、接続しているルータがネットワーク Plug&Play に対応している場合は、ネットワーク上にサーバが存在しなくても自動的に IP アドレスを設定します。コンピュータとプリンタに IP アドレスを手動で設定する必要はありませんので、「手順 4　プリンタドライバをインストールします」(58 ページ) からセットアップしてください。
- コンピュータ 1 台とプリンタ 1 台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。

コンピュータ

IP アドレス	: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0（使用しません）
DNS	: 使用しません

プリンタ

IP アドレス	: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか（コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTP を使用する	: チェックしない
RARP を使用する	: チェックしない
サーバを使用しないアドレス解決	: チェックしない
LAN	: SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	: Windows Vista Home Premium Edition
プリンタ	: C8800（PCL）
IP アドレス	: 192.168.0.3（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1

1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

2 Windows に IP アドレス等を設定します。

すでに Windows に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 3「プリンタに IP アドレス等を設定します」(57 ページ) へ進みます。

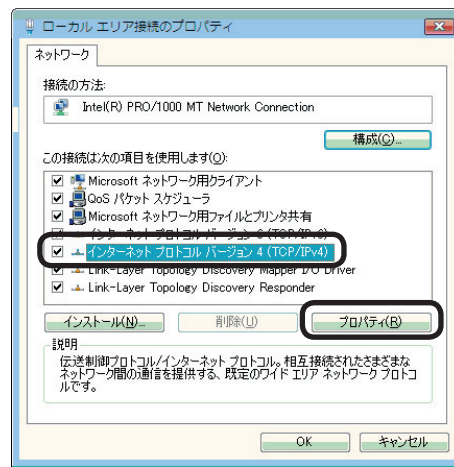
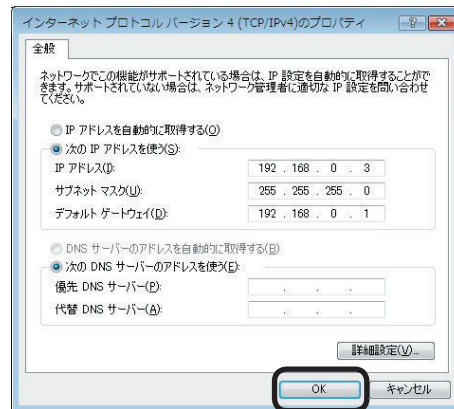
❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。
Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークと共有センター］を選択します。
Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークとインターネット接続］-［ネットワーク接続］を選択します。
Windows Server 2003 では［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［ネットワークと共有センター］を選択します。

❸［ネットワーク接続の管理］をクリックします。

Windows XP/Server 2003/2000 では、この手順を行う必要がありません。

❹［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、「ローカルエリア接続の状態」画面の［プロパティ］をクリックします。「ユーザアカウント制御」画面が表示されたら［続行］をクリックします。

❺［インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❻ IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択し、IP アドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、入力しません。

❼［ローカルエリア接続］を閉じます。

❽［ローカルエリア接続のプロパティ］で［OK］をクリックします。

❾「ローカルエリア接続の状態」画面で［閉じる］をクリックします。

3 プリンタに IP アドレス等を設定します。

メモ すでにプリンタに IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 4「プリンタドライバをインストールします」（58 ページ）へ進みます。

❶プリンタの電源を ON にします。

❷「メニュー＋」スイッチを数回押し、［ネットワークメニュー］を表示します。

❸「設定」スイッチを押します。

❹［TCP/IP ／ユウコウ　＊］と表示されていることを確認します。

［TCP/IP ／ムコウ　＊］と表示されている場合は次の設定を行います。

① 「設定」スイッチを押します。

② 「メニュー＋」スイッチを押し、［TCP/IP ／ユウコウ］を表示します。

③ 「設定」スイッチを押し、値の右側に［＊］を付けます。

④ 「戻る」スイッチを押します。

❺「メニュー＋」スイッチを数回押し、［IP アドレス］を表示します。

❻「設定」スイッチを押します。

❼「メニュー＋」スイッチまたは「メニュー－」スイッチを数回押し、IP アドレスの 1 桁目の値にします。

❽「設定」スイッチを押し、次の桁に移動します。❼と❽を繰り返して、全ての桁の値を設定します。

❾「戻る」スイッチを押します。

以後、❺～❽を繰り返し、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］を設定します。

❿「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

4 プリンタドライバをインストールします。

❶ プリンタの電源が ON で、Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［自動再生］が表示されたら、［Startup.exe の実行］をクリックします。

❸［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

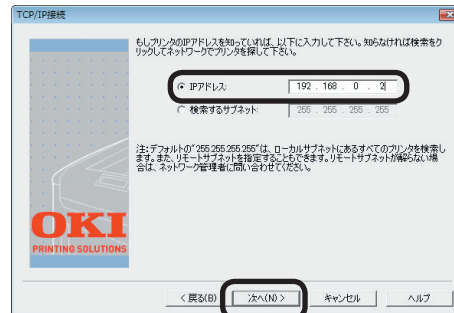
❹「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

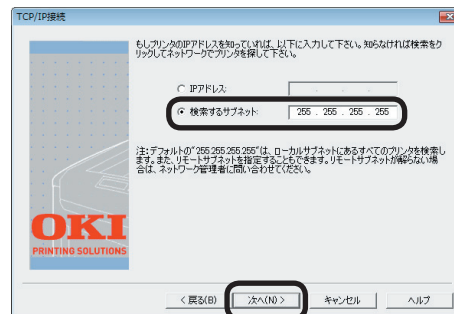
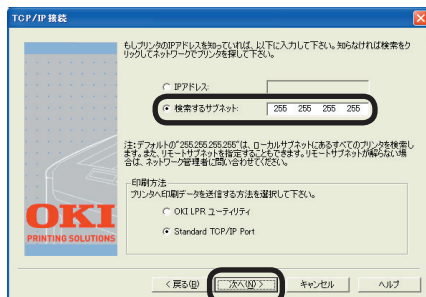
メモ　画面を閉じる場合は、右上の×をクリックします。

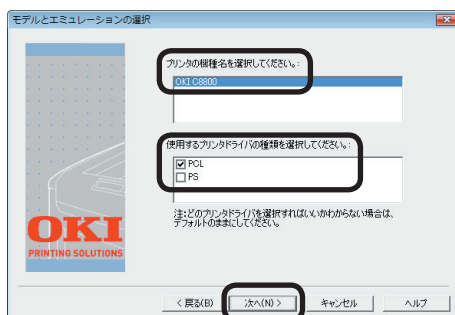
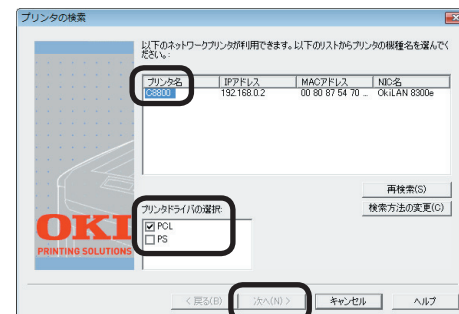
❺［ドライバのインストール］をクリックします。

❻［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

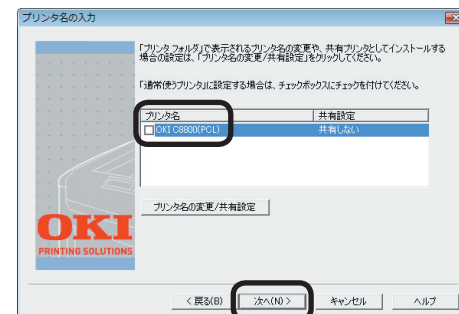
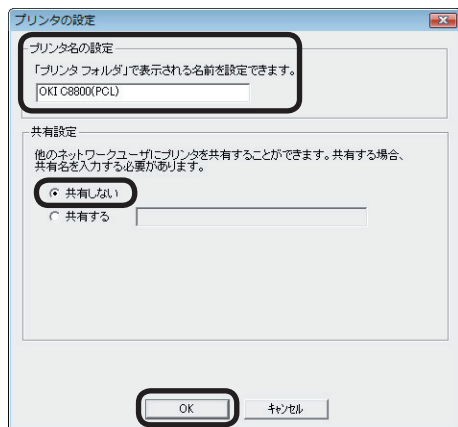
❼［TCP/IP プロトコル］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽ 手順 3（57 ページ）で設定したプリンタの IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

プリンタの IP アドレスが自動取得の場合や、IP アドレスがわからない場合は、［検索するサブネット］を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows Vista をお使いの方

Windows XP/Server 2003/2000 をお使いの方

- プリンタの IP アドレスを自動取得にした場合には、［印刷方法］で OKI LPR ユーティリティを選択してください。
- プリンタドライバインストール後、OKI LPR ユーティリティを起動し、［オプション］-［設定］を選択し、［自動的に IP アドレスを再設定する］をチェックしてください。詳しくは「1 Windows ソフトウェア」の『OKI LPR ユーティリティ』（応用編）をご覧ください。

❾ 手順❽でプリンタの IP アドレスを入力した場合、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

手順❽で［検索するサブネット］を選択した場合、検索されたプリンタリスト画面が表示されるので、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

- C8800dn には、PS プリンタドライバ、PCL プリンタドライバの 2 種類があります。PostScript に対応しているアプリケーションを使用する場合は、PS プリンタドライバを使います。
- PCL と PS の両方にチェックをつけると、2 種類のドライバを一度にインストールすることができます。

❿ 一覧中のチェックボックスにチェックを付け、［次へ］をクリックします。プリンタ名の変更や、共有設定を行う場合は、［プリンタ名の変更 / 共有設定］をクリックします。

共有設定が行えない OS では、プリンタ名の変更のみ行えます。

⓫ プリンタ名を入力し、［共有しない］を選択し、［OK］をクリックします。

⓬ プリンタドライバと Standard TCP/IP と Network Extension と色見本印刷ユーティリティがインストールされます。
［Windows セキュリティ］画面が表示されたら、［ このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

Windows XP/Server 2003 の場合で、［ソフトウェアをインストール］画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら？
☞ ⓯へ進みます。

⓭ ［完了］をクリックします。

⓮ ［終了］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

☞ ⓬からの続き

⓯ ［完了］をクリックし、コンピュータを再起動します。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

5 9 章「印刷します」（115 ページ）へ進みます。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- LINK 100M ランプ(緑)/LINK 10M ランプ(緑)を確認します。100BASE-TX/10BASE-T で接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯しない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUS ランプ(橙)を確認します。データを受信しているときに点滅します。「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブの LINK ランプが点灯しません。
- Ping に応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源が ON になっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源を ON にします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源を ON にするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「ハブトノセツゾク」を「10BASE-T HALF」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ [+] 「メニュー+」スイッチを数回押し、[ネットワークメニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ [+] 「メニュー+」スイッチを数回押し、[ハブトノセツゾク] を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ [+] 「メニュー+」スイッチまたは [−] 「メニュー−」スイッチを数回押し、[10BASE-T HALF] を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、値の右側に [✱] を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン] にします。

- ハブの動作モード(100BASE-TX/10BASE-T、全二重 / 半二重)を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。(設定方法はハブに付属のマニュアルをご覧ください。)

それでも問題が解決しない場合

- [スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[ネットワーク接続］を選択します。
  (Windows Server 2003 では［スタート]-[コントロールパネル]-［ネットワーク接続］を選択します。
  Windows 2000 では［スタート]-[設定]-[ネットワークとダイアルアップ接続］を選択します。)
  [ローカルエリア接続］をダブルクリックし、[プロパティ］に［インターネットプロトコル（TCP/IP)］が表示されていることを確認します
- [インターネットプロトコル(TCP/IP)]の[プロパティ]をクリックし、[IP アドレス], [サブネットマスク], [デフォルトゲートウェイ]が正しいことを確認します。
- セットアップ時に IP アドレスでプリンタを指定した場合は、各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これは Windows XP/2000/Server 2003 の仕様によるものです。
- [プリンタと FAX](Windows 2000 は[プリンタ]) フォルダから、[C8800(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択し、[ポート]タブの［ポートの構成]をクリックして［プリンタ名または IP アドレス］が、プリンタの IP アドレスと一致しているか確認します。
- 「OKI LPR ユーティリティ」画面で、[使用しているプリンタ]を選択してから[リモートプリントメニュー]-[プリンタの再設定]を選択し、[IP アドレス]がプリンタの IP アドレスと一致しているか確認します。

  OKI LPR ユーティリティの最新版は沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦“OKI LPR ユーティリティを削除”してから最新版をインストールしてください。

- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

[IP アドレス]	Windows	192.168.0.3
	プリンタ	192.168.0.2
[サブネットマスク]	Windows	255.255.255.0
	プリンタ	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	Windows	使用しません
	プリンタ	0.0.0.0

4 USB 接続で Windows にセットアップします

動作環境

● Windows Vista/Vista（x64 版）
Windows Vista 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● Windows Server 2003/2003 (x64版)
Windows Server 2003 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で USB インタフェースを搭載している機種

● Windows XP/XP (x64版)
Windows XP 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

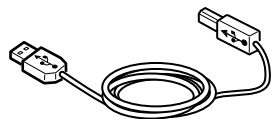
● Windows 2000
Windows 2000 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。
- WindowsMe/98/95/3.1/NT4.0/NT3.51 では動作しません。
- 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
- 他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、プリンタフォルダに「****」「****（コピー 2）」「****（コピー 3）」（**** はプリンタ機種名）と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- USB ハブを使用する場合は、コンピュータと直接接続された USB ハブに接続してください。
- プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

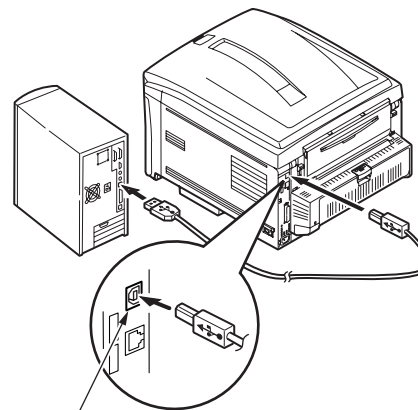
- USB インタフェースケーブルは USB2.0 仕様で長さ 5m 以内（2m 以内を推奨）のものをお使いください。

ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

- プリンタのケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様のケーブルを別途用意してください。
- USB2.0 の「Hi-Speed」モードで接続する場合は、Hi-Speed 仕様の USB ケーブルを使用してください。

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

- プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」(22 ページ)をご覧ください。
- USB ケーブルはコンピュータ、プリンタの電源が ON の状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USB ドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源を OFF にしておきます。

3 USB ケーブルを接続します。

❶ USB ケーブルをプリンタの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USB ケーブルをコンピュータの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

メモ

USB 接続のセットアップ手順は、Window Vista をお使いの方は、「Windows Vitsta にセットアップします」(66 ページ)、Windows XP/Server 2003 をお使いの方は、「Windows XP/Server 2003 にセットアップします」(69 ページ)、Windows 2000 のをお使いの方は、「Windows 2000 にセットアップします」(74 ページ)をご覧ください。

Windows Vista にセットアップします

 管理者の権限が必要です。

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

 プリンタの電源が ON になっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、[キャンセル] をクリックし、プリンタの電源を OFF にしてから次に進んでください。

2 セットアッププログラムを起動します。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットします。

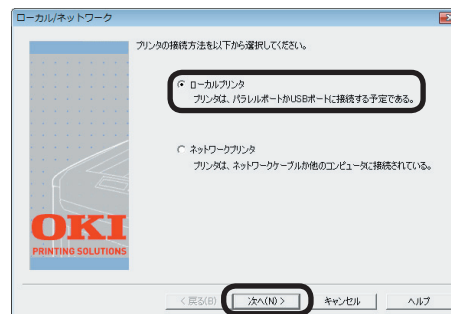
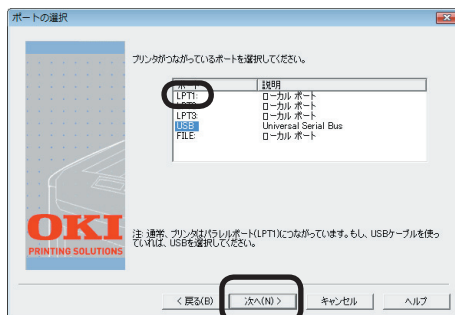
❷ [自動再生] が表示されたら、[Startup.exe の実行] をクリックします。

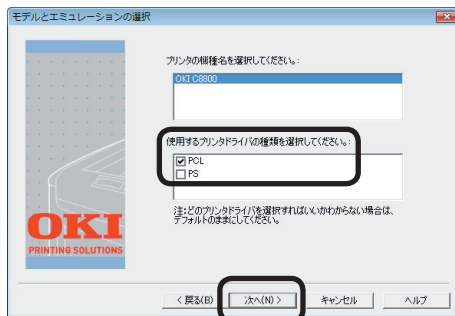
❸ [ユーザアカウント制御] が表示されたら、[続行] をクリックします。

3 プリンタドライバをインストールします。

❶「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

❷ [ドライバのインストール] をクリックします。

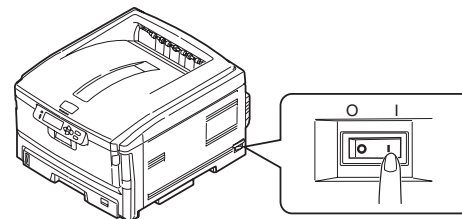
❸ [ローカルプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「ネットワーク接続で Windows にセットアップします」(51 ページ) をご覧ください。

❹ ポートで［USB］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ インストールしたいプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ
- PCL と PS の両方にチェックを付けると、2 種類のプリンタドライバを一度にインストールすることができます。
- PostScript に対応しているアプリケーションを使用する場合は、PS プリンタドライバをインストールします。

ファイルのコピーが行われます。
［Windows セキュリティ］画面が表示されたら、［ このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

4 USB ドライバをインストールします。

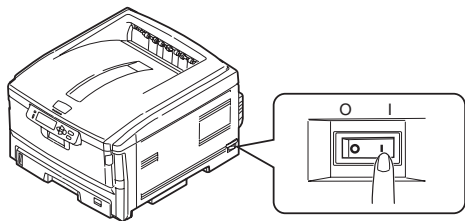
❶「ケーブル接続」の画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

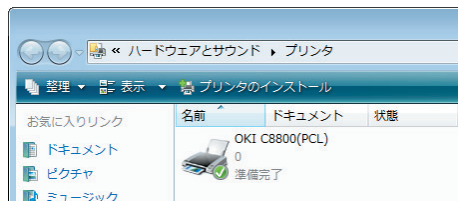
「コンピュータの再起動」画面が表示されたら？
☞ ❸に進みます。

❷ プリンタの電源を ON にします。

☞ ❶からの続き

❸［再起動する］にチェックを付け、［完了］をクリックします。

Windows が再起動されます。

❹ Windows が完全に起動したら、プリンタの電源を ON にします。

システム標準の USB ドライバが自動的にインストールされます。1 〜 2 分かかることがあります。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

Windows XP/Server 2003 にセットアップします

- Windows XP/Server 2003 をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。

- **USB インタフェースで接続する場合、プリンタのインストール、セットアップププログラムでセットアップすると、プリンタと Windows XP/Server 2003 を起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。Windows XP/Server 2003 で初めてセットアップする場合は、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。**

以下の説明は Windows XP Home Edition を例にしています。

プラグアンドプレイでセットアップします

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

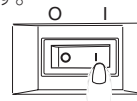
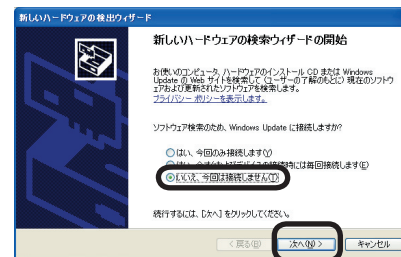
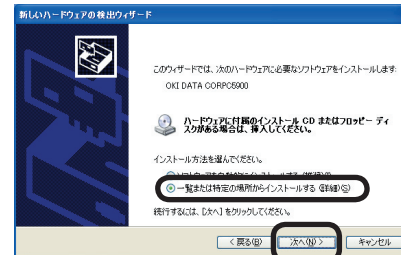
Windows XP/Server 2003 の CD-ROM ドライブを確認します。

❶［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❷［リムーバブル記憶域があるデバイス］-［CD ドライブ（E:)］のカッコ内に表示されている英文字を確認します。

この場合は、[E] が CD-ROM のドライブです。

2 プリンタドライバをインストールします。

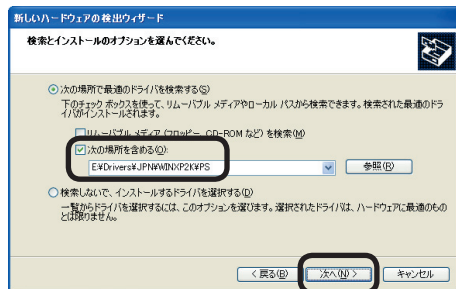
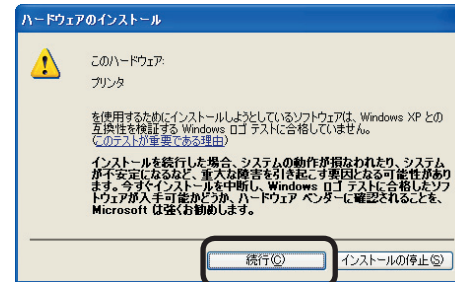
❶ プリンタの電源を ON にします。

❷「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面で次の画面が表示されたら、[いいえ、今回は接続しません］を選択し、[次へ］をクリックします。

❸［一覧または特定の場所からインストールする（詳細)］を選択し、[次へ］をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞「Windows XP/Server 2003 で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」（79 ページ）へ進みます。

❹「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❺［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索］のチェックを外します。

❻［次の場所を含める］にチェックを付け、次のように入力し、［次へ］をクリックします。

> ここでは CD-ROM ドライブが E: の場合を例にしています。
> Windows XP/Server 2003 の場合
> 　PS ドライバを使用する場合
> 　　E:¥Drivers¥JPN¥WINXP2K¥PS
> 　PCL ドライバを使用する場合
> 　　E:¥Drivers¥JPN¥WINXP2K¥PCL
>
> Windows XP（x64版）/Server 2003（x64版）の場合
> 　PS ドライバを使用する場合
> 　　E:¥Drivers¥JPN¥WinXP64¥PS
> 　PCL ドライバを使用する場合
> 　　E:¥Drivers¥JPN¥WinXP64¥PCL

メモ
- C8800 には、PS プリンタドライバ、PCL プリンタドライバの 2 種類があります。PostScript に対応しているアプリケーションを使用する場合は、PS プリンタドライバを使います。

❼「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
☞ ⓫へ進みます。

❽［完了］をクリックします。

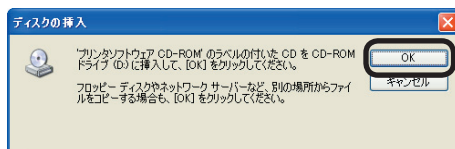
❾［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

❿「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタと FAX］をクリックします。（Windows Server 2003 の場合、［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。）

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

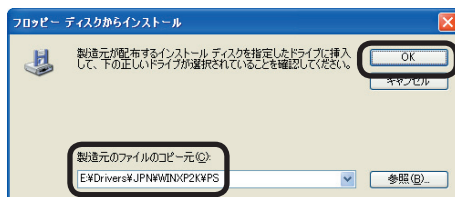
セットアップは完了です。

☞ ❼からの続き

⓫「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、[OK] をクリックします。

⓬ [製造元のファイルのコピー元] に次のように入力し、[OK] をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが E: の場合を例にしています。
Windows XP/Server 2003 の場合
　PS ドライバを使用する場合
　　E:¥Drivers¥JPN¥WINXP2K¥PS
　PCL ドライバを使用する場合
　　E:¥Drivers¥JPN¥WINXP2K¥PCL

Windows XP (x64版) /Server 2003 (x64版) の場合
　PS ドライバを使用する場合
　　E:¥Drivers¥JPN¥WinXP64¥PS
　PCL ドライバを使用する場合
　　E:¥Drivers¥JPN¥WinXP64¥PCL

メモ
- C8800 には、PS プリンタドライバ、PCL プリンタドライバの 2 種類があります。PostScript に対応しているアプリケーションを使用する場合は、PS プリンタドライバを使います。

ファイルのコピーが開始されます。

⓭ [完了] をクリックします。

⓮ [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。

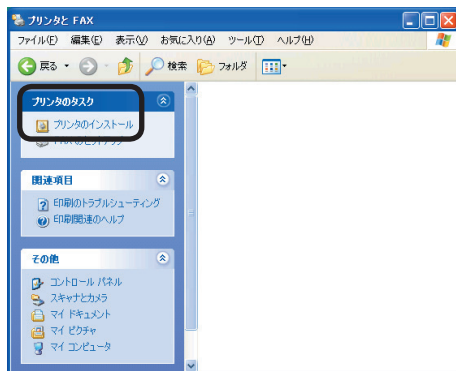
⓯「コントロールパネルを選んで実行します」の[プリンタと FAX]をクリックします。(Windows Server 2003 の場合、[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。)
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

プリンタのインストールでセットアップします

❶ コンピュータの電源を ON にし、[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。

❷ [コントロールパネルを選んで実行します]の[プリンタと FAX]をクリックします。(Windows Server 2003 の場合、[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。)

❸ [プリンタのタスク] - [プリンタのインストール] をクリックします。(Windows Server 2003 の場合、[プリンタの追加]をダブルクリックします。)

❹「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ] をクリックします。

❺ [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

注 [プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックは外してください。

❻「次のポートを使用」画面で [USBxxx](xxx はポートの番号)を選択し、[次へ] をクリックします。

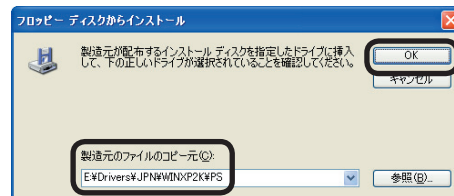
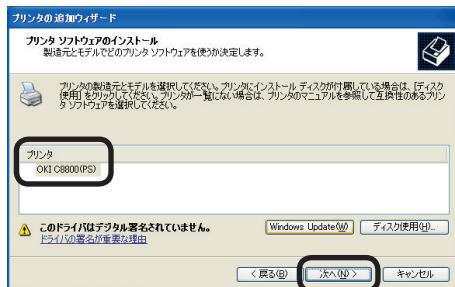
❼ [ディスク使用] をクリックします。

❽「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❾ [製造元のファイルのコピー元] に次のように入力し、[OK] をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが E: の場合を例にしています。
Windows XP/Server 2003 の場合
  PS ドライバを使用する場合
    E:¥Drivers¥JPN¥WINXP2K¥PS
  PCL ドライバを使用する場合
    E:¥Drivers¥JPN¥WINXP2K¥PCL

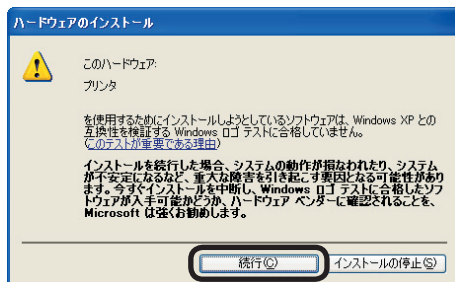
Windows XP(x64版)/Server 2003 (x64版)の場合
  PS ドライバを使用する場合
    E:¥Drivers¥JPN¥WinXP64¥PS
  PCL ドライバを使用する場合
    E:¥Drivers¥JPN¥WinXP64¥PCL

メモ
- C8800 には、PS プリンタドライバ、PCL プリンタドライバの 2 種類があります。PostScript に対応しているアプリケーションを使用する場合は、PS プリンタドライバを使います。

⑩ プリンタ名を選択し、[次へ] をクリックします。

⑪ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで [はい] を選択し、[次へ] をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、[このプリンタを共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⑫ [テストページを印刷しますか？]で[いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。

⑬ [完了] をクリックします。

⑭「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

[プリンタと FAX] フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

セットアップは完了です。

Windows 2000 にセットアップします

コンピュータの管理者の権限が必要です。

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

プリンタの電源が ON になっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、［キャンセル］をクリックし、プリンタの電源を OFF にしてから次に進んでください。

2 セットアッププログラムを起動します。

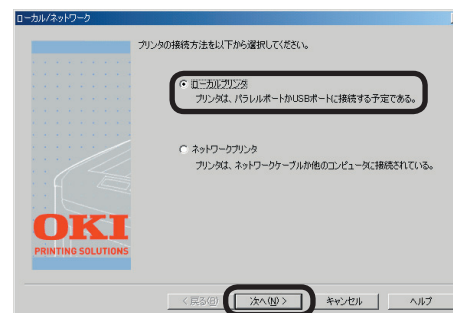
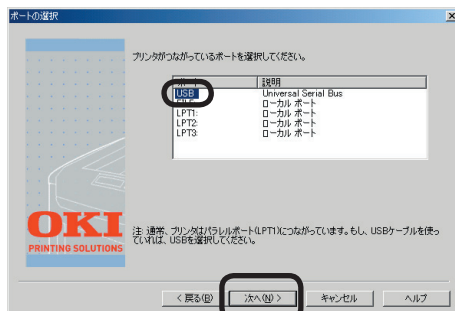
❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットします。

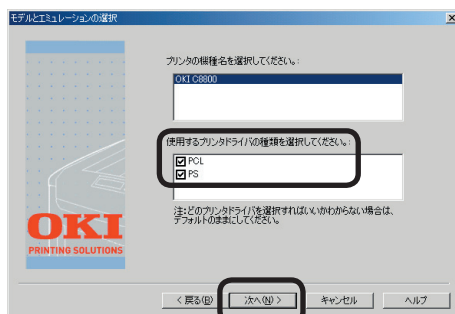
セットアッププログラムが起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

❶「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❷［ドライバのインストール］をクリックします。

❸［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「3　ネットワーク接続で Windows にセットアップします」（51 ページ）をご覧ください。

❹ ポートで［USB］を選択し、［次へ］をクリックします。

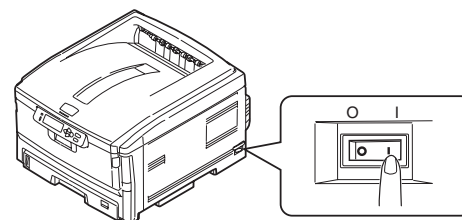
❺ インストールしたいプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ
- PCL と PS の両方にチェックを付けると、2 種類のプリンタドライバを一度にインストールすることができます。
- PostScript に対応しているアプリケーションを使用する場合は、PS プリンタドライバをインストールします。

ファイルのコピーが行われます。

☞ 手順 4 へ進みます。

4 USB ドライバをインストールします。

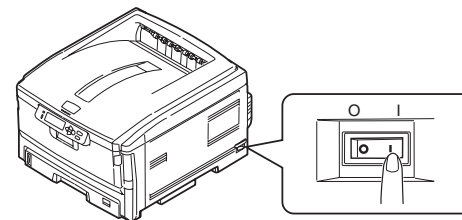
❶「ケーブル接続」の画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?
☞ ❸に進みます。

❷ プリンタの電源を ON にします。

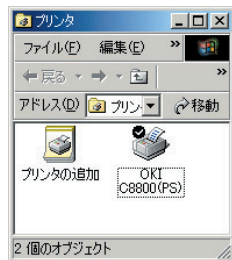
☞ ❶からの続き

❸［再起動する］にチェックを付け、［完了］をクリックします。

Windows が再起動されます。

❹ Windows が完全に起動したら、プリンタの電源を ON にします。

システム標準の USB ドライバが自動的にインストールされます。1 ～ 2 分かかることがあります。

❺［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

セットアップがうまくいかないとき

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されない場合（Windows 2000、USB インタフェース）

プリンタドライバが正しくセットアップされていません。以下の手順に従ってセットアップを行います。

❶ セットアッププログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ケーブルの接続」画面が表示されたら、USB ケーブルの接続を確認し、電源を ON にします。
「コンピュータの再起動」画面が表示された場合は、Windows を再起動した後、USB ケーブルの接続を確認し、プリンタの電源を ON にします。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「Windows 2000 にセットアップします」（74 ページ）をご覧ください。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。以下の手順に従って設定を確認します。

❶ [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。（Windows Server 2003では［スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。Windows 2000 では［スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。）

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択します。

❸ [ポート]タブの[印刷するポート]で、接続先のポートを下記の設定にします。

USB ケーブルで接続する場合：[USBxxx]

[印刷するポート］に［USBxxx］が表示されないときは、プリンタの電源が ON になっていることを確認して USB ケーブルを接続し直し、再度❶〜❸を行ってください。

PS または PCL のどちらか一方しかインストールできない場合 （USB インタフェース）

USB インタフェースで接続する場合、同じプリンタに対して、2 種類のプリンタドライバを同時にインストールすると、2 つ目にインストールするプリンタドライバのアイコンが作成されません。
2 つ目のプリンタドライバをインストールする場合は以下のようにしてください。

〈Windows XP/Server 2003〉

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］（Windows Server 2003 では、［スタート］-［プリンタと FAX］）を選択します。

❷ ［プリンタのインストール］をクリックします。

❸ 画面の指示に従ってセットアップし、「次のポートを使用」画面で「FILE」にチェックを付けます。

❹ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。
詳細は、「Windows XP/Server 2003 にセットアップします」の「プリンタのインストールでセットアップします」（72 ページ）をご覧ください。

❺ ［プリンタ］フォルダで 2 つ目のプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❻ ［ポート］タブの［印刷するポート］で［USBxxx］にチェックを付けます。

〈Windows 2000〉

❶ セットアッププログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ポートの選択」画面で接続先のポートを「FILE」に設定します。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。
詳細は、「Windows 2000 にセットアップします」（74 ページ）をご覧ください。

❹ ［プリンタ］フォルダで 2 つ目のプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❺ ［ポート］タブの［印刷するポート］で［USBxxx］にチェックを付けます。

セットアッププログラムで「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合 （Windows 2000）

Windows 2000 と USB 接続する場合、プラグアンドプレイでセットアップする必要があります。以下の手順でセットアップを行っているか確認してください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ USB ケーブルを接続します。

❸ プリンタの電源を ON にします。

❹ Windows を起動します。

❺ 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されたら、以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「プリンタソフトウェア CD-ROM」内の「README.TXT」をご覧ください。

Windows XP/Server 2003 で、パソコンを起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示される場合

プリンタドライバをプラグアンドプレイでセットアップしていません。以下の手順に従って、セットアップしてください。

❶ プリンタドライバを削除します。

❷ 「Windows XP/Server 2003 にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」（69 ページ）の手順に従ってセットアップします。

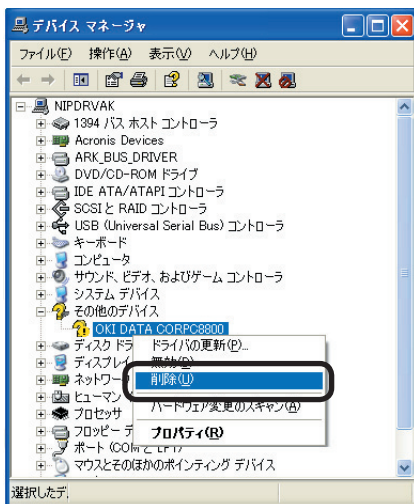
メモ　接続するポートを変えた場合も「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。できるだけ同じポートに接続してください。

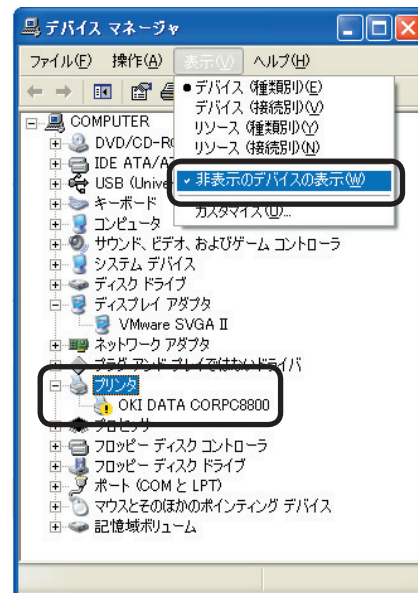
Windows XP/Server 2003 で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたプリンタドライバを削除してからセットアップし直してください。

❶［スタート］-［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❷［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックします。

❸［その他のデバイス］の「OKI DATA CORPC8800」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

［その他のデバイス］が表示されなかったら?

［表示］メニューの［非表示のデバイスの表示］を選択し、［プリンタ］の「OKI DATA CORPC8800」をマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

❹「デバイスの削除の確認」画面で［OK］をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

❺「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックします。

❻ Windows を再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

☞「Windows XP/Server 2003 にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」（69 ページ）へ戻ります。

USB 接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
コンピュータが USB インタフェースに対応していません。	デバイスマネージャで USB コントローラが表示されるか確認してください。
USB ケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USB ケーブルが外れています。	USB ケーブルを差し込んでください。
USB ケーブルに問題があります。	予備の USB ケーブルがあれば取り替えてみてください。
USB ハブを使用しています。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に［検索場所の指定］、［場所の指定］が表示されます。	「プリンタソフトウェア CD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例：「E:¥Driver¥JPN¥WinXP2k¥PS」 （ここでは CD-ROM ドライブが E：の場合を例にしています）
セットアップを中断しました。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
Windows XP で「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されません。	「セットアップがうまくいかないとき」をご覧ください。（77 ページ）

5 ネットワーク接続で Macintosh にセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

MacOS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic 環境 日本語版が動作する Macintosh で EtherTalk 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- MacOS8.0 以前のシステムには対応していません。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合もあります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。

ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

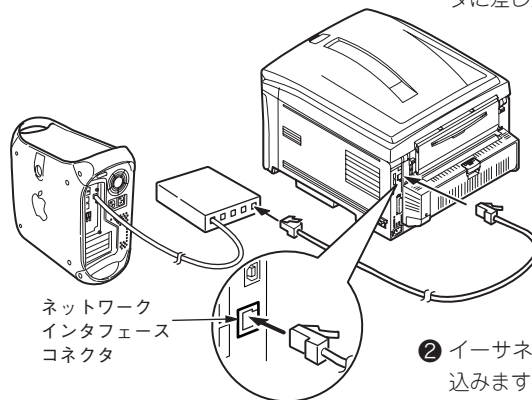
プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉 〈ハブ〉

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

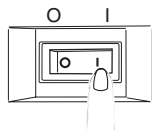
メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（22 ページ）をご覧ください。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

セットアップします

以下の説明は、MacOS 9.0 を例にしています。

1 プリンタの電源を ON にします。

オンライン

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintosh を起動します。

❷［アップルメニュー］-［コントロールパネル］-［AppleTalk］を選択します。

❸［Ethernet］を選択し、［AppleTalk］を閉じます。

❹「設定の保存」画面が表示されたら、［保存］をクリックします。

3 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintosh がハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ①［アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[機能拡張マネージャ］を選択します。
  ②［セット］を［Mac OS x.x.x 基本］(x.x.x は Mac OS のバージョン）設定にします。
  ③ Macintosh を再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、[機能拡張マネージャ］の［セット］を元の設定に戻して、Macintosh を再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、[省略時セット］を選択してください。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Driver］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 デスクトップ・プリンタを作成します。

❶［アップルメニュー］の［セレクタ］を選択します。

❷［LaserWriter8]をクリックし、[PostScript プリンタの選択]で［C8800]を選択します。

プリンタ名は、MicrolinePS Utility で変えることができます。

- [PostScript プリンタの選択]で[C8800]が表示されない場合には、Macintoshとプリンタが正しく接続されていない可能性があります。ケーブルのコネクタが正しく差し込まれているか、ケーブルが傷ついていないか確認してください。
- ［セレクタ]に[LaserWriter8]が表示されない場合は、Mac OS のシステム CD-ROM から LaserWriter8 プリンタドライバをインストールしてください。インストール方法は、「LaserWriter8プリンタドライバをインストールします」(87 ページ) をご覧ください。

❸［作成］をクリックします。
プリンタ名の横にアイコンが表示されます。

❹［セレクタ］を閉じます。

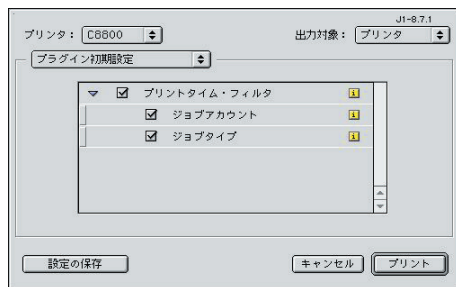
デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

5 セットアップします

5 プリントプラグインを設定します。

❶［ファイル］メニューの［デスクトップのプリント ...］を選択します。

❷［プリンタ：］が［C8800］であることを確認し、ポップアップメニュー［一般設定］をクリックし、［プラグイン初期設定］を選択します。

❸［プリントタイム・フィルタ］の左に表示されている［▷］印をクリックして［プリントタイム・フィルタ］を開き、［プリントタイム・フィルタ］と［ジョブタイプ］にチェックを付けます。

❹［設定の保存］をクリックします。

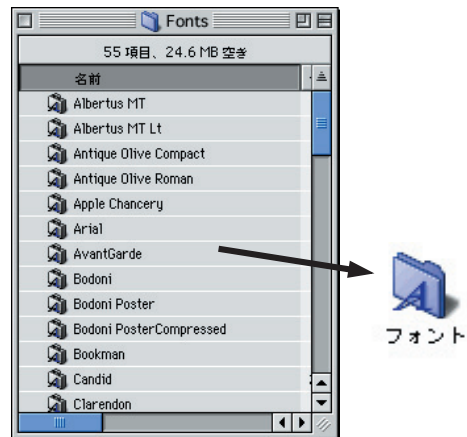
❺ 確認メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

❻［キャンセル］をクリックし、［印刷ダイアログ］を閉じます。

6 欧文スクリーンフォントをインストールします。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Fonts］フォルダを開きます。

❸ 使用したいフォントを［システムフォルダ］-［フォント］フォルダにコピーします。

❹ Macintosh を再起動します。

- ［Chicago］、［Geneva］、［Monaco］、［NewYork］は添付されていません。MacOS 添付のフォントをご使用ください。
- Macintosh のシステムに負荷がかかりますので、使用する欧文スクリーンフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。
- 和文スクリーンフォントは MacOS 添付の平成明朝、平成角ゴシックをご使用ください。フォントの置き換え機能により、文書のレイアウトはそのままにプリンタフォントに置き換えて高速に印刷されます。

LaserWriter8 プリンタドライバをインストールします

MacOS9.x.x付属のLaserWriter8 プリンタドライバをカスタムインストールします。

［セレクタ］に［LaserWriter8］がすでに存在している場合は、インストール不要です。

以下の説明は、MacOS9.2.1 を例にしています。

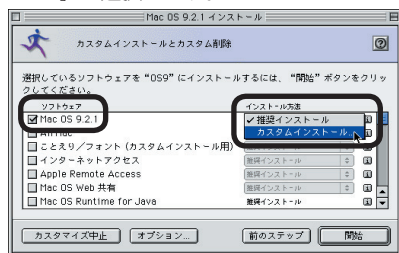
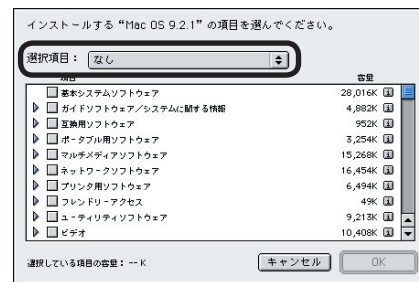
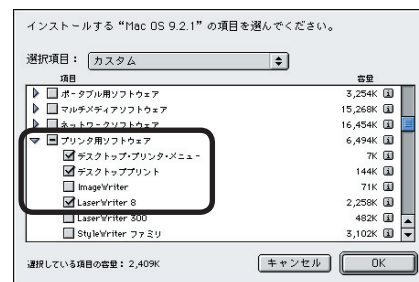
❶「MacOS9.x.x システム CD-ROM」をセットします。

❷［MacOS インストーラ］をダブルクリックします。

❸「ようこそ MacOS9.x.x へ」画面で［続ける］をクリックします。

❹［インストール先ディスク］を選択し、［選択］をクリックします。

❺［追加 / 削除］をクリックします。

❻［ソフトウェア］で［MacOS9.x.x］にチェックをつけ、［インストール方法］で［カスタムインストール］を選択します。

❼［選択項目］で［なし］を選択します。

❽［プリンタ用ソフトウェア］の［▷］印をクリックし、［デスクトップ・プリンタ・メニュー］、［デスクトッププリント］、［LaserWriter8］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

❾［開始］をクリックします。

❿［続ける］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

⓫［再起動］をクリックします。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- LINK 100M ランプ（緑）/LINK 10M ランプ（緑）を確認します。100BASE-TX/10BASE-T で接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯しない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUS ランプ（橙）を確認します。データを受信しているときに点滅します。「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブの LINK ランプが点灯しません。
- Ping に応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源が ON になっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源を ON にします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源を ON にするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「ハブトノセツゾク」を「10BASE-T HALF」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[ネットワークメニュー]を表示します。

❷「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[ハブトノセツゾク]を表示します。

❹「設定」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[10BASE-T HALF] を表示します。

❻「設定」スイッチを押し、値の右側に［＊］を付けます。

❼「オンライン」スイッチを押し、[オンライン] にします。

- ハブの動作モード（100BASE-TX/10BASE-T、全二重 / 半二重）を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。（設定方法はハブに付属のマニュアルをご覧ください。）

それでも問題が解決しない場合

- [アップルメニュー]-[セレクタ]で、「LaserWriter 8」をクリックしたとき「プリンタ名」が表示されるか確認します。プリンタ名の初期値は「C8800」です。プリンタ名はネットワークの設定情報（Network Information）に表示されている[EtherTalk Configuration]の[Printer Name]です。

6 USB 接続で Macintosh にセットアップします

動作環境

MacOS9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- USB 拡張ボードには対応していません。
- 日本語以外の OS には対応していません。
- 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
- 他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、デスクトップ・プリンタ Utility に「****」、「**** 1」、「**** 2」(**** はプリンタ機種名)と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- USB ハブをご使用になる場合は、コンピュータと直接接続された USB ハブに接続してください。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合があります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。
- Mac OS X Classic 環境には対応していません。
- プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

USB インタフェースケーブルは、USB2.0 仕様で長さ 5m 以内(2m 以内を推奨)のものをお使いください。

ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

USB ケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様の USB ケーブルを別途用意してください。

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

- 電源の切り方は「電源を切ります」(22 ページ) をご覧ください。
- USB ケーブルはコンピュータ、プリンタの電源が ON の状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USB ドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源を OFF にしておきます。

3 USB ケーブルを接続します。

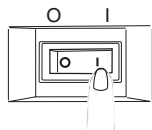
❶ USB ケーブルをプリンタの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

注

USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USB ケーブルを Macintosh の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします

1 プリンタの電源を ON にします。

オンライン

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintosh がハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ① [アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[機能拡張マネージャ]を選択します。
  ② [セット] を [Mac OS x.x.x 基本] (x.x.x は Mac OS のバージョン) 設定にします。
  ③ Macintosh を再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、[機能拡張マネージャ] の [セット] を元の設定に戻して、Macintosh を再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、[省略時セット] を選択してください。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ [Driver] フォルダを開きます。

❸ [Installer for MacOS] をダブルクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

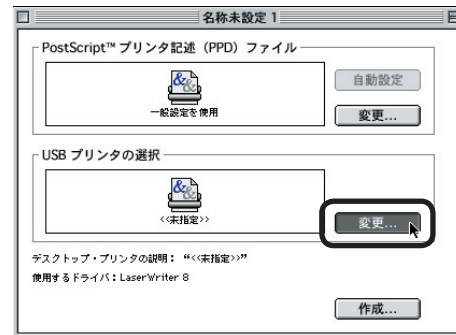
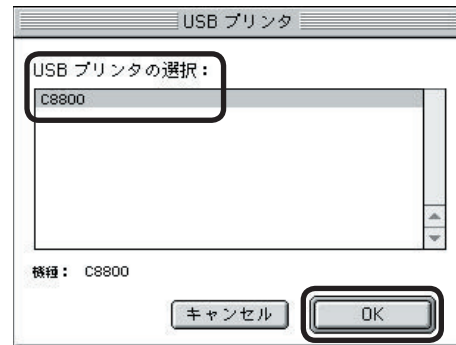
4 デスクトップ・プリンタを作成します。

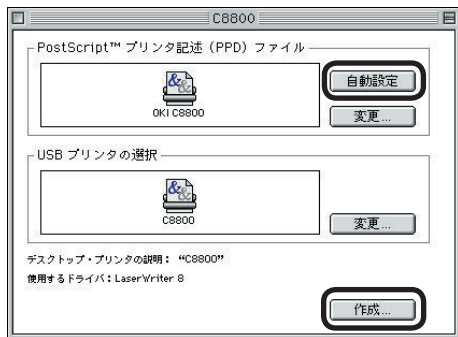
❶ [Apple エクストラ]-[Apple LaserWriter ソフトウェア］フォルダ（Mac OS 9.1 以降では、[Applications(MacOS9)] - [ユーティリティ]フォルダ)内の［デスクトップ・プリンタ Utility］をダブルクリックします。

デスクトップ・プリンタ Utility

❷ [プリンタ]で[LaserWriter8]を、[デスクトップに作成]で[プリンタ(USB)]を選択し、[OK]をクリックします。

[プリンタ］に［LaserWriter8]が表示されない場合は、Mac OS のシステム CD-ROM から LaserWriter8 プリンタドライバをインストールしてください。インストール方法は、「LaserWriter8 プリンタドライバをインストールします」（87 ページ）をご覧ください。

❸ [USB プリンタの選択］の［変更］をクリックします。

❹ [USB プリンタの選択］で［C8800］を選択し、[OK］をクリックします。

[USB プリンタの選択]で[C8800]が表示されない場合には、Macintosh とプリンタが正しく接続されていない可能性があります。ケーブルのコネクタが正しく差し込まれているか、ケーブルが傷ついていないか、確認してください。

❺ [PostScript プリンタ記述(PPD)ファイル］で［自動設定］をクリックします。

❻［作成］をクリックします。

❼［デスクトップ・プリンタの保存名］を入力し、［保存］をクリックします。

❽ デスクトップ・プリンタ Utility を終了します。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

メモ USBインタフェースで接続する場合は、「セレクタ」画面で「LaserWriter8」を選択しても、画面の右側にプリンタ名は表示されません。プリンタを選択するときはデスクトップ上に作成されたプリンタアイコンを選択して、「Finder」の［プリンタ］メニューで［省略時プリンタに指定］を選択して使用します。

5 プリントプラグインを設定します。

❶［ファイル］メニューの［デスクトップのプリント ...］を選択します。

❷［プリンタ：］が［C8800］であることを確認し、ポップアップメニュー［一般設定］をクリックし、［プラグイン初期設定］を選択します。

❸［プリントタイム・フィルタ］の左に表示されている［▷］印をクリックして［プリントタイム・フィルタ］を開き、［プリントタイム・フィルタ］と［ジョブタイプ］にチェックを付けます。

❹［設定の保存］をクリックします。

❺ 確認メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

❻［キャンセル］をクリックし、［印刷ダイアログ］を閉じます。

欧文スクリーンフォントをインストールします。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Fonts］フォルダを開きます。

❸ 使用したいフォントを［システムフォルダ］-［フォント］フォルダにコピーします。

❹ Macintosh を再起動します。

- ［Chicago］、［Geneva］、［Monaco］、［NewYork］は添付されていません。MacOS 添付のフォントをご使用ください。
- Macintosh のシステムに負荷がかかりますので、使用する欧文スクリーンフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。
- 和文スクリーンフォントは MacOS 添付の平成明朝、平成角ゴシックをご使用ください。フォントの置き換え機能により、文書のレイアウトはそのままにプリンタフォントに置き換えて高速に印刷されます。

USB 接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
MacOS のバージョンが対応していません。	USB 接続できるのは MacOS9.0 以降です。（82 ページ）
USB ケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USB ケーブルを短時間で抜き差ししています。	USB ケーブルを抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
USB ケーブルが外れています。	USB ケーブルを差し込んでください。
USB ケーブルに問題があります。	予備の USB ケーブルがあれば取り替えてみてください。
USB ハブを使用しています。	プリンタと Macintosh を直接接続してみてください。
セットアップを中断しました。	もう一度初めからセットアップしてください。（84 ページ）

現　象	対処方法
プリンタの電源スイッチが OFF になっています。	プリンタの電源を ON にしてください。（21 ページ）
デスクトッププリンタアイコンに手のマークがついています。	Macintosh のプリンタメニューの［プリントキューの開始］を選択してください。
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。（84 ページ）
［オフライン］になっています。	「オンライン」スイッチを押して、［オンライン］にしてください。

7 ネットワーク接続で Mac OS X にセットアップします

動作環境

Mac OS X 10.2 ～ 10.5.7 日本語版が動作する Macintosh でネットワークインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- Mac OS X 10.2 ～ 10.2.3 では、カスタム用紙はサポートされません。
- OCF や CID ビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS X のアプリケーションで表示される、細明朝体（SaiMincho）、中ゴシック（ChuGothic）はビットマップで印刷されます。
- 文字の黒色がコンポジット（CMYK 混合色）で印刷される場合があります。
- MicrolinePS Utility は Mac OS X では動作しません。
- ブラックオーバープリント、トナーセーブ、CMYK シミュレーションはアプリケーションによっては使用できないことがあります。
- Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

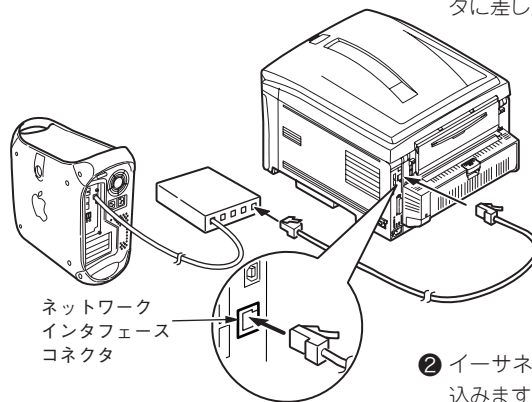
プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉 〈ハブ〉

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（22 ページ）をご覧ください。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

セットアップします

ネットワーク接続のセットアップについて

Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

1 印刷する方法を決めます。

Mac OS X から印刷するためには、EtherTalk を使用する方法、Bonjour（ボンジュール）/Rendezvous（ランデブー）を使用する方法の 2 種類があります。まず、どちらを利用するか決めます。

印刷する方法	特　長
EtherTalk	Mac OS X が標準で持っている機能を使用します。
Bonjour（ボンジュール）Rendezvous（ランデブー）	Mac OS X 10.4 〜 (Mac OS X 10.3 以前では Rendezvous) が標準で持っている機能を使用します。EtherTalk が使用できないネットワークでは、こちらを使用します。

2 セットアップの流れ

EtherTalk

Macintosh に Ether Talk を設定します。

プリンタドライバをインストールします。

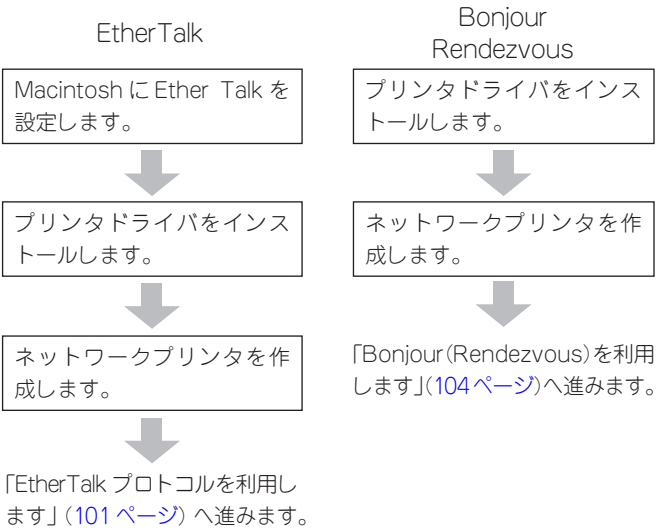
ネットワークプリンタを作成します。

「EtherTalk プロトコルを利用します」（101 ページ）へ進みます。

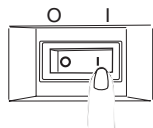
Bonjour Rendezvous

プリンタドライバをインストールします。

ネットワークプリンタを作成します。

「Bonjour（Rendezvous）を利用します」（104 ページ）へ進みます。

EtherTalk プロトコルを利用します

以下の説明は、Mac OS X 10.3 を例にしています。

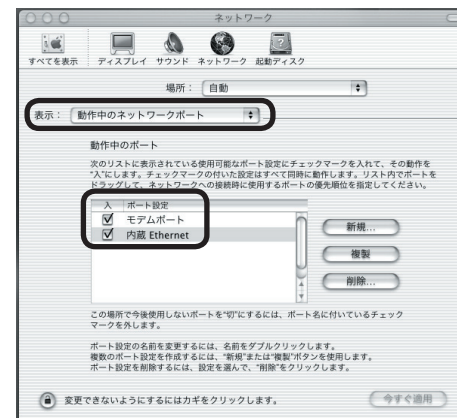
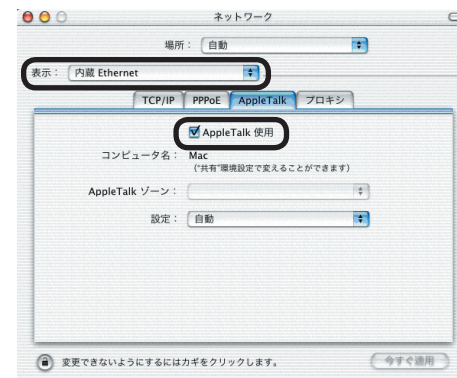
1 プリンタの電源を ON にします。

オンライン

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintosh を起動します。

❷［システム環境設定］-［ネットワーク］を選択します。

❸［表示］-［ネットワークポート設定］を選択し、［内蔵 Ethernet］にチェックがついていることを確認します。

❹［表示］-［内蔵 Ethernet］-［AppleTalk］タブを選択し、［AppleTalk 使用］にチェックがついていることを確認します。

3 プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

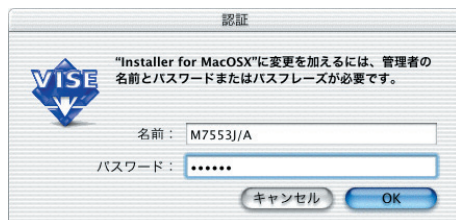
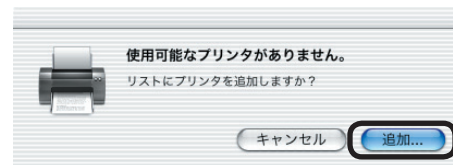
画面に従い、インストールを行ないます。

4 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

プリンタ設定ユーティリティ（Mac OS X 10.2 ではプリントセンター）が起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.2 では［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］）をダブルクリックします。

❷［追加］をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

❸ MacOSX10.3 以前では［AppleTalk］を選択します。

❹ プリンタ名を選択し、［追加］をクリックします。

❺［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

5 設定を確認します。

❶ テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❷［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸［対象プリンタ］で追加したプリンタ名を選択します。

❹［対象プリンタ］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

注 プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリントセンター］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

Bonjour（Rendezvous）を利用します

1 プリンタの電源を ON にします。

オンライン

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintosh を起動します。

❷［システム環境設定］-［ネットワーク］を選択します。

❸［表示］-［ネットワークポート設定］を選択し、［内蔵 Ethernet］にチェックがついていることを確認します。

3 プリンタドライバをインストールします。

ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

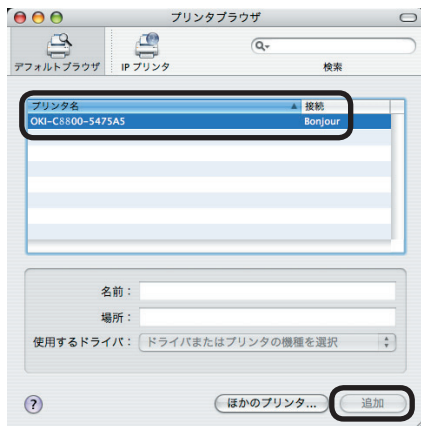
プリンタ設定ユーティリティ（Mac OS X 10.2 ではプリントセンター）が起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.2 では［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］）をダブルクリックします。

❷［追加］をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

❸ Mac OS X 10.3 以前では［Rendezvous］を選択します。

❹ プリンタ名を選択し（Mac OS X 10.3 以前では、［プリンタの種類］で［Oki］を選択し、機種名のリストから使用するプリンタ名を選択します）、［追加］をクリックします。

メモ
- プリンタ名は「OKI-C8800」＋「MAC Address の英数字下 6 桁」です。
- MAC Address は、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（23 ページ）

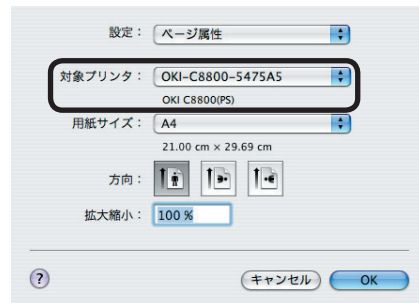
❺［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

5 設定を確認します。

❶ テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❷［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸［対象プリンタ］で追加したプリンタ名を選択します。

❹［対象プリンタ］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- LINK 100M ランプ（緑）/LINK 10M ランプ（緑）を確認します。100BASE-TX/10BASE-T で接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯していない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUS ランプ（橙）を確認します。データを受信しているときに点滅します。「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブの LINK ランプが点灯しません。
- Ping に応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源が ON になっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源を ON にします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源を ON にするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「ハブトノセツゾク」を「10BASE-T HALF」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶「メニュー＋」スイッチを数回押し、[NETWORK MENU] を表示します。

❷「設定」スイッチを押します。

❸「メニュー＋」スイッチを数回押し、[ハブトノセツゾク] を表示します。

❹「設定」スイッチを押します。

❺「メニュー＋」スイッチまたは「メニュー－」スイッチを数回押し、[10BASE-T HALF] を表示します。

❻「設定」スイッチを押し、値の右側に［*］を付けます。

❼「オンライン」スイッチを押し、[オンライン] にします。

- ハブの動作モード（100BASE-TX/10BASE-T、全二重 / 半二重）を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。（設定方法はハブに付属のマニュアルをご覧ください。）

それでも問題が解決しない場合

- [アップルメニュー]-[システム環境設定]-[インターネットとネットワーク]-[ネットワーク]-[表示]-[ネットワークポート設定] で [内蔵 Ethernet] にチェックがついていることを確認します。
- [表示] - [内蔵 Ethernet] - [AppleTalk] で [AppleTalk 使用] にチェックがついていることを確認します。
- ハードディスクの [アプリケーション]-[ユーティリティ]- [プリンタ設定ユーティリティ]（Mac OS X 10.2 ではハードディスクの [アプリケーション]-[ユーティリティ]-[プリントセンター]）で、[追加] をクリックし、[AppleTalk] を選択したときに [C8800] が表示されるか確認します。

8 USB 接続で Mac OS X にセットアップします

動作環境

Mac OS X 10.2 ～ 10.5.7 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- Mac OS X 10.2 ～ 10.2.2 では、カスタム用紙はサポートされません。
- OCF や CID ビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS X のアプリケーションで表示される、細明朝体（SaiMincho）、中ゴシック（ChuGothic）はビットマップで印刷されます。
- 文字の黒色がコンポジット（CMYK 混合色）で印刷される場合があります。
- MicrolinePS Utility は Mac OS X では動作しません。
- Classic 環境が動作しているときは、Mac OS X からの印刷ができません。Classic 環境を終了させてから印刷してください。
- ブラックオーバープリント、トナーセーブ、CMYK シミュレーションはアプリケーションによっては使用できないことがあります。
- Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

USB インタフェースケーブルは、USB2.0 仕様で長さ 5m 以内（2m 以内を推奨）のものをお使いください。

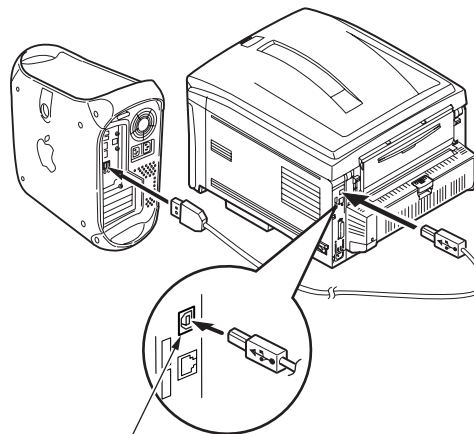
ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

USB ケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様の USB ケーブルを別途用意してください。

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（22 ページ）をご覧ください。

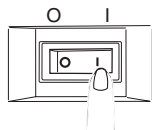
3 USB ケーブルを接続します。

❶ USB ケーブルをプリンタの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

注 USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USB ケーブルを Macintosh の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします

Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

1 プリンタの電源を ON にします。

オンライン

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 プリンタの操作パネルで［USB PS プロトコル］を［ASCII］にします。

- Mac OS X で使用する場合は、必ず設定してください。設定しないと正常に印刷できないことがあります。
- MacOS 9 で使用する場合は、設定を［RAW］に戻してください。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、［システム　コウセイ　メニュー］を表示します。

❷「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、［USB　PS プロトコル］を表示します。

❹「設定」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを押し、［ASCII］を表示します。

❻「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

❽ プリンタの電源を OFF/ON します。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（22 ページ）をご覧ください。

3 Macintosh を起動します。

4 プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

5 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

注 プリンタ設定ユーティリティ（Mac OS X 10.2 ではプリントセンター）が起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.2 では［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］）をダブルクリックします。

❷［追加］をクリックします。

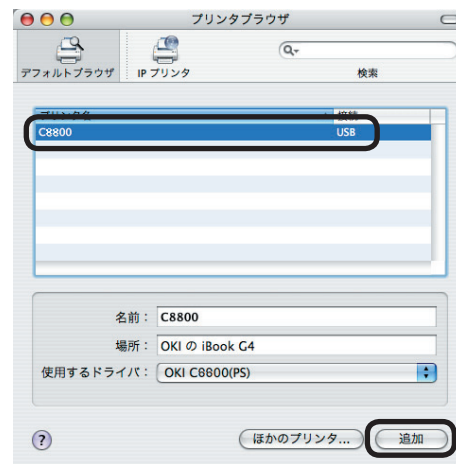
メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

注 インストールしようとしているプリンタの名前がすでに表示されている場合は、プリンタ名を選択して［削除］をクリックします。

❸ プリンタのリストを表示します。

Mac OS X 10.3 以前では［USB］を選択します。

❹ 使用するプリンタを選択します。

［接続］に［USB］（Mac OS X 10.3 では［種類］に［OKI DATA CORP］、Mac OS X 10.2 以前では［種類］に［PostScript printer］）と表示されている［C8800］を選択し、（Mac OS X 10.2 の場合、［プリンタの機種］で［Oki］を選択し、機種名のリストから使用するプリンタ名を選択します）、［追加］をクリックします。

❺［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

6 設定を確認します。

❶ テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❷［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸［対象プリンタ］で追加したプリンタ名を選択します。

❹［対象プリンタ］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

USB 接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
USB ケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USB ケーブルを短時間で抜き差ししています。	USB ケーブルを抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
USB ケーブルが外れています。	USB ケーブルを差し込んでください。
USB ケーブルに問題があります。	予備の USB ケーブルがあれば取り替えてみてください。
USB ハブを使用しています。	プリンタと Macintosh を直接接続してみてください。
セットアップを中断しました。	もう一度初めからセットアップしてください。（110 ページ）
プリンタの電源スイッチが OFF になっています。	プリンタの電源を ON にしてください。（21 ページ）
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。（110 ページ）
［オフライン］になっています。	「オンライン」スイッチを押して、［オンライン］にしてください。

9 印刷します

使用できる用紙

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

用紙の種類、サイズ、厚さについて

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法や排出方法に制限があったり、プリンタのメニュー設定の［メディアウェイト］、［メディアタイプ］で設定する内容が異なります。詳しくは「給紙方法と排出方法を決めます」(122 ページ)と「メディアウェイトとメディアタイプを設定します」(123 ページ)をご覧ください。

種類	サイズ　単位：mm（インチ）		厚さ
普通紙	A3	297 × 420	連量 55 ～ 172 ㎏(64 ～ 200g/ ㎡) 両面印刷の場合、連量 55 ～ 90 ㎏(64 ～ 105g/ ㎡) 使用できる用紙サイズは、「A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル(13 インチ)、リーガル(13.5 インチ)、リーガル(14 インチ)、エグゼクティブ」です。
	A4	210 × 297	
	A5	148 × 210	
	A6	105 × 148	
	B4	257 × 364	
	B5	182 × 257	
	レター	215.9 × 279.4 (8.5 × 11)	
	リーガル(13 インチ)	215.9 × 330.2 (8.5 × 13)	
	リーガル(13.5インチ)	215.9 × 342.9 (8.5 × 13.5)	
	リーガル(14 インチ)	215.9 × 355.6 (8.5 × 14)	
	エグゼクティブ	184.2 × 266.7 (7.25 × 10.5)	
	カスタム	幅 64 ～ 297 長さ 105 ～ 1200	連量 55 ～ 172 ㎏(64 ～ 200g/ ㎡)
はがき	はがき	100 × 148	郵便はがき
	往復はがき	148 × 200	
封筒	封筒 (長形 3 号)	120 × 235	85g/ ㎡の紙を使用したもの
	封筒 (洋形 0 号)	120 × 235	
	封筒 (洋形 4 号)	105 × 235	
	封筒 (角形 2 号)	240 × 332	
	封筒 (角形 3 号)	216 × 277	
	Com-10	104.8 × 241.3 (4.125 × 9.5)	24lb の紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	DL	110 × 220 (4.33 × 8.66)	
	C5	162 × 229 (6.4 × 9)	
	C4	229 × 324 (9 × 12.8)	
ラベル紙	A4	210 × 297	0.1 ～ 0.2 ㎜
	レター	215.9 × 279.4 (8.5 × 11)	
部分印刷用紙	普通紙に準じます。		連量 55 ～ 172 ㎏(64 ～ 200g/ ㎡)
カラー用紙	普通紙に準じます。		連量 55 ～ 172 ㎏(64 ～ 200g/ ㎡)
OHP シート	A4	210 × 297	0.1 ～ 0.125mm
	レター	215.9 × 279.4 (8.5 × 11)	

普通紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

- 推奨紙： OKI カラーページプリンタ用紙 エクセレントホワイト A4（型名：PPR-CA4NA），A3（型名：PPR-CA3NA）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[普通紙]
  操作パネルで設定する場合は、メディアウエイト：フツウシ
  メディアタイプ ：フツウシ

  両面印刷の場合は、エクセレントホワイト A4（厚口）（型名：PPR-CA4DA），A3（厚口）（型名：PPR-CA3DA）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[厚い紙]
  操作パネルで設定する場合は、メディアウエイト：アツイカミ
  メディアタイプ ：フツウシ
- 用紙の厚さが連量 55 ～ 172kg（64 ～ 200g/m^2）の用紙
- 電子写真プリンタ用紙（トナーを用いるプリンタで使用する用紙です）
- 電子写真コピー用紙（トナーを用いる一般の複写機などで使用する用紙です）
  カラー電子写真プリンタ用紙、カラー電子写真コピー紙を推奨します。
- 電子写真プリンタ再生紙（トナーを用いるプリンタで使用する再生紙です）
  推奨再生紙 銘柄名 ： Green 100（富士ゼロックス製）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[普通紙]
  操作パネルで設定する場合は、メディアウエイト：フツウシ
  メディアタイプ ：フツウシ

  再生紙では、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンタ再生紙であることを確認の上、使用してください。

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（230 度）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- マルチパーパストレイで印刷するとシワが出ることがあります。このような場合は用紙カセットから給紙してください。
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 郵便はがき、および折っていない郵便往復はがき

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用はがき
- 2mm 以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。

封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式 PPC 用紙で作られた封筒
- 坪量 85g/m^2 の紙を使用した封筒

以下の封筒は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒
- 撥水加工された封筒

- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり約 5mm は印刷品位が低下することがあります。
- 封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。
- 角形 2 号封筒は手差しで印刷します。

ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙：LBP-F7161（コクヨ製）（総厚：140μm）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[ラベル紙]
  操作パネルで設定する場合は、メディアウエイト：ヨリアツイカミ
  メディアタイプ　：ラベルシ
- 用紙サイズは A4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンタ用または乾式 PPC 用のラベル紙
- プリンタの熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが 0.1 ～ 0.2mm のラベル紙
- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙
- 台紙に切れ目や折れ目のないラベル紙

- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- ラベル紙の先端に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

部分印刷用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 普通紙の条件を満足している用紙
- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で 230℃に耐えるもの

- 印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
  書き出し位置精度：± 2mm、用紙の斜行：± 1mm/100mm、画像伸縮：± 1mm/100mm（連量 70kg の場合）
- インクの上に本プリンタで印刷することはできません。

カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で 230℃に耐えるもの
- 用紙特性が普通紙と同じで、電子写真プリンタ用の用紙

OHP シート

次の条件に合った OHP シートを使用してください。

- 推奨紙：ML カラー OHP シート MLOHP01
  プリンタドライバの用紙厚の設定：OHP シート
  操作パネルで設定する場合は、メディアウエイト：設定不要
  メディアタイプ ：OHP
- 用紙サイズは A4、レターのみ
- 電子写真プリンタ用または乾式 PPC 用に作られた OHP シート
- プリンタの熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きない OHP シート
- 用紙の厚さが 0.1 ～ 0.125mm の OHP シート

- OHP シートは透明なプラスチックでできているため、印刷品質が低下することがあります。
- 印刷後はうねりが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 表面に滑りやすいコーティングをした OHP シートは滑って吸入できないことがあります。
- 推奨紙以外の OHP シートを使用すると、種類によっては定着器ユニットのローラに巻きついたりしてプリンタが故障するおそれがあります。
- OHP 装置は透過型を使用してください。反射型では良好な投影が得られないことがあります。

長尺用紙

次の条件に合った長尺用紙を使用してください。

- 推奨紙：エクセレントホワイト
  A4 長尺（OKI カラーページプリンタ用紙，
  110kg, 型名：PPR-CT4DA）
  A3 長尺（OKI カラーページプリンタ用紙，
  110kg, 型名：PPR-CT5DA）

  プリンタドライバの用紙厚の設定：より厚い紙
  操作パネルで設定する場合は　メディアウエイト：ヨリアツイカミ
  メディアタイプ　：フツウシ
- 用紙サイズは幅 210 ～ 297mm、長さ 356 ～ 1200mm　連量 110kg（128g/m^2）

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（230℃）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。
- 連量 110kg 以外の長尺用紙は、印刷品位は保証できません。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度 20℃、湿度 50% RH の環境

次のような場所はさけてください

- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

給紙方法と排出方法を決めます

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法と排出方法が異なります。次の手順で全ての条件を満足する方法を確認してください。
用紙の仕様については、「使用できる用紙」（116 ページ）をご覧ください。

1 用紙の種類、厚さ、サイズから給紙方法と排出方法を確認します。

◎：片面、両面印刷とも使用できます
○：片面印刷のみ使用できます
⟁：一部のサイズで使用できます（片面印刷、両面印刷とも）
△：一部のサイズで使用できます（片面印刷のみ）
×：使用できません

種類	厚さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			用紙カセット*1		マルチパーパストレイ手差し	フェイスアップ（表排出）	フェイスダウン（裏排出）
			トレイ 1	トレイ 2*2			
普通紙*7	連量 55～70kg (64～82g/m²)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*3	⟁*4	⟁*5	⟁	⟁	⟁*4
	連量 71～90kg (83～105g/m²)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*3	⟁*4	⟁*5	⟁	⟁	⟁*4
	連量 91～103kg (106～120g/m²)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*3	△*4	△*5	○	○	△*4

種類	厚さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			用紙カセット*1		マルチパーパストレイ手差し	フェイスアップ（表排出）	フェイスダウン（裏排出）
			トレイ 1	トレイ 2*2			
普通紙*7	連量 104～151kg (121～176g/m²)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ	×	○	○	○	○
		A6	×	×	○	○	×
		カスタム*3	×	△*5	○	○	△*4
	連量 152～172kg (177～200g/m²)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ	×	×	○	○	×
		A6	×	×	○	○	×
		カスタム*3	×	×	○	○	×
はがき*6	―	はがき，往復はがき	×	×	○	○	×
封筒*6*7	―	封筒 (長形 3 号) 封筒 (洋形 0 号) 封筒 (洋形 4 号) 封筒 (角形 2 号) 封筒 (角形 3 号) Com-10, DL C5, C4	×	×	○	○	×
ラベル紙*6	―	A4	×	×	○	○	×
OHP シート	―	A4, レター	×	×	○	○	×

*1：上から順にトレイ 1、トレイ 2（セカンドトレイユニット）となります。
*2：トレイ 2（セカンドトレイユニット）はオプションです。
*3：カスタムは幅 64～297mm、長さ 105～1200mm です。両面印刷可能なサイズは幅 148～297mm、長さ 182～431.8mm です。Mac OS X 10.2～10.2.2 ではカスタム用紙はサポートされません。
*4：幅 105～297mm、長さ 148mm、182～420mm です。
*5：幅 148～297mm、長さ 182～420mm です。
*6：はがき、封筒、ラベル紙を設定すると印刷速度が遅くなります。
*7：高温多湿により波打ちが発生した用紙は使用しないでください。（用紙にシワが発生することがあります。）

用紙サイズを A6、A5 サイズおよび用紙幅が 148mm（A5 幅）以下を設定すると、印刷速度が遅くなります。

メディアウェイトとメディアタイプを設定します

プリンタの操作パネルでメディアウェイト、メディアタイプを設定します。
メディアウェイトは用紙の厚さ、メディアタイプは用紙の種類に関する設定です。

- メディアウェイト、メディアタイプを適切な値に設定しないと印刷品質が低下したり、定着器ユニットを傷めるおそれがあります。
- 用紙の種類と厚さにより、設定が必要な項目や設定値が異なります。

1 用紙の種類と厚さから、メディアウェイト、メディアタイプの設定値を確認します。

種類	厚さ	プリンタドライバの［用紙厚］の設定 *2	操作パネルの設定値	
			メディアウェイト（用紙の厚さ）	メディアタイプ（用紙の種類）*1
普通紙 *3	55 ～ 70kg（64 ～ 82g/m²）	普通紙	フツウシ	フツウシ
	71 ～ 90kg（83 ～ 105g/m²）	厚い紙	アツイカミ	
	91 ～ 110kg（106 ～ 128g/m²）	より厚い紙	ヨリアツイカミ	
	111 ～ 172kg（129 ～ 200g/m²）	ごく厚い紙	ゴクアツイカミ	
はがき *4	―	―	―	―
封筒 *4	―	―	―	―
ラベル紙	0.1 ～ 0.17mm 未満	ラベル紙 1	ヨリアツイカミ	ラベルシ
	0.17 ～ 0.2mm	ラベル紙 2	ゴクアツイカミ	
OHP シート	―	OHP シート	―	OHP

*1：メディアタイプの工場出荷時の設定は［フツウシ］です。
*2：用紙の厚さ・種類は操作パネルとプリンタドライバで設定することができます。プリンタドライバで設定した場合は、プリンタドライバ設定が優先されます。プリンタドライバの[給紙方法]で[自動選択]が選択されている場合、または[用紙厚]で[プリンタ設定]が選択されている場合は、操作パネルの設定で印刷します。
*3：両面印刷できる用紙の厚さは連量 55 ～ 90kg（64 ～ 105g/m²）です。
*4：はがき、封筒はメディアウェイト、メディアタイプの設定の必要はありません。

メモ　メディアウェイトの［ヨリアツイカミ］、［ゴクアツイカミ］、メディアタイプの［ラベルシ］を設定すると、印刷速度が遅くなります。

2 操作パネルでメディアウェイトを設定します。

- プリンタドライバでメディアウエイトを設定した場合は、操作パネルで以下の設定を行う必要はありません。
- メディアウエイトは、給紙するトレイごとに設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。

ここでは､トレイ 1 で普通紙（連量90kg 紙）に印刷するときの設定手順（[トレイ 1　メディアウエイト］を［アツイカミ］に設定します）を説明します。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[メディア　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、[トレイ 1　メディアウエイト］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、[アツイカミ］を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン］にします。

3 操作パネルでメディアタイプを設定します。

- プリンタドライバでメディアタイプを設定した場合は、操作パネルで以下の設定を行う必要はありません。
- メディアタイプの工場出荷時の設定は［フツウシ］です。普通紙に印刷する場合はそのまま使用してください。
- メディアタイプは、給紙するトレイごとに設定してください。
- ラベル紙は必ず設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。
- メディアタイプは［フツウシ］､［ラベルシ］以外は設定しないでください。

ここでは､マルチパーパストレイでラベル紙に印刷するときの設定手順（[MP トレイ　メディアタイプ］を［ラベルシ］に設定します）を説明します。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[メディア　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、[MP トレイ　メディアタイプ］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、[ラベルシ］を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

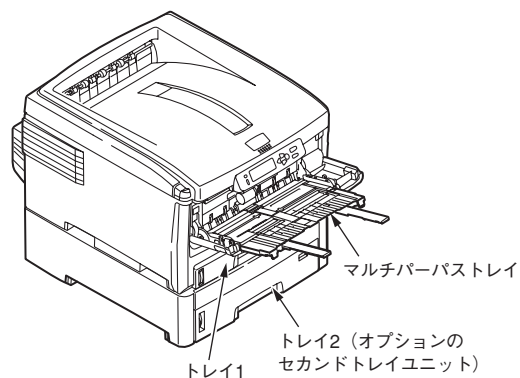
❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン］にします。

印刷します

給紙方法は、トレイ 1、トレイ 2（オプション）、マルチパーパストレイの 3 通りあります。

普通紙（A6 はトレイ 1 のみ）は用紙カセットから印刷します。
はがき、封筒、ラベル紙は用紙カセットから印刷できません。
用紙カセットは、トレイと呼ぶ場合があります。
トレイ 1、トレイ 2（オプションのセカンドトレイユニット）とも同じ操作になります。

はがき、封筒、ラベル紙はマルチパーパストレイから印刷します。普通紙も印刷できます。

マルチパーパストレイで手差し印刷をすることもできます。
コンピュータから印刷を実行した後にプリンタに用紙をセットし、1 枚ずつ確認してから「オンライン」スイッチを押して印刷をします。

1 用紙をセットします。

用紙カセットの場合（トレイ 1、トレイ 2）

❶

用紙ストッパ

用紙ガイド

プレート

注 A6 サイズの用紙をセットする場合は、用紙ストッパを手前まで移動し、外してから図の位置に取り付け直します。

①②③

❷

❸

用紙のセット方向

A4, B5, レター

マルチパーパストレイの場合

❶

マルチパーパストレイ

❷

手差しガイド
マルチパーパストレイ
用紙サポータ
手差しガイド

❸

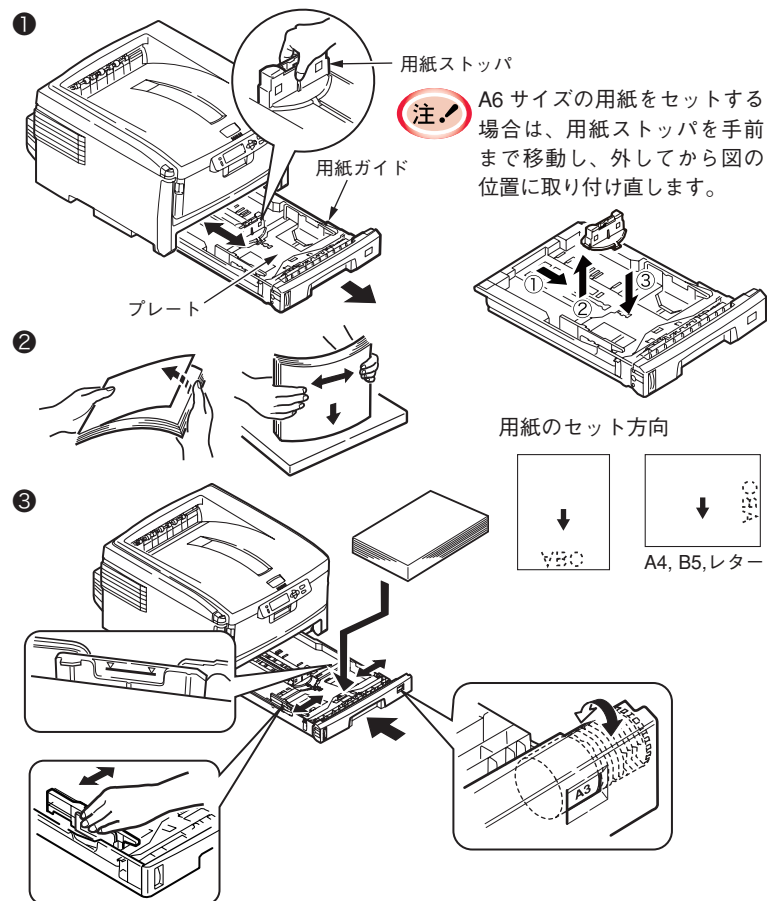
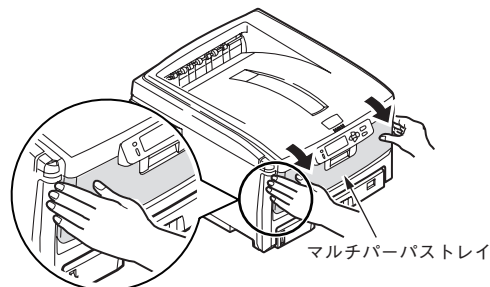
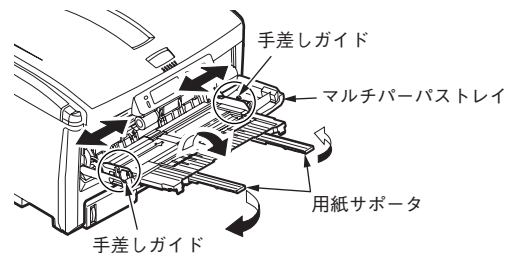
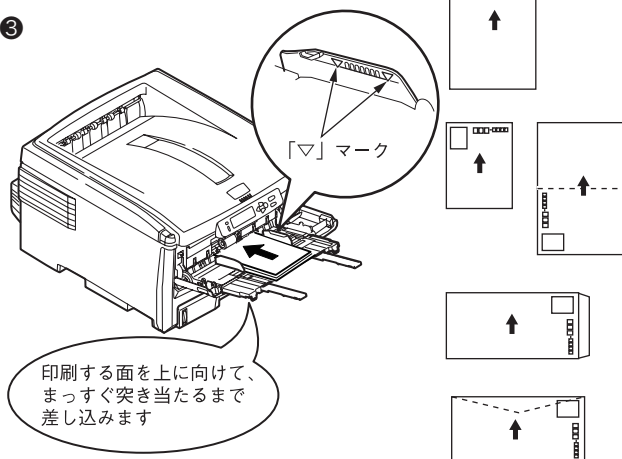
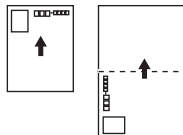
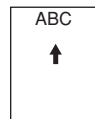
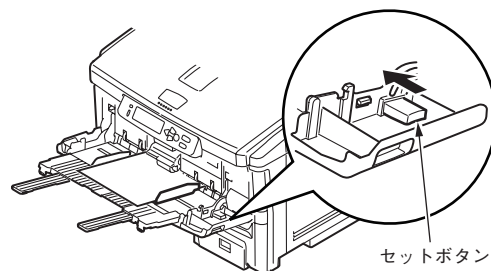
「▽」マーク

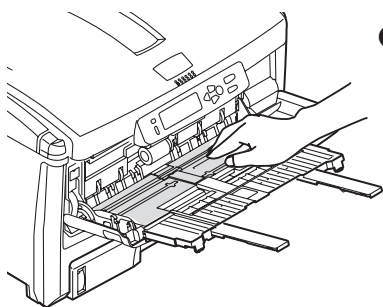
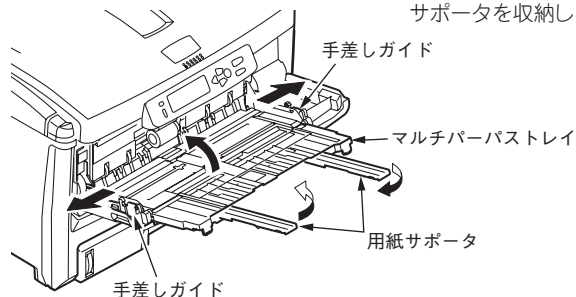
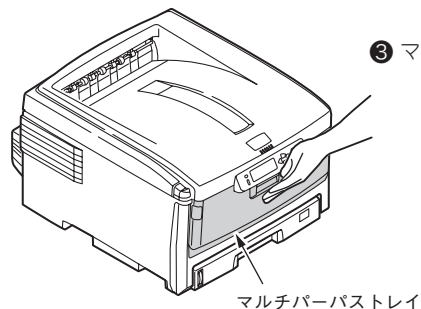
印刷する面を上に向けて、まっすぐ突き当たるまで差し込みます

ABC

A4, B5, Letter

ABC

❹

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。(用紙にシワが発生することがあります。)
- 用紙ガイドと用紙ストッパは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットしてください。(連量 70kg 紙で 300 枚)(トレイ 2(オプション)では 530 枚、マルチパーパストレイでは 100 枚)
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- 用紙カセットを差し込むときはあまり勢いよく押さないでください。
- 印刷中の用紙カセットおよび両面印刷時やトレイ 2 (オプション)からの印刷時のトレイ 1 の用紙カセットは引き出さないでください。
- 他のプリンタ等で一度印刷した用紙で、裏面印刷はしないでください。
- 用紙カセットでは、はがき、封筒を使用できません。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは 2mm 以内に修正してください。(マルチパーパストレイ)
- 封筒は縦送りでセットしてください。(マルチパーパストレイ)
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。

マルチパーパストレイの閉じ方

❶ マルチパーパストレイのプレートを、ロックするまで手で押し下げます。

❷ 手差しガイドをいっぱいに広げ、用紙サポータを収納します。

❸ マルチパーパストレイを閉じます。

2 用紙サイズを設定します。

トレイ 1, トレイ 2 の場合

用紙カセットの用紙サイズダイヤルを回して用紙サイズをセットします。

マルチパーパストレイの場合

プリンタ出荷時にはマルチパーパストレイの用紙サイズが［A4］で設定されています。A4 以外の用紙で印刷する場合には、下記の手順に従ってユーザメニューの用紙サイズを変更する必要があります。

ここでは、マルチパーパストレイで B5 用紙に印刷するときの設定手順（［MP トレイ　ヨウシサイズ］を［B5］に設定します）を説明します。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは −「メニュー−」スイッチを数回押し、［MP トレイ　ヨウシサイズ］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

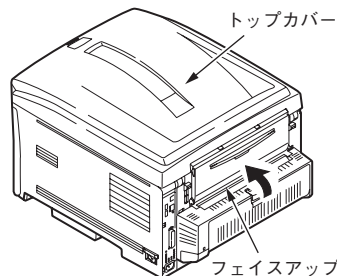
❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは −「メニュー−」スイッチを数回押し、［B5］を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

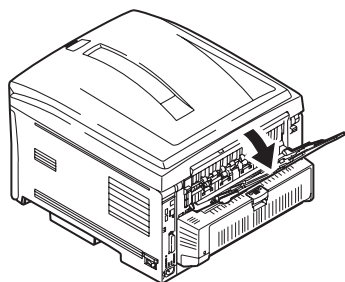
❼ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

3 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量 70kg 紙で約 250 枚をためることができます。

❶ プリンタ後面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量 70kg 紙で約 100 枚ためることができます。

❶ プリンタ後面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。
紙づまりの原因になります。

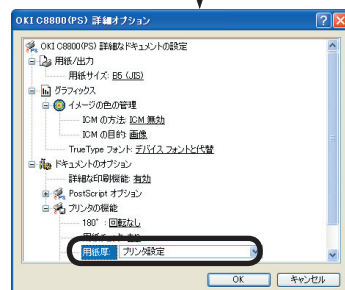
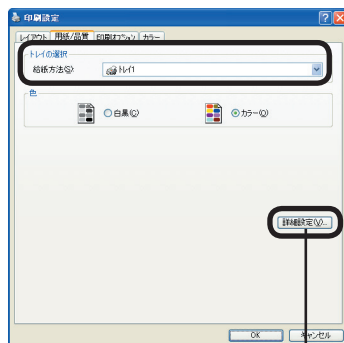
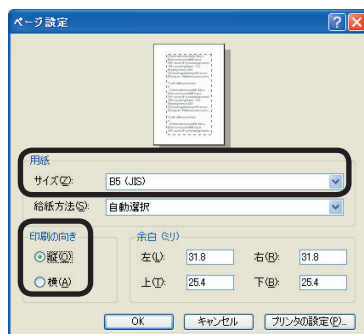
4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

- Windows では［ワードパッド］、Macintosh では［SimpleText］、Mac OS X では［テキストエディット］を使い、トレイ 1 で B5 サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの［用紙厚］ではメディアウエイト、メディアタイプと同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。
  プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は、「4 便利な印刷機能」の「プリンタドライバのデフォルトを変更したい」（応用編）をご覧ください。

［給紙方法］で［自動選択］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、「4 便利な印刷機能」の「トレイを自動的に選択したい」（応用編）をご覧ください。

Windows PS プリンタドライバの場合

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［B5］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

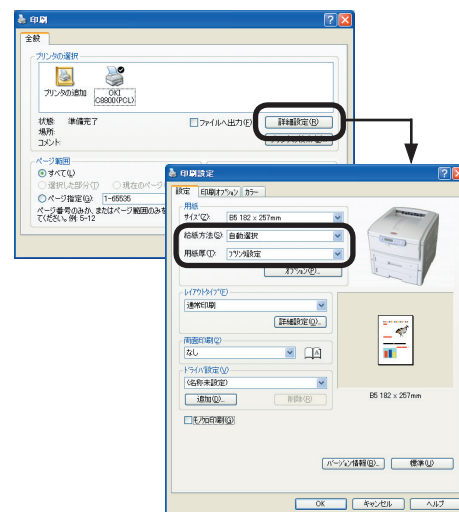
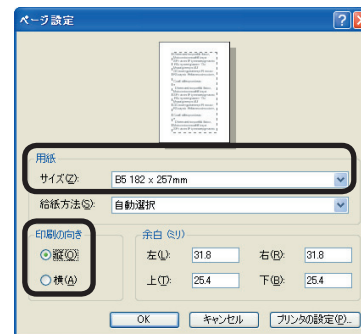
❹［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙／品質］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択します。

❻［詳細設定］をクリックし、［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

❼［OK］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❽「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［B5］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

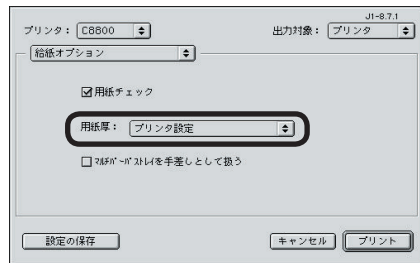
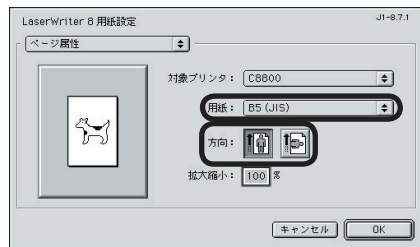
❹［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択します。

❻［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

❼［OK］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❽「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh プリンタドライバの場合

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で［B5］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙元］で［トレイ 1］を選択します。

❺［給紙オプション］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X プリンタドライバの場合

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙サイズ］で［B5］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙］パネルで［トレイ 1］を選択します。

❺［プリンタの機能］パネルの［給紙オプション］機能セットの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

10 プリンタの設定項目について

現在の設定を確認します（メニューマップ印刷）

- ユーザメニューの設定とネットワークの設定情報のみ印刷されます。アドミニストレータメニューの設定は印刷されません。
- プリントジョブアカウンティング（オプション）で［ローカルプリント］が［印刷不可］または［カラー印刷不可］に設定されている場合には印刷できません。

❶ トレイに A4 用紙をセットします。

注 A4 用紙以外で印刷を行うと、全ての内容が印刷されないことがあります。

❷ ［＋］「メニュー＋」スイッチを押し、［インフォメーション　メニュー］を表示します。

❸ 「設定」スイッチを押し、［メニューマップ　インサツ／ジッコウ］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

メニューマップ印刷（2枚）が開始されます。

メモ ネットワーク設定情報 (Network Information 2 枚) を印刷するには、❸の後に［＋］「メニュー＋」スイッチを押し、［ネットワーク］を表示させてから、「設定」スイッチを押します。

（サンプル）

MenuMap　　C8800

プリンタシリアル番号:AA67007209　プリンタ管理番号:
CU version:E0.19 [I01.18 U02.0K S3.0.6y B01.00 L01.00 PPC750 500MHz 00087103 00080001 F50 J0]
PU version:00.00.32 [PID3.10 L000.00.19 DU00.00.11 T200.00.14]　ET:00000000505031D1A20090001000000　KYMC-1111
PCL Program version:04.25 [04.26 X03.12 P F]
PS Program version:3015, PSE14 01.00
両面印刷:installed トレイ1:A4 横送り　トレイ2:A4 横送り
Total Memory Size:256 MB
Flash Memory:4 MB [F50]
HDD:40.01 GB [F50]　　Language format:4.0
JP1　LCD:T1　PNL:T1　DPR:1.5 47　　Language version:4.0
Network version:06.51　Web Remote:w6.51　　Language:JAPANESE

印刷ジョブメニュー
　暗号ジョブ
　保存ジョブ

インフォメーションメニュー
　メニューマップ印刷
　ネットワーク
　ファイルリスト印刷
　PCLフォント印刷
　PSEフォント印刷
　DEMO1
　エラーログ印刷
　カラープロファイルリスト

シャットダウン メニュー
　シャットダウン スタート

印刷メニュー
　コピー枚数　1
　両面印刷　オフ
　給紙トレイ　トレイ1
　自動トレイ切り替え　オン
　トレイ選択順序　下方向
　MPトレイの使い方　使用しない
　用紙チェック　有効
　解像度　600DPI
　トナーセーブモード　オフ
　モノクロ印刷速度　自動
　印刷方向　縦
　1ページ行数　64 行
　編集サイズ　カセットサイズ
　用紙幅　210 ミリメートル
　用紙長さ　297 ミリメートル

メディアメニュー
　トレイ1用紙サイズ　カセットサイズ
　トレイ1用紙タイプ　普通紙
　トレイ1用紙厚　普通紙
　トレイ1リーガルサイズ　リーガル14
　トレイ2用紙サイズ　カセットサイズ
　トレイ2用紙タイプ　普通紙
　トレイ2用紙厚　普通紙
　トレイ2リーガルサイズ　リーガル14
　MPトレイ用紙サイズ　A4 横送り
　MPトレイ用紙タイプ　普通紙
　MPトレイ用紙厚　普通紙
　表示単位　ミリメートル

カラーメニュー
　自動濃度補正モード　自動
　濃度補正
　カラー調整
　シアン HIGHLIGHT　0
　シアン MID-TONE　0
　シアン DARK　0
　マゼンタ HIGHLIGHT　0
　マゼンタ MID-TONE　0
　マゼンタ DARK　0
　イエロー HIGHLIGHT　0
　イエロー MID-TONE　0
　イエロー DARK　0
　ブラック HIGHLIGHT　0
　ブラック MID-TONE　0
　ブラック DARK　0
　シアン濃度　0
　マゼンタ濃度　0
　イエロー濃度　0
　ブラック濃度　0
　自動色ずれ補正
　シアン位置ずれ微調整　0
　マゼンタ位置ずれ微調整　0
　イエロー位置ずれ微調整　0
　インクシミュレーション　オフ
　UCR　少ない
　CMY100%濃度　無効
　CMYK変換　オン

システム構成メニュー
　パワーセーブ移行時間　30 分
　動作モード　自動
　セントロ PS-プロトコル　ASCII
　USB PS-プロトコル　RAW
　NET PS-プロトコル　RAW
　アラーム解除　オンライン
　エラー自動解除　オフ
　マニュアルタイムアウト　60 秒
　タイムアウト印刷　40 秒
　トナー不足印刷継続　継続
　ジャムリカバー　オン
　エラーレポート印刷　オフ

PCL エミュレーション
　使用フォント　内蔵フォント2
　フォントNo.　C1
　フォントサイズ　12.00 ポイント
　シンボルセット　WIN3.1J
　A4印字幅　78 桁
　白紙ページ除外　オフ
　CR 動作　CR のみ
　LF 動作　LF のみ
　印刷領域　ノーマル
　イメージ黒選択　混合黒
　ペン幅補正　オン
　トレイ ID#
　　トレイ2　5
　　MPトレイ　4

セントロ メニュー
　セントロ　有効
　双方向セントロ　有効
　ECP　有効
　ACK幅　狭い
　ACK/BUSYタイミング　ACK IN BUSY
　I-PRIME　無効
　オフライン受信　無効

USBメニュー
　USB　有効
　ソフトリセット　無効
　SPEED　480Mbps
　オフライン受信　無効
　シリアルナンバ　有効

現在のメニュー設定を保存します

プリンタの操作パネルでの設定を保存できます。

- ユーザメニューのみ保存できます。
- 「ネットワークメニュー」カテゴリは保存されません。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[メンテナンス　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、[メニュー　セッテイヲ　ホゾン／ジッコウ] を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押し、[ジッコウシマスカ?／ハイ]を表示します。

❺ 「設定」スイッチを押します。

設定値が保存されます。

現在の設定を、保存されている設定に変更することができます。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[メンテナンス　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、[ホゾンメニュー　ニ　モドス／ジッコウ]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押し、[ジッコウシマスカ?]を表示します。

❺ 「設定」スイッチを押します。

設定値が、保存されている設定に変更されます。

設定値を初期化します

- ユーザメニューのみ初期化します。
- 「ネットワークメニュー」カテゴリの初期化は、「ネットワークメニュー」カテゴリ内の[コウジョウシュッカジセッテイ]で行ってください。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[メンテナンス　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[メニュー　リセット／ジッコウ] を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

11 メンテナンスをします

トナーカートリッジを交換します

⚠警告

- トナーまたは、トナーカートリッジを火中に投入しないでください。トナーがはねて、やけどの原因になります。

- トナーカートリッジを、火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になります。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

- トナーカートリッジは、子供の手に触れないようにしてください。もし、子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

- トナーが目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナーを飲み込んだ場合は、大量の水を飲んでトナーをうすめてください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- 紙づまりの処置やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。
- 衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

- トナーカートリッジを分解しないでください。トナーが飛び散り、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。

- 使用済みのトナーカートリッジは、トナーが飛び散らないように袋に入れて保管してください。

トナーカートリッジの交換の目安

トナーが少なくなると操作パネルに［＊　トナーコウカン　ジュンビ］（＊は各色を表わします）のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。そのまま印刷を続けると［トナーヲ　コウカンシテクダサイ］を表示して印刷を停止しますので、トナーカートリッジを交換してください。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、イメージドラムカートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーカートリッジ交換の目安は、5％の印刷密度の場合（1 ページの印刷可能領域でトナーのついている面積の割合）、A4 サイズの用紙（片面印刷時）で以下の通りです。

- 標準トナーカートリッジの場合：約 6,000 枚
- トナーカートリッジ S タイプ、イメージドラム添付のトナーカートリッジの場合：約 2,000 枚

新しいドラムカートリッジに 1 本目のトナーカートリッジを取りつけたときの交換の目安は以下のようになります。これは、新しいイメージドラムカートリッジ内にトナーが入っていないので、1 本目のトナーカートリッジからトナーを充填するためです。

- 標準トナーカートリッジの場合：約 5,200 枚
- トナーカートリッジ S タイプ、イメージドラム添付のトナーカートリッジの場合：約 1,200 枚

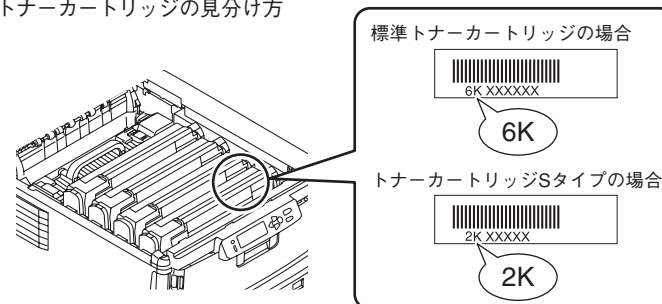
［トナーコウカン　ジュンビ］を表示してから［トナーガ　アリマセン］になるまでの目安は、約 250 枚です。（A4 サイズ、片面印刷、5％印刷密度の場合）

- 製品購入時に添付されているトナーカートリッジは、A4, 5% の印刷密度の場合、約 2,000 枚印刷可能です。
- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- ［トナーヲ　コウカンシテクダサイ］表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、イメージドラムカートリッジの故障の原因となりますので、トナーカートリッジを交換してください。

- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

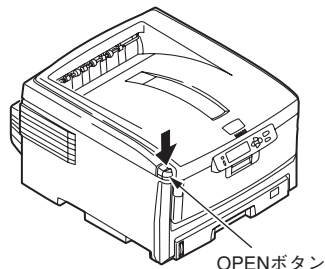
品　名	型　名
トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C3EK1
トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C3EY1
トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C3EM1
トナーカートリッジ　シアン	TNR-C3EC1
トナーカートリッジ　ブラック S	TNR-C3EK3
トナーカートリッジ　イエロー S	TNR-C3EY3
トナーカートリッジ　マゼンタ S	TNR-C3EM3
トナーカートリッジ　シアン S	TNR-C3EC3

※　お近くの販売店でお求めください。
※※ C8800-P（POP 印刷専用モデル）をご利用のお客様は、上記の消耗品はご使用になれません。C8800-P ユーザーズマニュアル（補足）に記載された専用の消耗品をご使用願います。

トナーカートリッジの見分け方

トナーカートリッジを交換します

1 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのトナーカートリッジを取り出します。

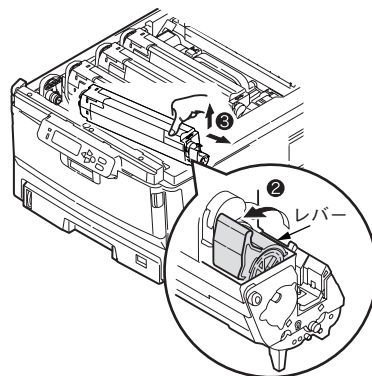
⚠警告	使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

メモ 使用済みトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」(176 ページ) をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

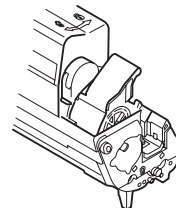
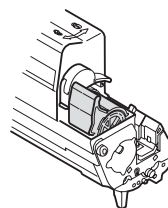
❶ 交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認します。

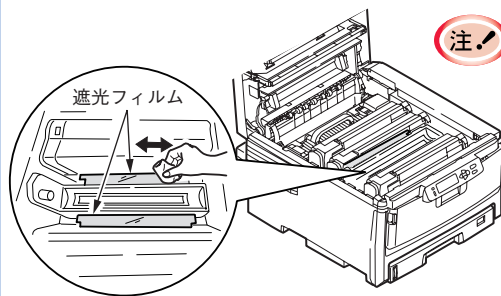
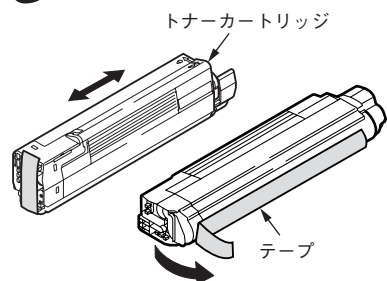
❷ トナーカートリッジの青いレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

❸ トナーカートリッジのレバー側の端を持って、斜めに持ち上げます。

❹ トナーカートリッジを斜めにしたまま、横方向に引き抜きます。

【トナーカートリッジのレバー位置】

トナーカートリッジを外す位置

トナーカートリッジを取り付けた状態

注 トナーカートリッジのレバーと反対側はイメージドラムカートリッジのポストが差し込まれています。無理に持ち上げたり、引き抜くと、ポストが破損することがあります。

注 トナー交換時に遮光フィルムにトナーを落とした場合は、LED レンズにトナーがつく可能性があります。柔らかいティッシュペーパーで拭きとってください。

3 新しいトナーカートリッジをセットします。

❶ 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

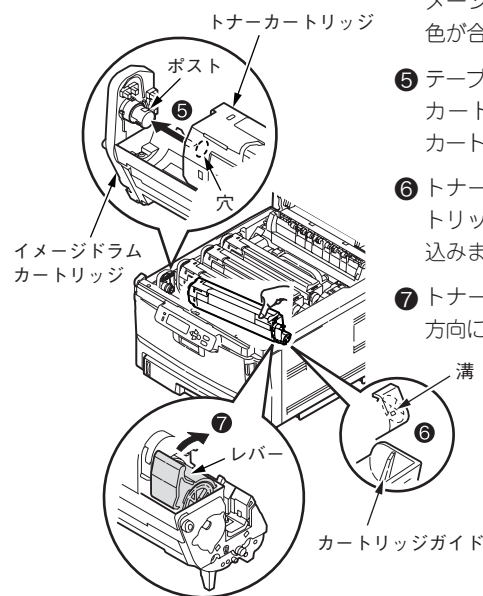
❷ 縦と横に数回振ります。

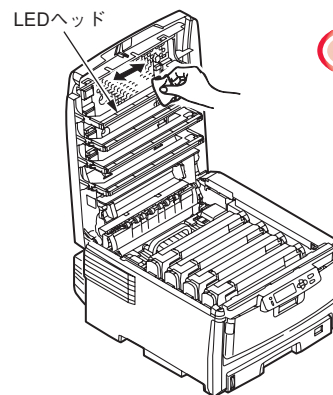
❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

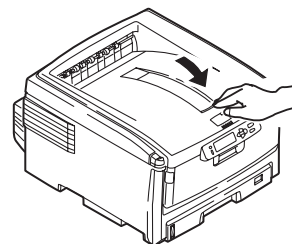
❹ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

❺ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❻ トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❼ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジのレバーとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

4 柔らかいティッシュペーパーで LED ヘッドのレンズ面を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED ヘッドを傷めますので使用しないでください。

5 トップカバーを閉じます。

トナーカートリッジを交換しても、[トナーヲ　コウカンシテクダサイ] のメッセージが消えないときは、トナーカートリッジを取り付け直してください。

イメージドラムカートリッジを交換します

⚠警告

- トナーまたは、トナーカートリッジを火中に投入しないでください。トナーがはねて、やけどの原因になります。

- トナーカートリッジを、火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になります。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

- トナーカートリッジは、子供の手に触れないようにしてください。もし､子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

- トナーが目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナーを飲み込んだ場合は、大量の水を飲んでトナーをうすめてください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- 紙づまりの処置やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。
- 衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

- トナーカートリッジを分解しないでください。トナーが飛び散り、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。

- 使用済みのトナーカートリッジは、トナーが飛び散らないように袋に入れて保管してください。

イメージドラムカートリッジ交換の目安

イメージドラムカートリッジが寿命になると操作パネルに［＊　ドラムコウカン　ジュンビ］（＊は各色を表わします）のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると［ドラムヲ　コウカンシテクダサイ］を表示して印刷を停止します。
イメージドラムカートリッジ交換の目安は、A4 サイズの用紙（横送り、片面印刷時）で約 20,000 枚です。ただし、これは一般的な使用状況(一度に 3 枚ずつ)で印刷した場合の枚数です。1 枚ずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。(連続印刷で約 27,000 枚に相当します。)

オンライン
＊　ト゛ラムコウカン　ジュンビ

→

- ［ドラムコウカン　ジュンビ］を表示してから［ドラム　ジュミョウ］になるまでの目安は、約 500 枚です。(A4 サイズ、横送り、片面印刷、一度に 3 枚ずつ印刷した場合)
- トナーがほとんど無くなっている場合には、トップカバーを開閉しての印刷継続は制限されます。

- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
- ［ドラムヲ　コウカンシテクダサイ］表示の後も、トップカバーを開閉するとトナーが残っていれば印刷を続けることはできますが、印刷品質が低下することがありますので、早めに交換してください。
- ［ドラムコウカン　ジュンビ］を表示以降にトナーがほとんど無くなった場合には、500 枚以下で［ドラム　ジュミョウ］となります。また、お使いの環境によっては、［ドラム　ジュミョウ］が表示される前に印刷が薄くなることもあります。
- 封筒、はがき、ラベル紙、ごく厚い紙の場合、モノクロ印刷でもカラードラムを消費する場合があります。

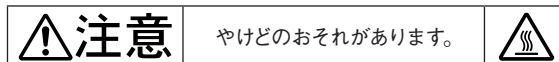
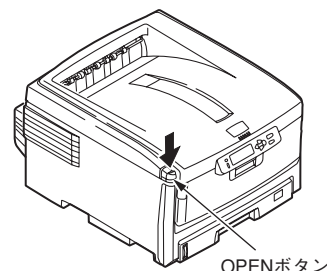
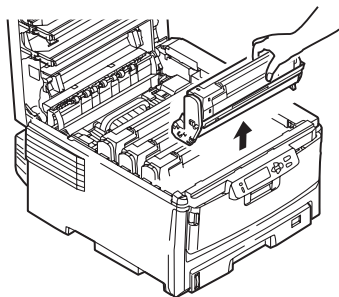
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
- 純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)

品　名	型　名
イメージドラムカートリッジ　ブラック	ID-C3EK
イメージドラムカートリッジ　イエロー	ID-C3EY
イメージドラムカートリッジ　マゼンタ	ID-C3EM
イメージドラムカートリッジ　シアン	ID-C3EC

※　お近くの販売店でお求めください。
※※ C8800-P（POP 印刷専用モデル）をご利用のお客様は、上記の消耗品はご使用になれません。C8800-P ユーザーズマニュアル（補足）に記載された専用の消耗品をご使用願います。

イメージドラムカートリッジを交換します

1 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

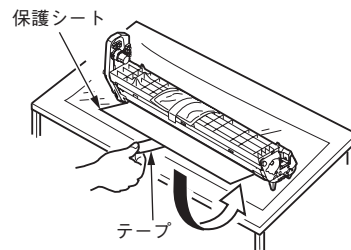
⚠注意　やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのイメージドラムカートリッジを取り出します。

❶ 交換するイメージドラムカートリッジをラベルの色で確認します。

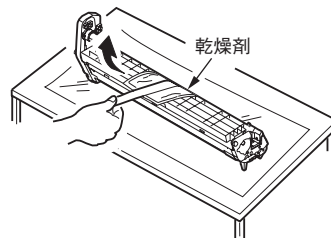
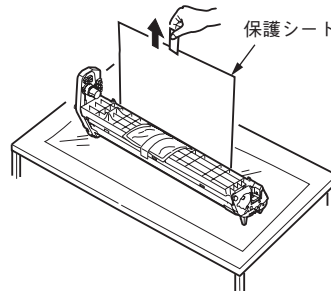
❷ トナーカートリッジをつけたまま、イメージドラムカートリッジを取り出します。

メモ 使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」(176 ページ)をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

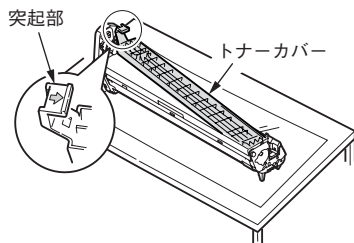
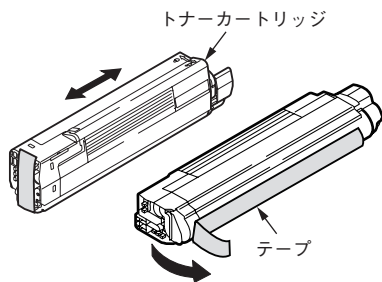
3 新しいイメージドラムカートリッジを準備します。

- イメージドラムを傾けないでください。トナーがこぼれる場合があります。
- イメージドラム(緑の筒の部分)は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光(約 1500 ルクス以上)に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

❶ イメージドラムを新聞紙等の上に置きます。

❷ 保護シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

❸ 乾燥剤を取り外します。

4 新しいトナーカートリッジをイメージドラムカートリッジに取り付けます。

今まで使用していたトナーカートリッジをセットすることも可能ですが、以下の理由により、新しいトナーカートリッジを使用されることを推奨します。

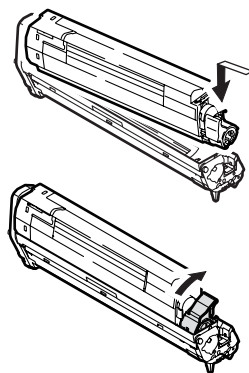
- 今まで使用していたトナーカートリッジが開封後1年以上経過している場合は、印刷品質が低下する可能性があります。
- 新しいイメージドラムカートリッジ内にはトナーが入っていないため、セットしたトナーカートリッジからトナーが充填されます。残量の少ないトナーカートリッジをセットした場合、すぐに「トナーヲコウカンシテクダサイ」のメッセージが表示される場合があります。
- 今まで使用していたトナーカートリッジをセットした場合、「トナーコウカン　ジュンビ」のメッセージが表示されるまでのトナー残量表示が不正確となります。

❶ 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

❷ 縦と横に数回振ります。

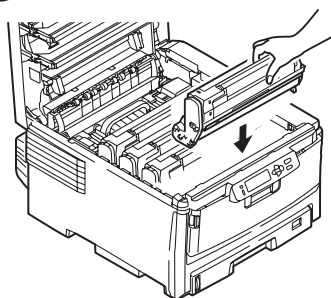
❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

❹ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

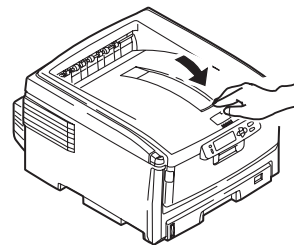
❺ イメージドラムカートリッジのトナーカバーを取り外します。

❻ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❼ トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❽ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

5 イメージドラムカートリッジをプリンタにセットします。

❶ イメージドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色が合っていることを確認します。

❷ イメージドラムカートリッジを静かにセットします。

6 トップカバーを閉じます。

ベルトユニットを交換します

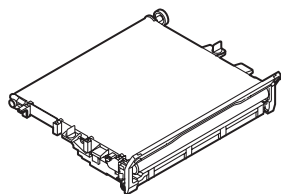
ベルトユニット交換の目安

ベルトユニットの交換時期になると、操作パネルに[ベルト　コウカン　ジュンビ]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると[ベルトヲ　コウカンシテクダサイ]を表示し印刷を停止しますので、新しいベルトユニットに交換してください。
ベルトユニット交換の目安は、A4 横サイズの用紙（片面印刷時）で約 80,000 枚です。ただし、これは一般的な使用状況で印刷した場合（一度に 3 枚ずつ）の枚数です。1 枚ずつ印刷する場合には、約半分でベルトユニットの寿命になります。

オンライン ベ゛ルト　コウカン　ジュンビ		ベ゛ルトヲ　コウカンシテクダ゛サイ nnn：ベ゛ルト　ジ゛ュミョウ

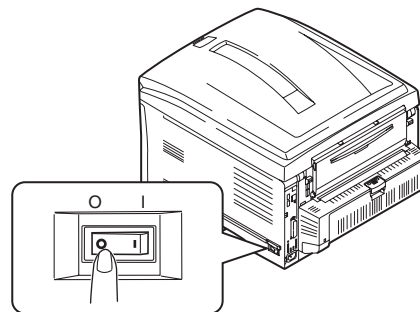
[ベルト　コウカン　ジュンビ]を表示してから[ベルト　ジュミョウ]になるまでの目安は、約 1,000 枚です。（A4 横サイズ、片面印刷、一度に 3 枚ずつ印刷した場合）

「ベルトヲ　コウカンシテクダサイ」表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、プリンタの故障の原因となりますので、ベルトユニットを交換してください。

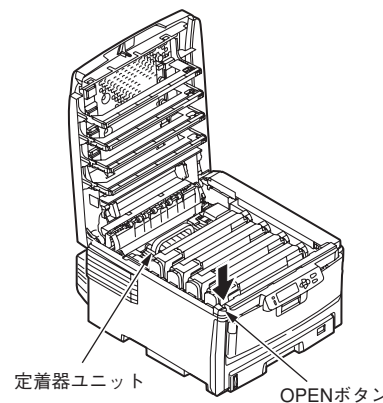
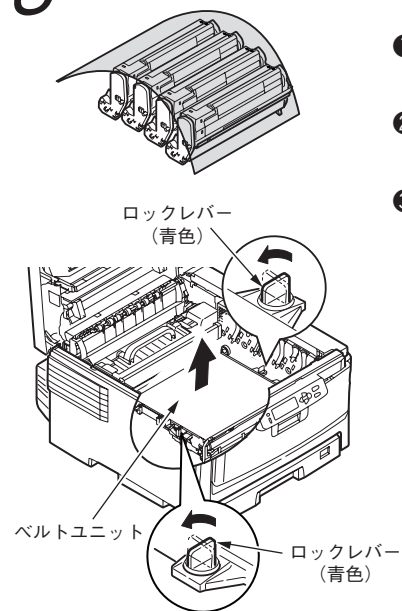
ベルトユニット

型名：BLT-C3C

お近くの販売店でお求めください。

ベルトユニットを交換します

1 プリンタの電源を OFF にします。

2 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 使用済みのベルトユニットを取り出します。

❶ イメージドラムカートリッジ(4 個)を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

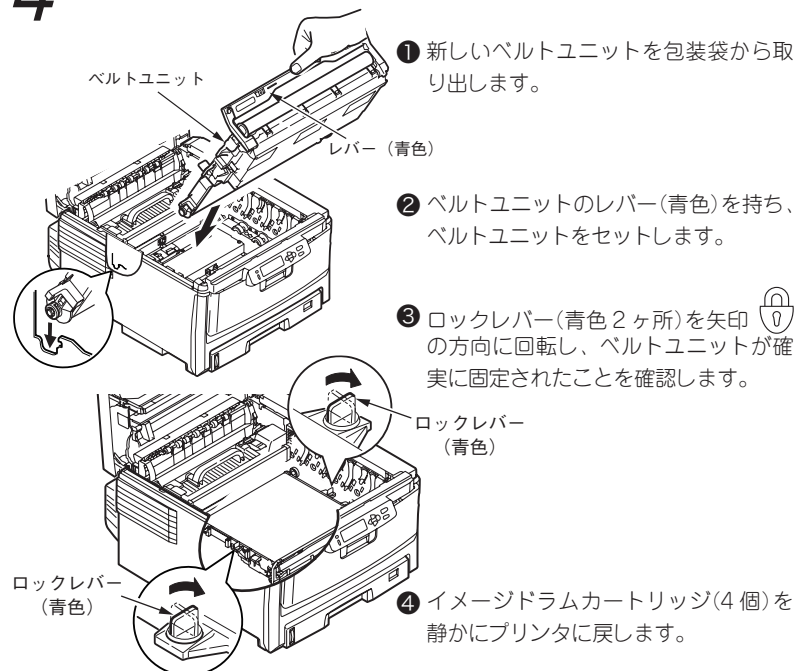
❷ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

❸ ロックレバー(青色 2 ヶ所)を矢印 の方向に回転し、レバー(青色)を持ち、ベルトユニットを取り外します。

メモ
- 使用済みのベルトユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」(176 ページ)をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

注
- イメージドラム(緑の筒の部分)は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光(約1500 ルクス以上)に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

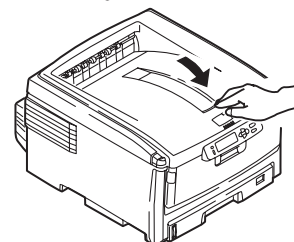
⚠警告	使用済みベルトユニットは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

4 新しいベルトユニットをセットします。

❶ 新しいベルトユニットを包装袋から取り出します。

❷ ベルトユニットのレバー(青色)を持ち、ベルトユニットをセットします。

❸ ロックレバー(青色 2 ヶ所)を矢印 の方向に回転し、ベルトユニットが確実に固定されたことを確認します。

❹ イメージドラムカートリッジ(4 個)を静かにプリンタに戻します。

5 トップカバーを閉じます。

注 イメージドラムカートリッジがセットできなかったり、トップカバーが閉まらない場合は、ベルトユニットのロックレバーの位置を確認してください。

定着器ユニットを交換します

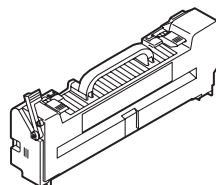
定着器ユニット交換の目安

定着器ユニットの交換時期になると、操作パネルに[テイチャクキ　コウカン　ジュンビ]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると、操作パネルに[テイチャクキヲ　コウカンシテクダサイ]のメッセージが表示され、印刷を停止しますので、新しい定着器ユニットに交換してください。
定着器ユニット交換の目安は、A4 サイズの用紙（片面印刷時）で約 100,000 枚です。

オンライン テイチャクキ　コウカン　ジ゛ュンビ゛		テイチャクキヲ　コウカンシテクダ゛サイ ３５４：テイチャクキ　ジ゛ュミョウ

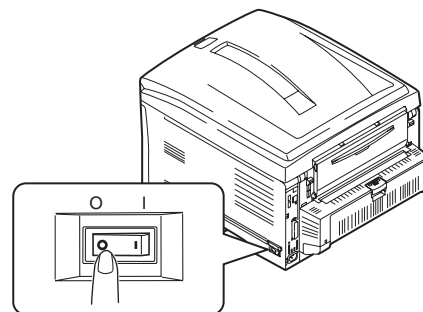
メモ　[テイチャクキ　コウカン　ジュンビ]を表示してから[テイチャクキ　ジュミョウ]になるまでの目安は、A4 サイズ（片面印刷）で約 1,250 枚です。

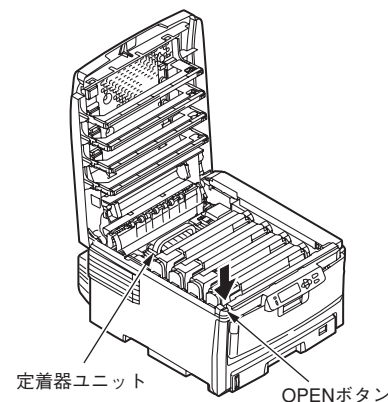
「テイチャクキヲ　コウカンシテクダサイ」表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、プリンタの故障や紙づまりの原因となりますので、定着器ユニットを交換してください。

定着器ユニット

型名：FUS-C3E

お近くの販売店でお求めください。

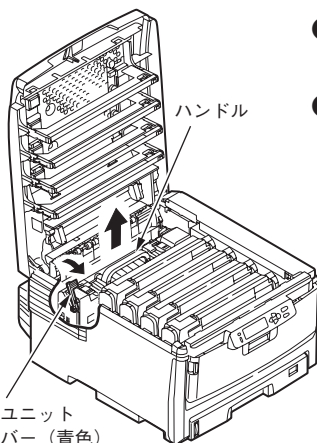
定着器ユニットを交換します

1 プリンタの電源を OFF にします。

2 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 使用済みの定着器ユニットを取り出します。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

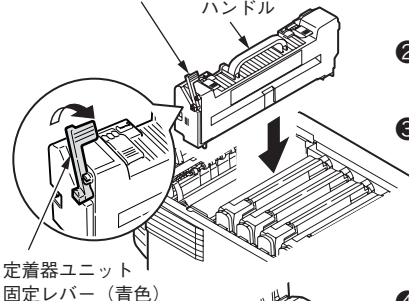
定着器ユニットは高温になっています。手を触れないよう十分注意をしてください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。

❶ 定着器ユニット固定レバー（青色）を矢印の方向へ起します。

❷ 定着器ユニットのハンドルを持ち、取り出します。

LEDヘッドに当たらないように注意してください。

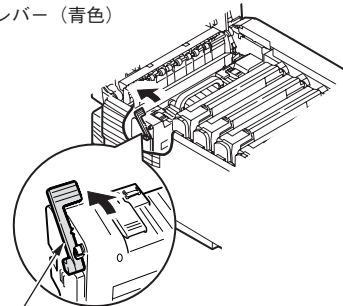
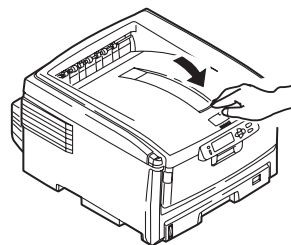
メモ

使用済みの定着器ユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」(176ページ)をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

4 新しい定着器ユニットをセットします。

❶ 新しい定着器ユニットを包装袋から取り出します。

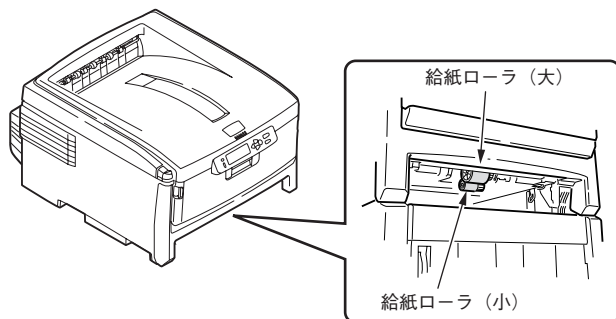
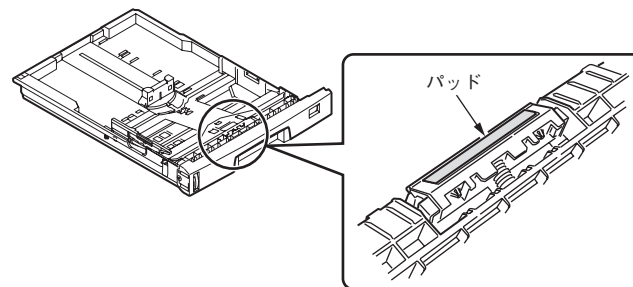
❷ 定着器ユニットの固定レバーを矢印の方向に起こします。

❸ 定着器ユニットのハンドルを持ち、定着器ユニットをプリンタの中へ静かに入れます。

❹ 定着器ユニット固定レバー（青色）を奥側に倒し、固定します。

5 トップカバーを閉じます。

給紙ローラとパッドを清掃します

[391：ヨウシ　ジャム] が頻発する場合に行ってください。

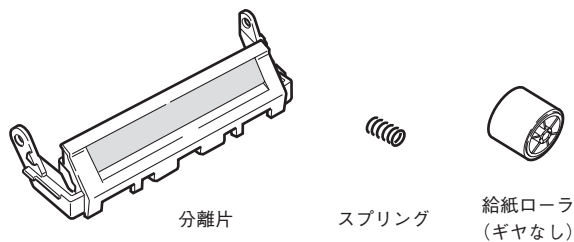
1 用紙カセットを引き出します。

2 給紙ローラ(大)、給紙ローラ(小)を、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。

3 用紙カセットのパッド部分を、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。

- [392：ヨウシ　ジャム]が頻発する場合はセカンドトレイ(オプション)を同様に清掃してください。
- [390：ヨウシ　ジャム]が頻発する場合は、マルチパーパストレイの給紙ローラを同様に清掃してください。

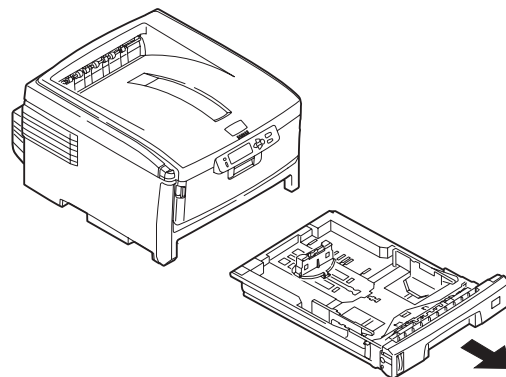
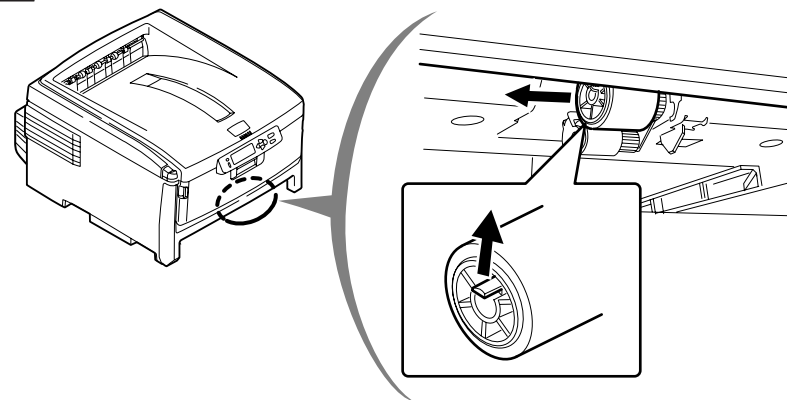
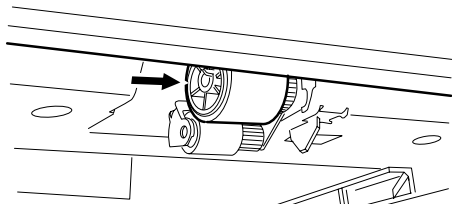
給紙ローラとパッドを交換します

給紙ローラとパッドを清掃しても給紙ミスが頻発する場合、給紙ローラとパッドを交換します。
トレイ１では、給紙ローラ１ヶと用紙カセットの分離片（パッド）を交換します。
トレイ２（オプション）では、給紙ローラを３ヶ交換します。（151 ページ）
マルチパーパストレイでは、給紙ローラ１ヶを交換します。（154 ページ）
交換の目安は、各トレイとも、約120,000 枚です。（使用環境や用紙によって異なります）

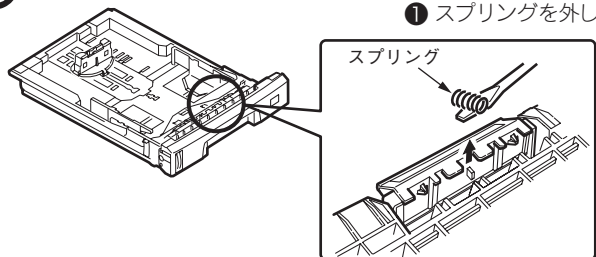
トレイ１の給紙ローラと分離片を交換します

給紙ローラセット（トレイ１用）

型名： RS-C3D

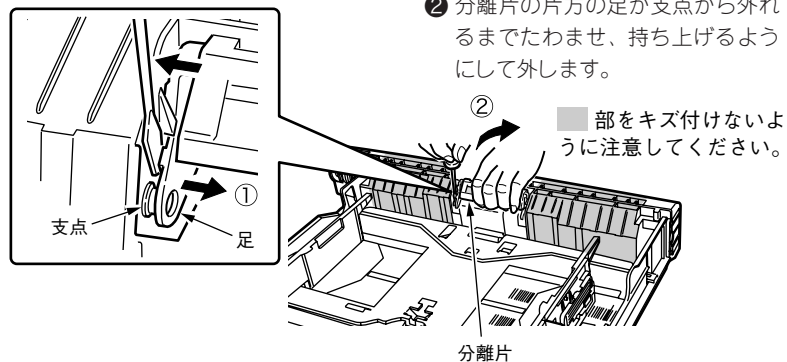
注 給紙ローラと分離片は必ずセットで交換してください。

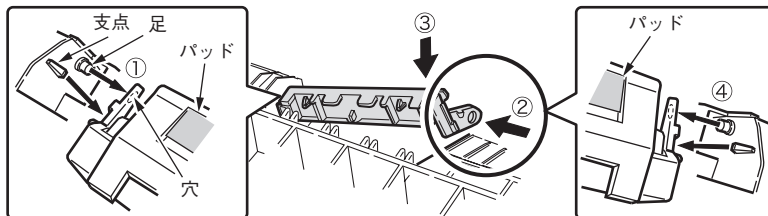
1 プリンタの電源を切り、用紙カセットを引き抜きます。

2 給紙ローラ（大）の爪を外側に広げながら、軸から外します。

3 新しい給紙ローラを軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

4 ローラが抜けないか、確認します。

5 用紙カセットの分離片を外します

❶ スプリングを外します。

スプリング

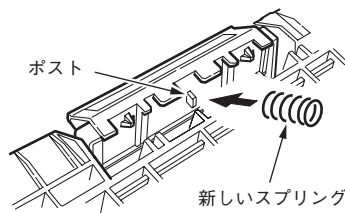
❷ 分離片の片方の足が支点から外れるまでたわませ、持ち上げるようにして外します。

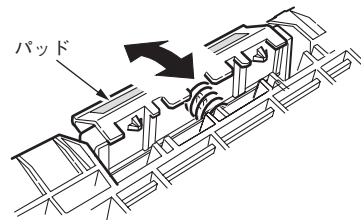
部をキズ付けないように注意してください。

6 新しい分離片を取り付けます。

❶ 新しい分離片の片方の足の穴を支点にいれ、もう片方の足をたわませながら足の穴に支点が入るように真上から押し込みます。

注 パッド（ゴムの部分）にさわらないよう、注意してください。

❷ 両方の足の穴に支点が入っていることを確認します

❸ 新しいスプリングを分離片のポストに差し込んで取り付けます。

- スプリングがとばないよう、注意してください。
- 先に取り外したスプリングも使用可能です。

❹ 支点を中心に分離片がなめらかに動くことを確認します。

注 パッド（ゴムの部分）にさわらないよう、注意してください。

給紙ローラとパッドを交換します

7 給紙ローラとパッドを清掃します。

148 ページを参照して、給紙ローラとパッドを清掃します。

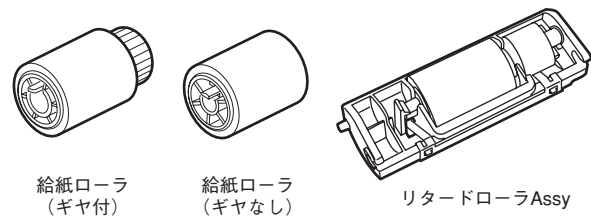
8 用紙カセットをプリンタにもどします。

トレイ 2（オプション）の給紙ローラを交換します

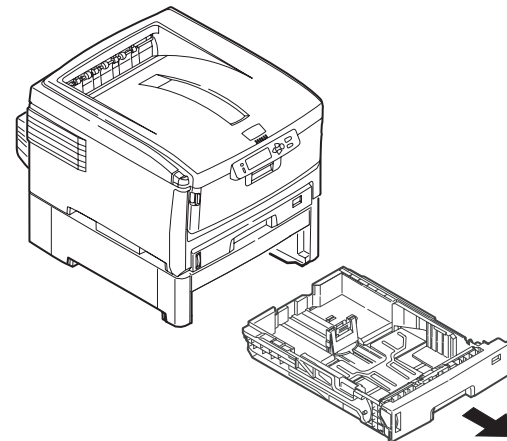
給紙ローラセット（トレイ 2 用）

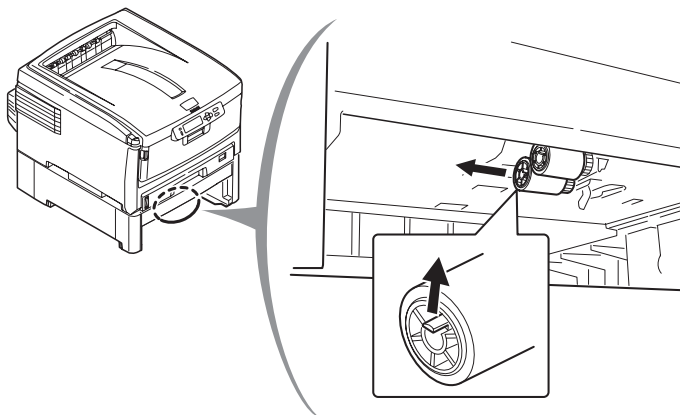
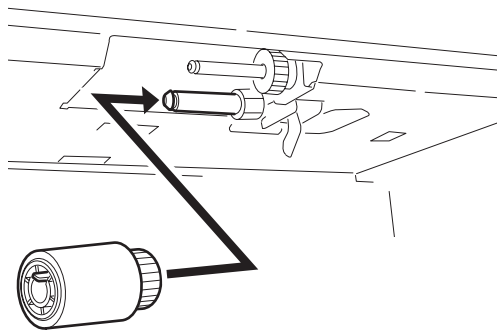
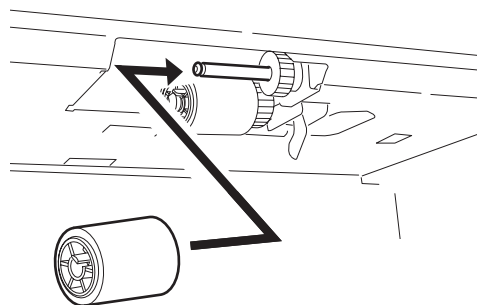
給紙ローラ
（ギヤ付）

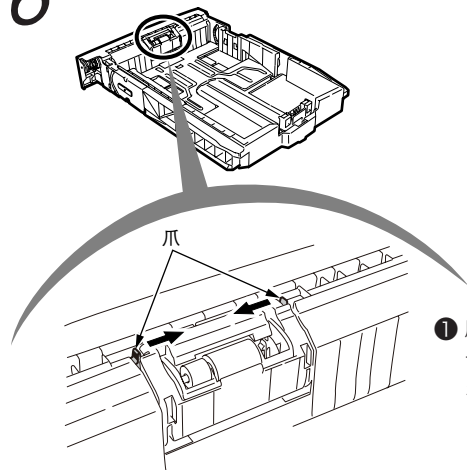
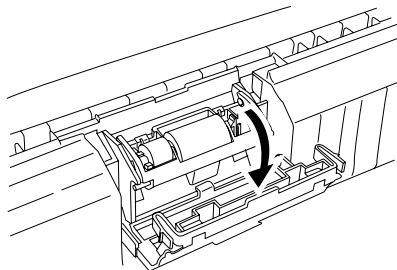
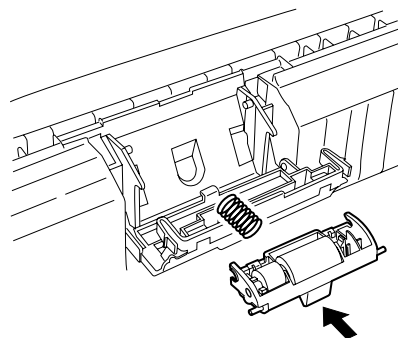
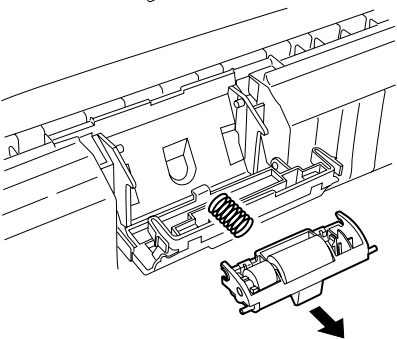
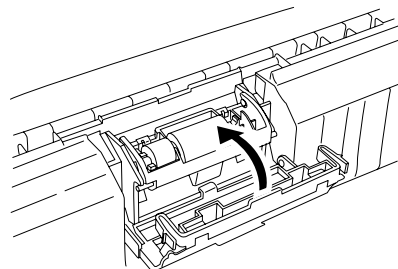
給紙ローラ
（ギヤなし）

リタードローラAssy

型名： RS-C3E

給紙ローラは必ず 3 個とも交換してください。

1 プリンタの電源を切り、トレイ 2 の用紙カセットを引き抜きます。

2 給紙ローラの爪を外側に広げながら、軸から外します。

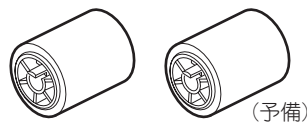
2個とも外します。

3 新しい給紙ローラ(ギヤ付)を奥側の軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

4 新しい給紙ローラ(ギヤなし)を手前側の軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

5 ローラが抜けないか、確認します。

6 用紙カセットのローラを交換します。

❶ 用紙カセットの両側の爪をたわませて外し、手前に回転させ、カバーを開けます。

❷ リタードローラ Assy を矢印方向に引っ張り、軸から外します。

❸ 新しい部品を取り付けます。
リタードローラ Assy 背面のボス部にスプリングをはめ、カセット側の軸にリタードローラ Assy の軸受け部を斜め下方向から押し込みます。
リタードローラ Assy が軸を支点になめらかに動作することを確認します。

❹ カバーを閉じます。

❺ ローラが回転することを確認します。

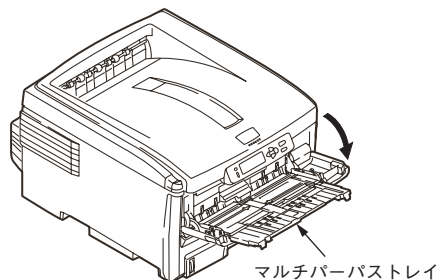
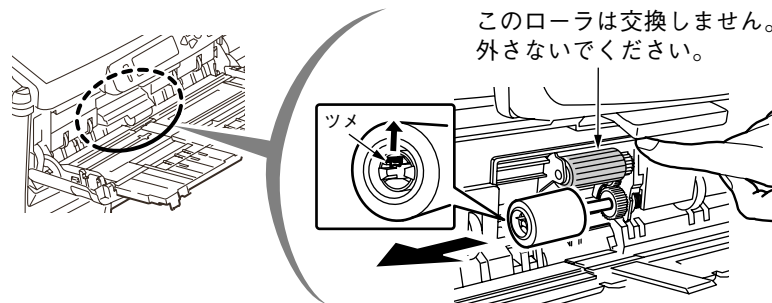
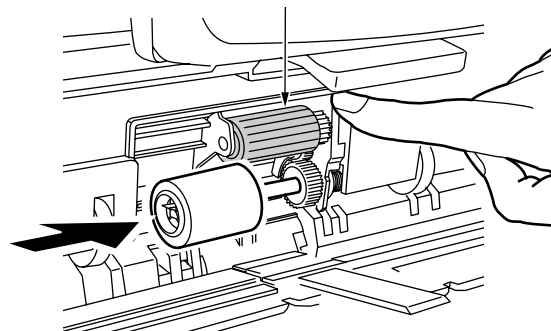
7 用紙カセットをプリンタにもどします。

マルチパーパストレイの給紙ローラを交換します

給紙ローラセット（MPT 用）

型名： RS-C3F

給紙ローラセット（MPT 用）には給紙ローラが 2 個入っていますが、給紙ローラを交換するときは給紙ローラ 1 個を使用してください。もう 1 個の給紙ローラは予備として保管ください。

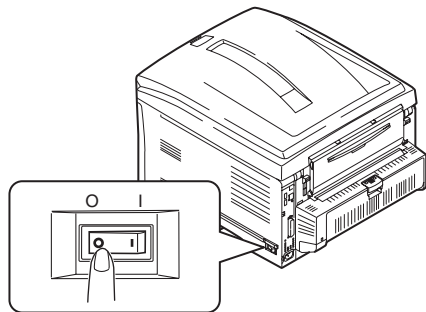
1 プリンタの電源を切ります。

2 マルチパーパストレイを開きます。

3 用紙ピックアップ部を持ち上げ、給紙ローラの爪を外側に広げながら、軸から外します。

4 新しい給紙ローラを軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

5 ローラが抜けないか、確認します。

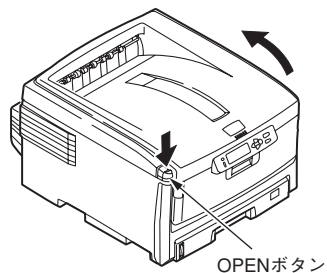
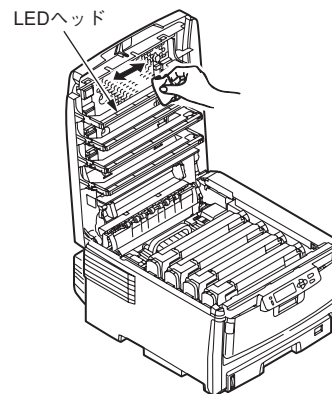
6 マルチパーパストレイを閉じます。

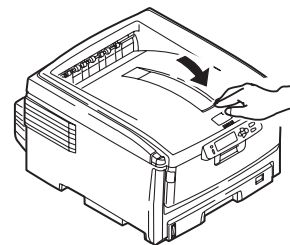
LED ヘッドを清掃します

印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりする場合に行ってください。

1 プリンタの電源を OFF にします。

2 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 柔らかいティッシュペーパーで LED ヘッドのレンズ面(4 ヶ所)を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED ヘッドを傷めますので使用しないでください。

4 トップカバーを閉じます。

色ずれ補正調整をします

プリンタは電源を ON にしたときやトップカバーを開閉したとき、また連続して印刷しているとき 400 枚印刷するごとに自動的に色ずれ補正調整を行いますが、色ずれが気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[カラー　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、[ジドウ　イロズレ　ホセイ／ジッコウ] を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

[オンライン／カラー　チョウセイチュウ] と表示して、色ずれ補正調整動作が開始されます。

濃度補正調整をします

プリンタは新しいイメージドラムカートリッジを取り付けたとき、また連続して印刷しているとき 500 枚印刷するごとに自動的に濃度補正調整を行いますが、印刷濃度が気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[カラー　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

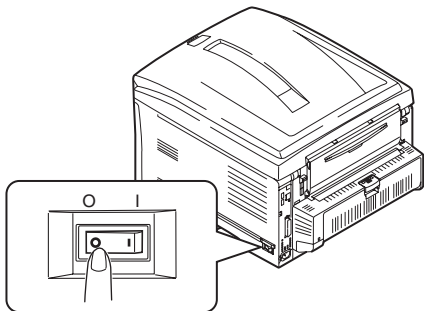
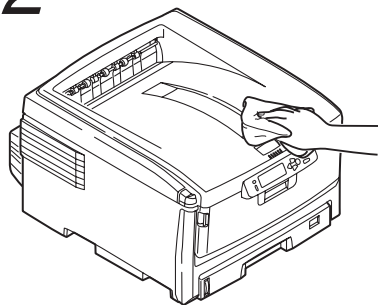
❸ 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、[ノウド　ホセイ／ジッコウ] を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

[オンライン／ノウド　ホセイチュウ] と表示して、濃度補正調整動作が開始されます。

プリンタ表面を清掃します

1 プリンタの電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(22 ページ)をご覧ください。

2 プリンタの表面を拭きます。

❶ 水または中性洗剤を含ませて、かたく絞った布で拭きます。

❷ 柔らかい乾いた布で拭きます。

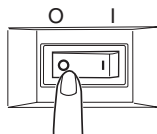
注
- 水または中性洗剤以外は使用しないでください。
- 本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。

プリンタを輸送するとき

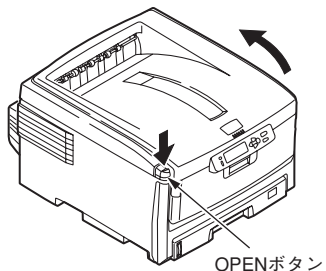
プリンタは精密機器ですので、梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。次の手順で輸送してください。

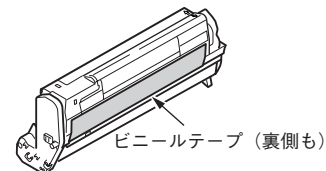
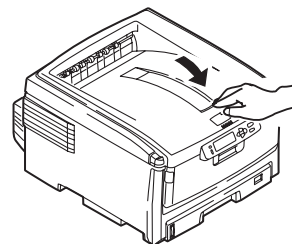
1 プリンタの電源を OFF にし、次の部品を取り外します。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（22 ページ）をご覧ください。

- 電源コード、アース線
- プリンタケーブル
- 用紙カセットに入っている用紙

2 トップカバーを開け、イメージドラムカートリッジ(4 個)を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

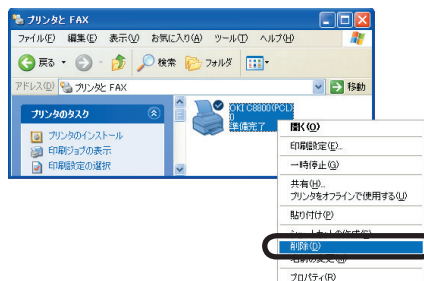
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの接合部分をビニールテープで止めて、プリンタに戻します。

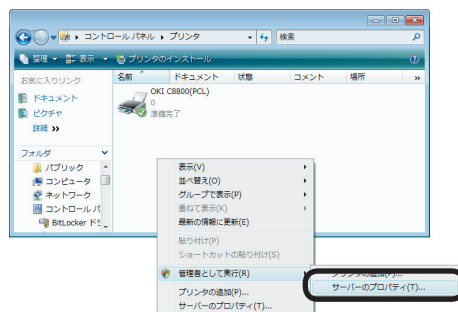
プリンタにイメージドラムカートリッジを同梱して輸送します。トナーがこぼれないようにビニールテープで密封してください。

4 トップカバーを閉じます。

5 緩衝材でプリンタを保護し、梱包箱に入れます。

プリンタ購入時に付いていた梱包箱と緩衝材を使用してください。

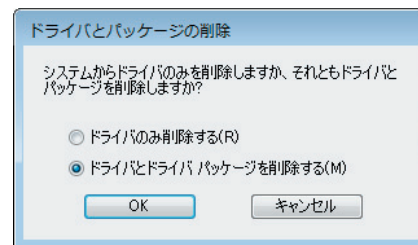
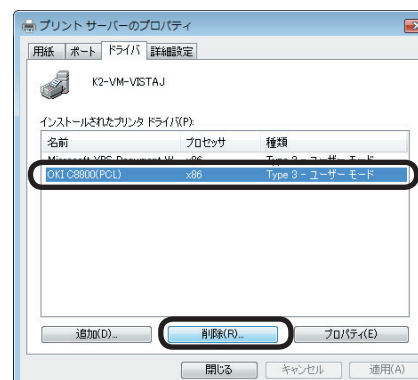
プリンタを輸送後、再度設置するときには、イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジを止めたテープをはがしてください。

プリンタドライバを削除するには（Windows をお使いの方）

・コンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ Windows Vista では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。
Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Server 2003では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［C8800（**）］（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

❹ Windows Vista をお使いの方は❺へ進みます。
Windows XP/Server 2003/ 2000 をお使いの方は⓮へ進みます。

❺ プリンタアイコンを選択しないで、右ボタンでクリックして、［管理者として実行］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❻［ユーザー アカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

❼［プリント サーバーのプロパティ］の、［ドライバ］タブを選択します。

❽［C8800（**）］（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））を選択し、［削除］をクリックします。

「指定されたプリンタドライバは現在、使用中です」とのメッセージが表示される場合は、Windows を再起動して、再度プリンタドライバの削除を行ってください。

❾［ドライバとパッケージの削除］が表示されたら、［ドライバとドライバ パッケージを削除する］を選択して［OK］をクリックします。

❿ 確認のメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

⓫［ドライバパッケージの削除］が表示されたら、［削除］をクリックします。

⓬ 削除が終了したら、[OK] をクリックします。

⓭ ⓰へ進みます。

⓮「プリンタとFAX」フォルダ（Windows 2000では「プリンタ」フォルダ）の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

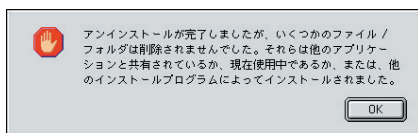
⓯［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、[削除] をクリックします。

⓰［プリントサーバーのプロパティ］で、[閉じる] をクリックします。

⓱ Windows を再起動します。

プリンタドライバと一緒にインストールされる OKI LPR ユーティリティと Network Extension と色見本印刷ユーティリティは、プリンタドライバの削除をしても削除されません。
OKI LPR ユーティリティと Network Extension と色見本印刷ユーティリティを削除する場合は、C8800dn ユーザーザズマニュアル 応用編「1 Windows ソフトウェア」の「OKI LPR ユーティリティ」、「Network Extension」、「カラーユーティリティ」をご覧ください。

プリンタドライバを削除するには（Macintosh をお使いの方）

1 インストーラで削除(アンインストール)します。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Driver］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

❹「起動」画面で［続ける］をクリックします。

❺「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

❻「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

❼ ▲▼ をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❽［アンインストール］をクリックします。

プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

アンインストールが完了しましたが、いくつかのファイル / フォルダは削除されませんでした。それらは他のアプリケーションと共有されているか、現在使用中であるか、または、他のインストールプログラムによってインストールされました。

OK

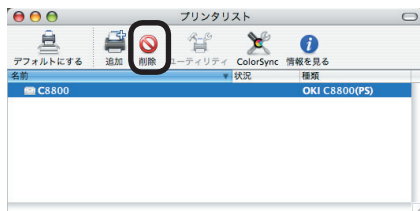
❾［OK］をクリックします。

❿［終了］をクリックします。

2 下記のファイルをゴミ箱にドラッグし、空にします。

- LaserWriter8 を使用している全てのデスクトッププリンタアイコン
- ［システムフォルダ］-［初期設定］-［プリント初期設定］フォルダ内の「LaserWriter8 設定」ファイル

プリンタドライバを削除するには（Mac OS X をお使いの方）

1 プリンタリストからプリンタ名を削除します。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.2 では［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］）をダブルクリックします。

❷ プリンタ名を選択し、［削除］をクリックします。

❸［プリンタリスト］を閉じます。

2 インストーラで削除（アンインストール）します。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダを開きます。

❹［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❺ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❻ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❼「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

❽「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

❾ ▲▼ をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❿［アンインストール］をクリックします。

プリンタドライバの削除が行われます。

⓫［終了］をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには（Windows をお使いの方）

現在、インストールされているプリンタドライバの版数を確認してから、削除し、新しいプリンタドライバをインストールします。その後、プリンタドライバのバージョンが更新されていることを確認します。

- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ Windows Vista では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。
Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［C8800(**)］(** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

❸［設定］タブ(PS プリンタドライバでは［印刷オプション］タブ）の［バージョン情報］をクリックします。

❹ バージョン情報確認画面が表示されたら、バージョン情報を控えて［OK］をクリックします。

❺「プリンタドライバを削除するには（Windowsをお使いの方）」（159 ページ）に従って、プリンタドライバを削除します。

注 ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバと同じ種類（PS、PCL または PCL XPS）のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❻ Windows Vista をお使いの方は❿へお進みください。
Windows XP/Server 2003/2000 をお使いの方は、❼〜❾を行ってから❿へお進みください。

❼ Windows XP/Server 2003では「プリンタと FAX」フォルダ（Windows 2000では「プリンタ」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❽ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除] をクリックします。

❾ Windows を再起動します。

❿ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは、3 章～ 4 章をご覧ください。

- 必ずプリンタの電源が ON になっていることを確認してください。
- Windows XP では、プリンタのインストールでセットアップします。

⓫ ❶～❹の手順でバージョン情報を表示し、新しいプリンタドライバのバージョンが更新されていることを確認します。

プリンタドライバをアップデートするには（Macintosh をお使いの方）

❶ プリンタドライバを削除します。詳しくは「プリンタドライバを削除するには（Macintosh をお使いの方）」（161 ページ）をご覧ください。

❷ 新しいプリンタドライバをインストールします。詳しくは 5 章～6 章をご覧ください。

プリンタドライバをアップデートするには（Mac OS X をお使いの方）

❶［プリンタ設定ユーティリティ］-［プリンタリスト］のプリンタ名を削除し、インストーラでプリンタソフトウェアをアンインストールします。詳しくは「プリンタドライバを削除するには（Mac OS X をお使いの方）」（162 ページ）をご覧ください。

❷ プリンタソフトウェアを再インストールします。詳しくは7章～8章をご覧ください。

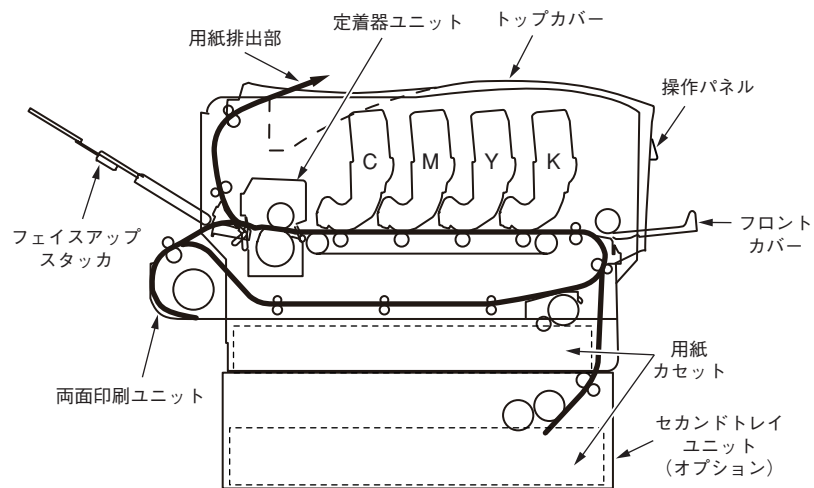
12 紙づまりになったとき

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

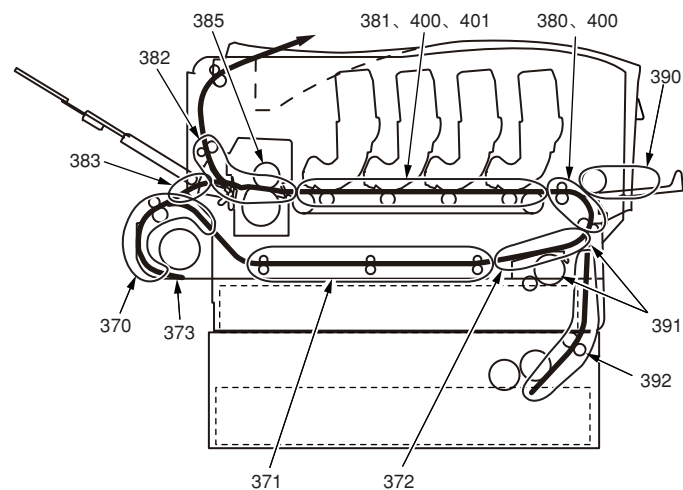
12

紙づまりになったとき

紙づまりになったとき

紙づまりが発生すると、操作パネルに［ヨウシ　ジャム］メッセージが表示されます。
次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

（プリンタを横から見た図）

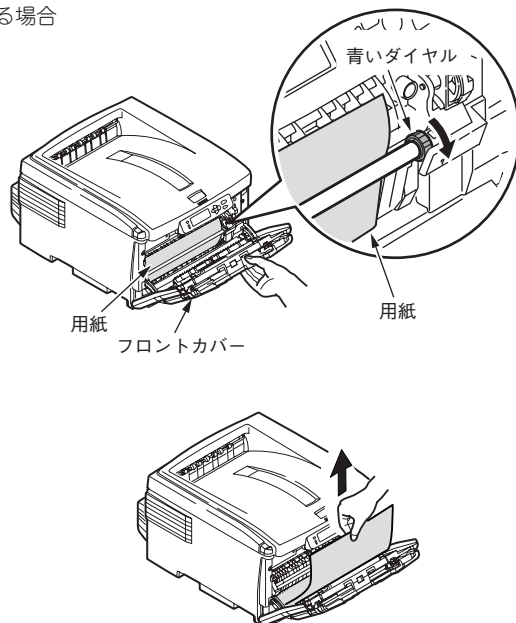
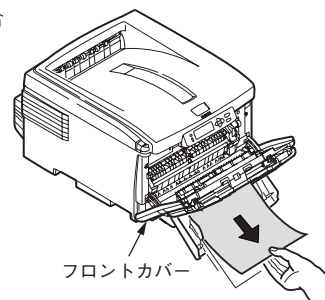
紙づまり（ジャム）発生場所とエラーコード

紙づまりの場所がエラーコードで表示されるので、場所を確認します。

（プリンタを横から見た図）

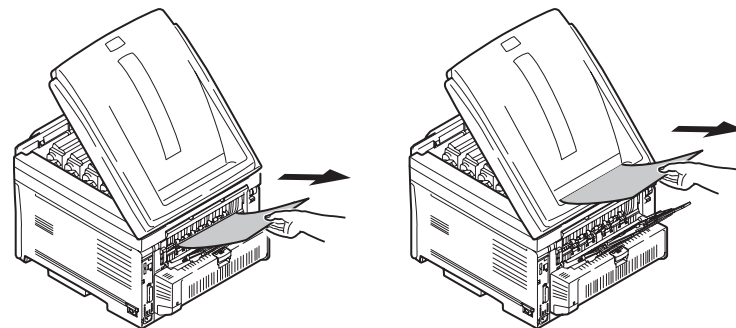
1 つまった用紙を取り除きます。

フロントカバー部(コード：372、380、390、391、400、401)

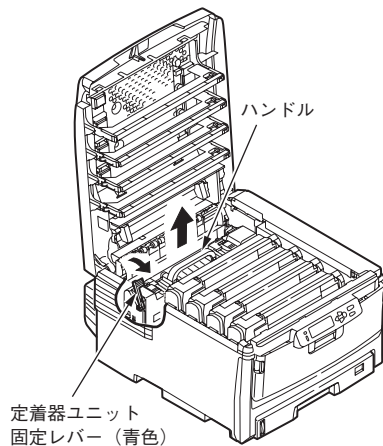
フロントカバーを開け、用紙の先端が見えている場合は、つまっている用紙をゆっくり引き出します。
コード 400 の場合、用紙が自動的に排出されることがあります。この場合は、フロントカバーを開閉するとエラーは解除されます。

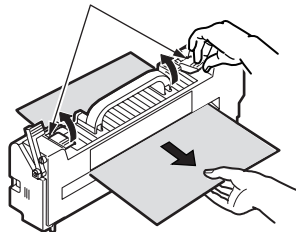
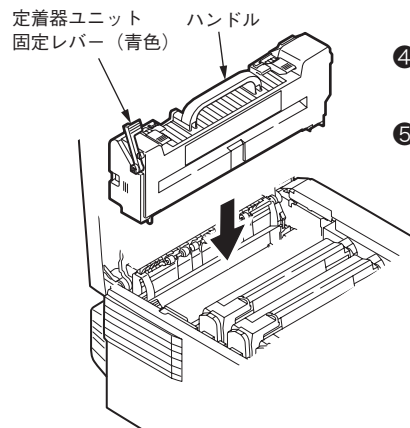
先端が見える場合

先端が見えない場合

用紙排出部（コード：382）

排出口から用紙をゆっくり引き出します。

用紙排出部でつまった場合でも、トップカバー内部に用紙が見えている場合は、プリンタ内側に用紙を引き出してください。無理に後ろに引き出すと定着器ユニットを傷めるおそれがあります。

定着器ユニット部（コード：381、382、383、385）

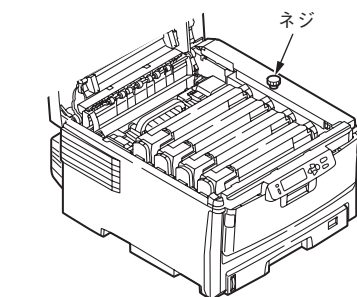
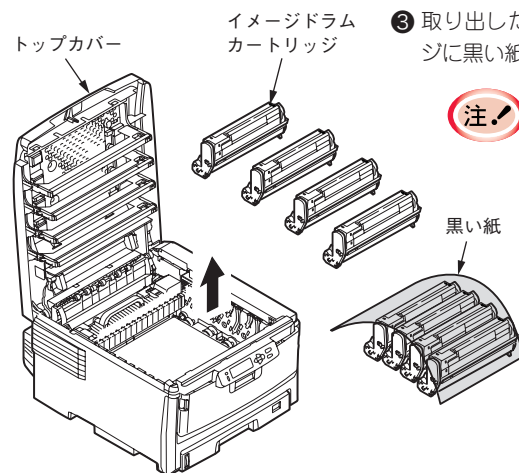
⚠注意 やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないように十分注意してください。熱いときは無理をせず、少し冷めるまで待ってから用紙を取ってください。

❶ 定着器ユニット固定レバー（青色）を矢印の方向へ起します。

❷ ハンドルを持ち定着器ユニットを取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

❸ ジャム解除レバー（2ヶ所）を引き上げ、つまった用紙を必ず矢印方向（手前方向）へゆっくり引き出します。

❹ ハンドルを持ち、定着器ユニットをプリンタの中へ静かに戻します。

❺ 定着器ユニット固定レバー（青色）を奥側に倒し、固定します。

注 定着器ユニット部のつまった用紙を取り除いた後は、定着器ユニット内部に未定着のトナーが残っていることがあるため、メニューマップ印刷（「現在の設定を確認します（メニューマップ印刷）」（132 ページ））、白紙等を数回印刷してください。

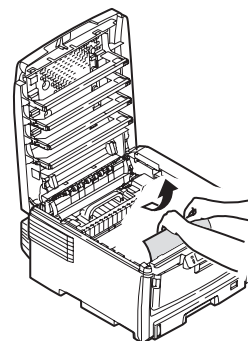
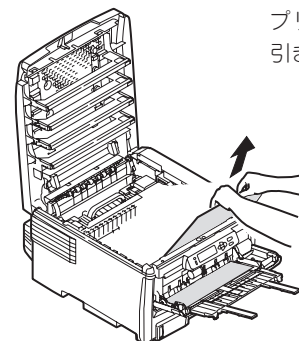
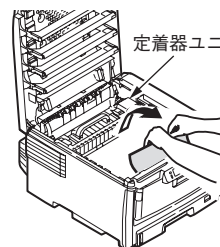
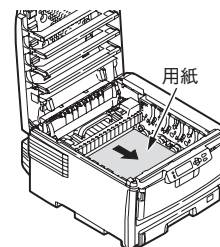
つまった用紙を取り除いても紙づまりエラーが解除されない場合は、以下の手順で他のつまった用紙を取り除きます。

❶ ネジに手を触れて静電気を逃がします。

❷ イメージドラムカートリッジ(4 個)を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

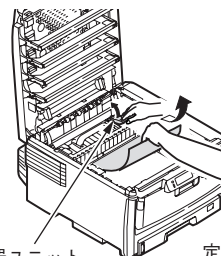
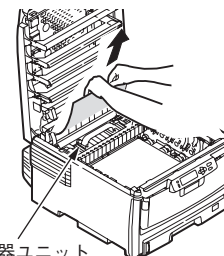
❸ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

注

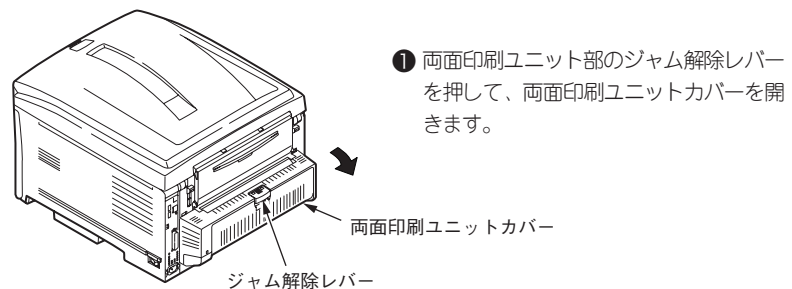
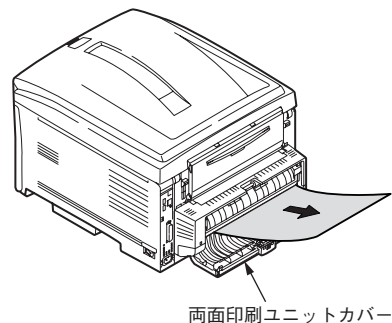
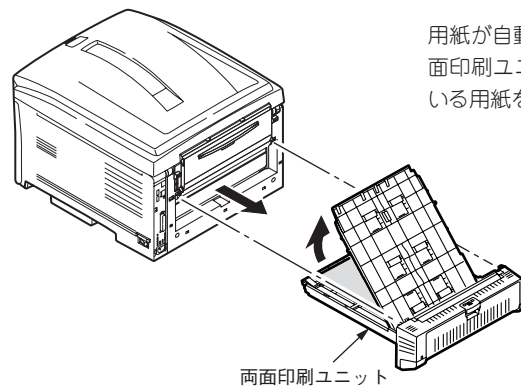
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光(約1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも、5 分間以上は放置しないでください。

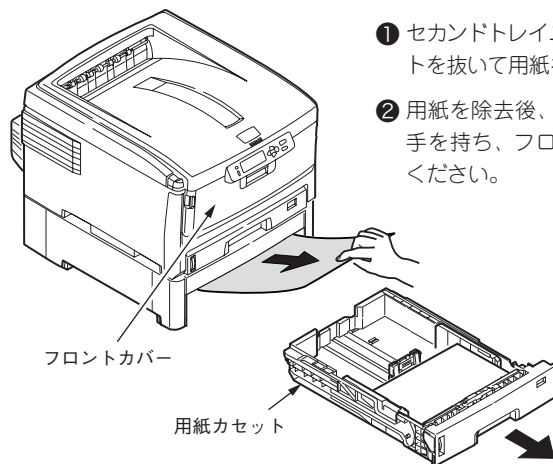
❹ つまっている用紙をゆっくり引き出します。

用紙先端が見えている場合

プリンタ内部へゆっくり引き出します。

用紙の先端も後端も見えない場合

つまっている用紙を矢印方向にずらしてからゆっくり引き出します。

用紙の後端が見えている場合

定着器ユニットのジャム解除レバー(2 ヶ所)を引き上げ、用紙をゆっくり引き出します。

❺ イメージドラムカートリッジを戻します。

両面印刷ユニット部（コード：370、371、373）

❶ 両面印刷ユニット部のジャム解除レバーを押して、両面印刷ユニットカバーを開きます。

❷ つまっている用紙を取り出します。用紙が見えない場合は、一旦両面印刷ユニットカバーを閉めてください。用紙が自動的に排出されます。

用紙が自動的に排出されない場合は両面印刷ユニットを引き抜き、つまっている用紙を取り除いてください。

セカンドトレイユニット部（オプション）（コード：391、392）

❶ セカンドトレイユニット部の用紙カセットを抜いて用紙を取り除きます。

❷ 用紙を除去後、操作パネルの下の取っ手を持ち、フロントカバーを開閉してください。

付　録

ユーザサポートサービスについて

保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは、「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保証期間中あるいは保守期間中であっても有償になります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください)
- 保証期間経過後は、修理によって本プリンタの性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、お客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接･間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

最新版のプリンタソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。

http://www.okidata.co.jp

プリンタのご相談と修理について

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。なお、内容確認のため、録音をさせていただいております。

お客様相談センター　0120-654-632
(携帯電話からは 03-5846-5921)

受付時間　9 : 00 ～ 20 : 00 月曜日～金曜日
9 : 00 ～ 17 : 00 土曜日
(但し、祝日、年末年始等を除く)

※ 月曜日～金曜日の 17:30 ～ 20:00 及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。
※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆ プリンタのサポートサービスは (株) 沖電気カスタマアドテック (OCA) とそのグループ会社が担当しております。

(個人情報の取り扱いについて)

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a) 当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号など保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。
b) お客様情報を統計的に集計･分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。
c) 予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社の提携会社より、サービス提共 , アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。
d) 裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

— お問い合わせに回答できない場合について —

1. UNIX、Linux 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5. プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境
機種名：＿＿＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿＿＿　購入月：＿＿＿年＿＿月
追加オプション：　なし　・　あり（　　　　　　　　）

コンピュータ環境
☐Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿
☐Mac OS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

接続方法
☐パラレル　☐USB　☐ネットワーク
☐TCP/IP　☐IPX/SPX　☐EtherTalk　☐NetBEUI　☐その他(　　)

プリンタドライバ
プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

アプリケーションソフト
アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿
使用フォント名：＿＿＿＿＿＿

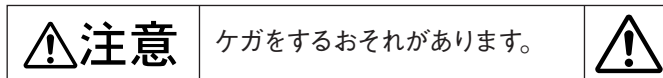
エラー表示（正確に）
コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿
プリンタの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿＿＿＿＿

その他
他のアプリケーションからの印刷：☐正常　☐印刷できない
他のコンピュータからの印刷　：☐正常　☐印刷できない

補修用部品の保有年数について

本プリンタの補修用部品の保有年数は、製造終了後 5 年間とさせていただきます。
詳しくは、沖データホームページをご覧ください。

プリンタを廃棄したい

お買い上げいただいたプリンタの廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。
なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	

このプリンタは重量が約 40Kg ありますので､2 人以上で持ち上げてください。

使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みのオキカラーページプリンタ /MICROLINE プリンタの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。右の用紙をコピーし、必要事項を記入して FAX、もしくは、弊社のホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ 1 本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。
- できましたら、回収品の数が多い場合、不要になったダンボール箱などにまとめて頂くようお願いいたします。

皆様のご協力をお願いします。

受付 No.　：
＊ 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

FAX 0120-107995
沖データ回収センタ　宛

西暦　　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：
ご担当者名　：
ご住所　：
お電話番号　：
回収ご希望日　：　　年　　月　　日
【お断り：受付時間以降にFAXされた場合、回収日がずれる場合があります。】

回収依頼品

品目		数量
イメージドラムカートリッジ	：	個
トナーカートリッジ	：	個
廃棄トナーボックス	：	個
ベルトユニット	：	個
定着器ユニット	：	個
インクリボンカートリッジ	：	個
その他マイクロライン消耗品	：	個

【*不要となったダンボール箱などにまとめて入れてください。】
まとめた箱の荷姿で合計　：　　個口

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185
フリーダイヤル 0120-640991（携帯電話からもご利用いただけます）
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

消耗品・オプション一覧

これらの消耗品、オプションは、お近くの販売店でお求めください。

品　名	型　名	内　容
トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C3EK1	トナーカートリッジ
トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C3EY1	
トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C3EM1	
トナーカートリッジ　シアン	TNR-C3EC1	
トナーカートリッジ　ブラック S	TNR-C3EK3	トナーカートリッジ S タイプ
トナーカートリッジ　イエロー S	TNR-C3EY3	
トナーカートリッジ　マゼンタ S	TNR-C3EM3	
トナーカートリッジ　シアン S	TNR-C3EC3	
イメージドラムカートリッジ　ブラック	ID-C3EK	イメージドラムカートリッジ トナーカートリッジ S タイプ
イメージドラムカートリッジ　イエロー	ID-C3EY	
イメージドラムカートリッジ　マゼンタ	ID-C3EM	
イメージドラムカートリッジ　シアン	ID-C3EC	
ベルトユニット	BLT-C3C	ベルトユニット
定着器ユニット	FUS-C3E	定着器ユニット
セカンドトレイユニット	TRY-C3C1	セカンドトレイユニット
256MB 増設メモリ	MEM256E	増設メモリ（256MB）
512MB 増設メモリ	MEM512C	増設メモリ（512MB）
内蔵ハードディスク	HDD-C3C	内蔵ハードディスク
セキュリティキットタイプ A1	SKT-A1	C8800dn 専用内蔵ハードディスク
カード認証キット F1	JCK-F1	IC カード認証用内蔵ハードディスクキット
カード認証キット F2	JCK-F2	IC カード認証用内蔵ハードディスクキット（グループ印刷機能対応）
給紙ローラセット（トレイ 1 用）	RS-C3D	給紙ローラ、分離パッド、スプリング
給紙ローラセット（トレイ 2 用）	RS-C3E	給紙ローラ 2 ヶ、リタードローラ Assy
給紙ローラセット（MPT 用）	RS-C3F	給紙ローラ

品　名		型　名	内　容
プリントジョブアカウンティング		MLSFT-PJA01	プリントジョブアカウンティングソフトウェア
エクセレントホワイト	A4	PPR-CA4NA	OKI カラーページプリンタ用紙
	A4（厚口）	PPR-CA4DA	
	A4 長尺	PPR-CT4DA	
	A3	PPR-CA3NA	
	A3（厚口）	PPR-CA3DA	
	A3 長尺	PPR-CT5DA	
ML カラー OHP シート		MLOHP01	専用 OHP シート

※ C8800-P（POP 印刷専用モデル）をご利用のお客様は、上記の消耗品はご使用になれません。C8800-P ユーザーズマニュアル（補足）に記載された専用の消耗品をご使用願います。

- 消耗品、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。
  （純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、開封後 1 年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度：0 ～ 35℃、湿度：20 ～ 85%RH 範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化する場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

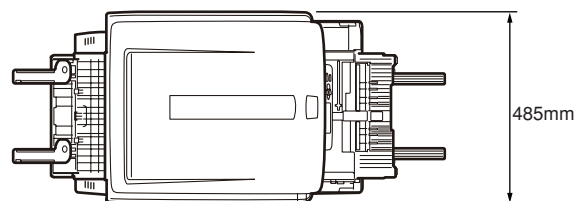
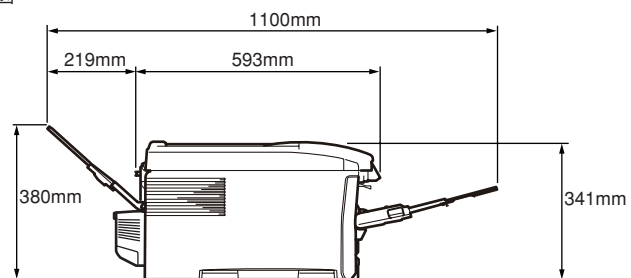
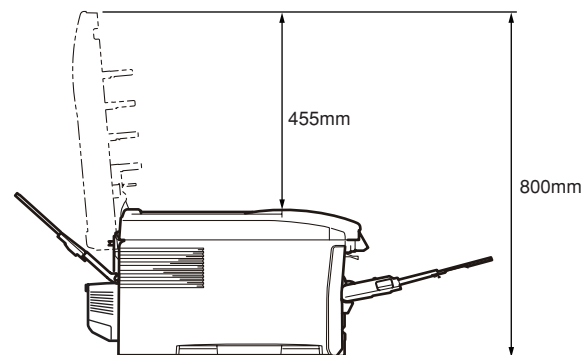
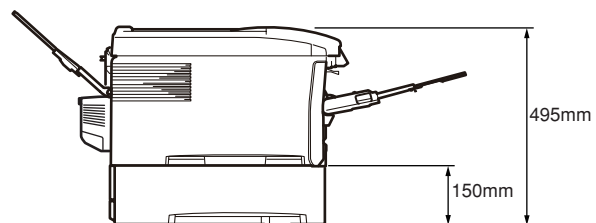
仕様

主な仕様

印刷方式	LED(発光ダイオード)を露光光源とする乾式電子写真記録方式
解像度	600 ドット / インチ (LED ヘッド) 600 × 600dpi/600 × 1200dpi/600 × 600dpi × 2 bit(印刷解像度)
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、黒の4色
CPU	PowerPC750 プロセッサ (500MHz)
RAM 容量	256MB(最大 768MB)
対応 OS	Windows Server 2003/XP/2000 日本語版 MacOS 9.0 〜 9.2.2、Mac OS X 10.2 〜 10.5.7 日本語版 詳しくは動作環境をご覧ください。
印刷言語	PostScript3 エミュレーション、PCL5c エミュレーション
内蔵フォント	PSE : 日本語 2 書体、欧文 136 書体 /PCL5c : 日本語 4 書体、欧文 91 書体
インタフェース	USB (Hi-Speed USB をサポート)、100BASE-TX/10BASE-T
印刷速度 *1 (600×600dpi/600×1200dpiの場合)	カラー　: 26 ページ / 分 (普通紙、A4 コピーモード時)、 9.5 ページ / 分 (104kg(121g/m²) 以上の厚紙・郵便はがき・ラベル紙)、 22 ページ / 分 (両面印刷時 : 普通紙、A4 時) モノクロ : 32 ページ / 分 (普通紙、A4 コピーモード時)、 9.5 ページ / 分 (104kg(121g/m²) 以上の厚紙・郵便はがき・ラベル紙)、 23 ページ / 分 (両面印刷時 : 普通紙、A4 時)
用紙サイズ *2	A3、A4、A5、A6、B4、B5、レター、リーガル 13 インチ、リーガル 13.5 インチ、リーガル 14 インチ、エグゼクティブ、カスタム、はがき、往復はがき、封筒
用紙種類 *2	普通紙 (55 〜 172kg)、郵便はがき、封筒、ラベル紙、OHP
給紙方法 *2	用紙カセットによる自動給紙、マルチパーパストレイによる自動給紙と手差給紙 セカンドトレイユニット (オプション) による自動給紙
給紙容量	用紙カセット　: 普通紙 300 枚 / 連量 70kg　総厚 30mm 以下 マルチパーパストレイ　: 普通紙 100 枚 / 連量 70kg　総厚 10mm 以下 はがき 40 枚、封筒 10 枚 / 坪量 85g/m²
排出方法 *2	フェイスアップ (表排出)/ フェイスダウン (裏排出)
排出容量	フェイスアップ : 約 100 枚 / 連量 70kg　フェイスダウン : 約 250 枚 / 連量 70kg
印刷保証範囲	用紙の端から 6.35mm 以上 (封筒などの特殊な用紙は除く)
印刷精度	書き出し位置精度± 2mm　用紙の斜行± 1mm/100mm 画像伸縮± 1mm/100mm(連量 70kg の場合)
ウォーミングアップ時間	電源投入後 90 秒以内 (25℃) *4

電源	AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2%
消費電力	動作時　: 最大 1300W、平均 550W(25℃) 待機時　: 平均 200W(25℃) 節電モード時　: 最大 17W 電源オフ時には電力は消費されません。
突入電流	80A 以下 (25℃)
使用環境条件	動作時 : 10 〜 32℃ /20 〜 80%RH(最高湿球温度 25℃、最高乾球湿球温度差 2℃) 停止時:0 〜 43℃ /10 〜 90%RH(最高湿球温度 26.8℃、最高乾球湿球温度差 2℃)
印刷品質保証条件	温度 10℃時　湿度 30 〜 73%RH、温度 32℃時　湿度 30 〜 54%RH、 湿度 30%RH 時　温度 10 〜 32℃、湿度 80%RH 時　温度 10 〜 27℃、 カラー印刷時　温度 17 〜 27℃、湿度 50 〜 70%RH
標準使用条件	平均電源 ON 時間　: 220H/ 月　平均印刷枚数　: 10,000 枚 / 月
消耗品，メンテナンスユニット	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ、ベルトユニット、定着器ユニット、給紙ローラセット
装置寿命	5 年または 60 万枚 (A4 横)
総重量 *3	約 40kg

*1 : 用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により、印刷速度は変わります。
*2 : 用紙サイズ、種類、厚さにより、給紙方法、排出方法に制限があります。
*3 : 本体および消耗品を含みます。オプション、用紙重量は含みません。
*4 : ネットワーク環境等により、変動することがあります。

外形寸法

オプション装着時

ユーザーズマニュアル CD-ROM の内容

ユーザーズマニュアル CD-ROM には、次のマニュアルが PDF 形式で収録されています。バージョン 5 以降の Acrobat に対応しています。
Acrobat Reader は、プリンタソフトウェア CD-ROM に収納されています。

- C8800dnsetup_Rev2.pdf : C8800dn のユーザーズマニュアル（セットアップ編）です。（本書）
- C8800dnapp_Rev2.pdf : C8800dn ユーザーズマニュアルの応用編です。

マニュアルをハードディスクにコピーして使う場合は、セットアップ編と応用編を同じフォルダに保存してご利用ください。

C8800dn ユーザーズマニュアル（応用編）の内容

1　Windows ソフトウェア
2　Macintosh ソフトウェア
3　いろいろな用紙に印刷するための設定
4　便利な印刷機能
5　カラーについて
6　プリンタメニューの使い方について
7　ネットワーク機能について
8　UNIX、Linux で使用する場合
9　困ったときには
付　録

索 引

ス

セ

ソ

タ

チ

テ

ト

マ

メ

モ

ユ

ヨ

ラ

リ

オキカラーページプリンタ
C8800dn

ユーザーズマニュアル（セットアップ編）

発行日　2009年 7月　第 2 版
発行者　株式会社 沖データ

43704801EE

- このマニュアルは再生紙を使用しています。
- この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出してください。

株式会社 沖データ

お客様相談センター
0120-654-632
(携帯電話からは03-5846-5921)

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し、祝日、年末年始等を除く）